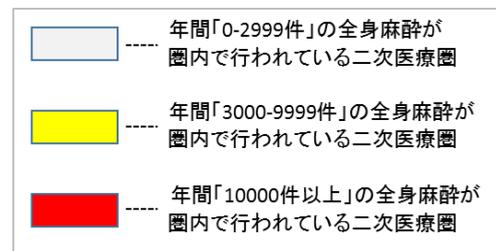
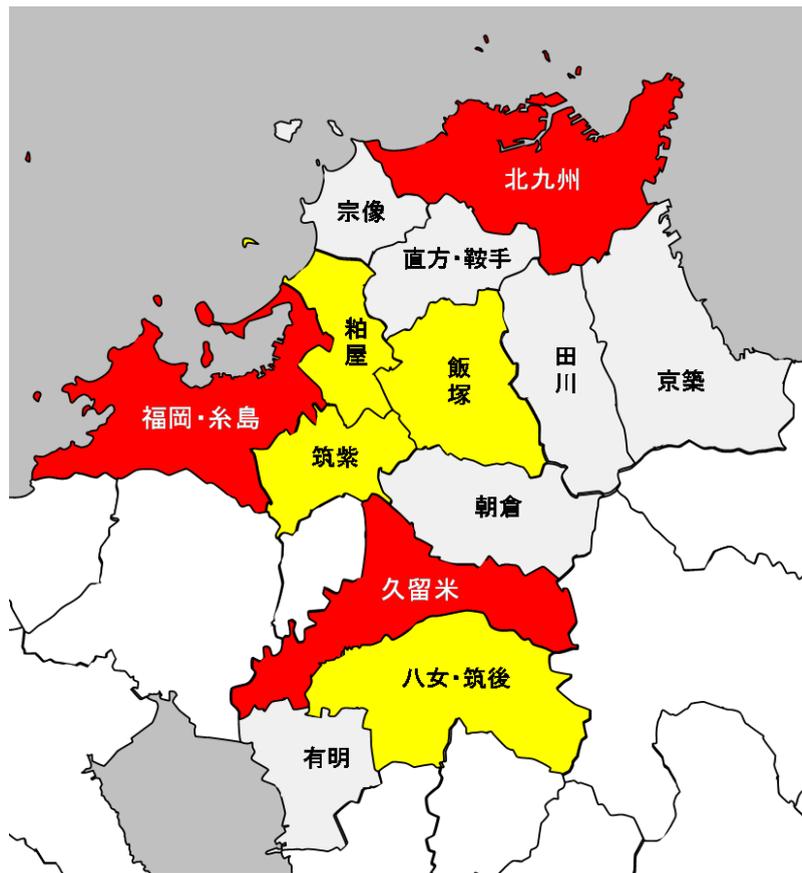


# 40. 福岡県

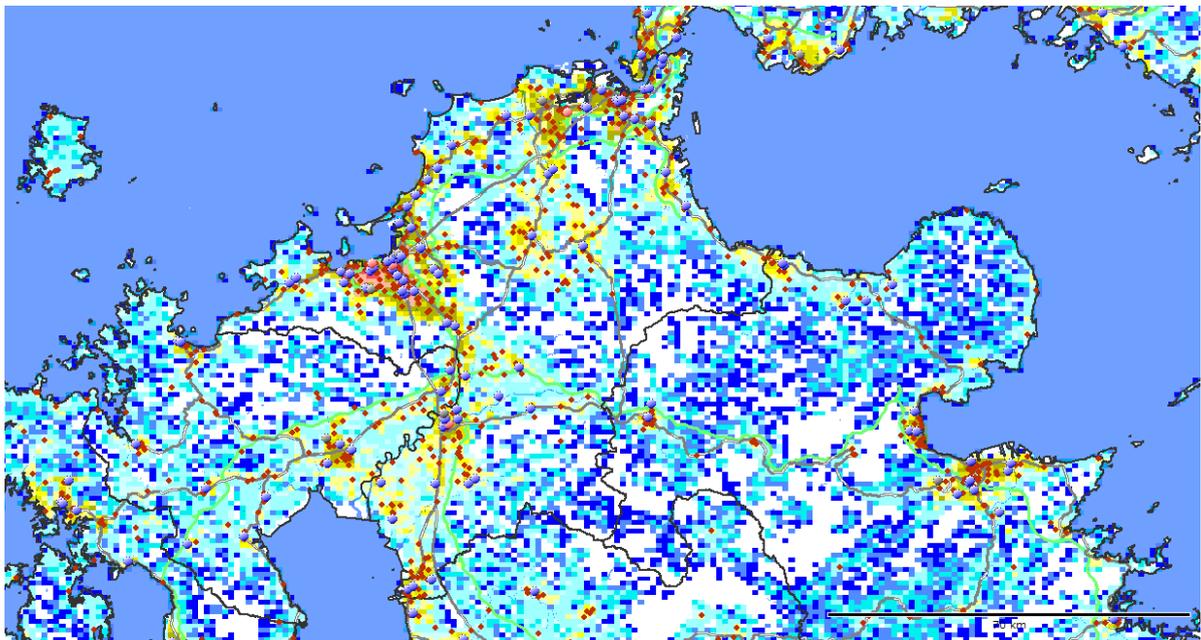


目次

福岡県	40	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	40	-	8
1. 福岡・糸島医療圏	40	-	26
2. 粕屋医療圏	40	-	31
3. 宗像医療圏	40	-	36
4. 筑紫医療圏	40	-	41
5. 朝倉医療圏	40	-	46
6. 久留米医療圏	40	-	51
7. 八女・筑後医療圏	40	-	56
8. 有明医療圏	40	-	61
9. 飯塚医療圏	40	-	66
10. 直方・鞍手医療圏	40	-	71
11. 田川医療圏	40	-	76
12. 北九州医療圏	40	-	81
13. 京築医療圏	40	-	86

# 40. 福岡県

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



## (福岡県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 福岡県は、総人口約5102千人(2015年)、面積4986km<sup>2</sup>、人口密度は1023人/km<sup>2</sup>である。

\*人口の将来予測： 福岡県の総人口は2025年に4856千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に4379千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の628千人が、2025年にかけて869千人へと増加し(2015年比+38%)、2040年には916千人へと増加する(2025年比+5%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 福岡県の一人当たり医療費(国保)は364千円(偏差値55)、介護給付費は263千円(偏差値53)であり、医療費、介護給付費ともにやや高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 福岡県の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.2、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.7で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が56(病院医師数56、診療所医師数55)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は63と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は56で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は56と多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値62と多く、回復期病床数は偏差値56と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は56で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 福岡県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、72871人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が41547床(偏差値54)、高齢者住宅等が31324床(偏差値55)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、51277人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設57、有料老人ホーム54、軽費ホーム51、グループホーム56、サ高住49である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値63と多く、在宅療養支援病院は偏差値57と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値60と多い。介護職員(在宅)の合計は、9684人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-10%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

福岡県の総人口は、2005年5049908人が、2015年に5101556人と1%増加し、2025年の人口が4855724人と予測され、2005年→2025年の間に4%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に12%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

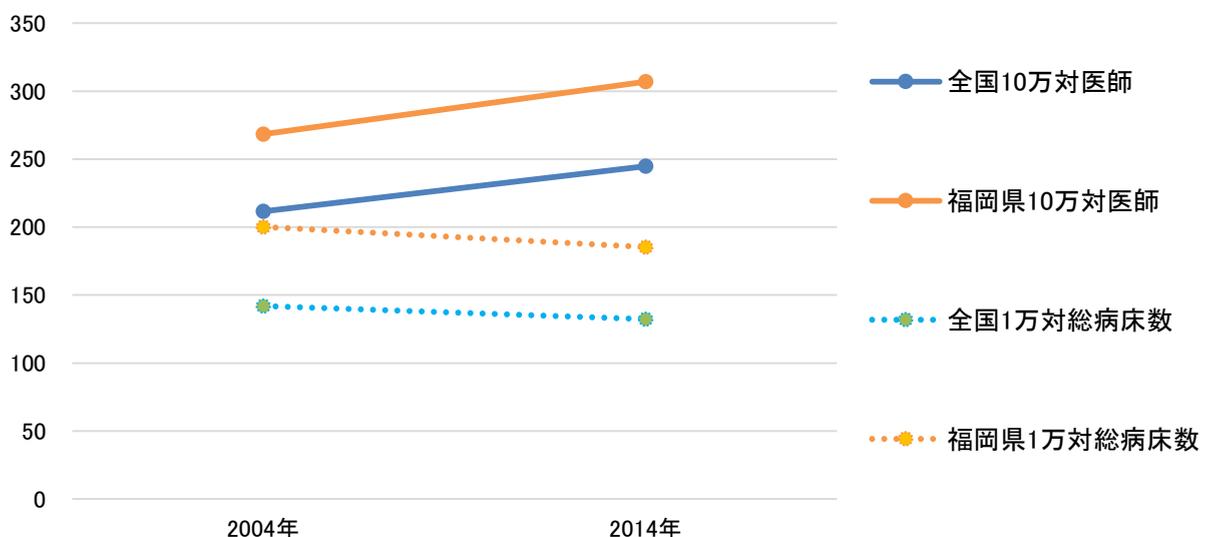
2004年の病院数が481(人口10万人当たり9.5病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2014年に460(人口10万人当たり9病院(全国平均6.7)偏差値56)となり、10年間で21病院が減少した。

2004年の診療所数が4357(人口10万人当たり86診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2014年に4587(人口10万人当たり90診療所(全国平均79)偏差値56)と、230診療所が増加した。

2004年の総病床数が101039床(人口1万人当たり200(全国平均142)偏差値60)であったが、2014年に94486床(人口1万人当たり185(全国平均132)偏差値59)と、6553床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

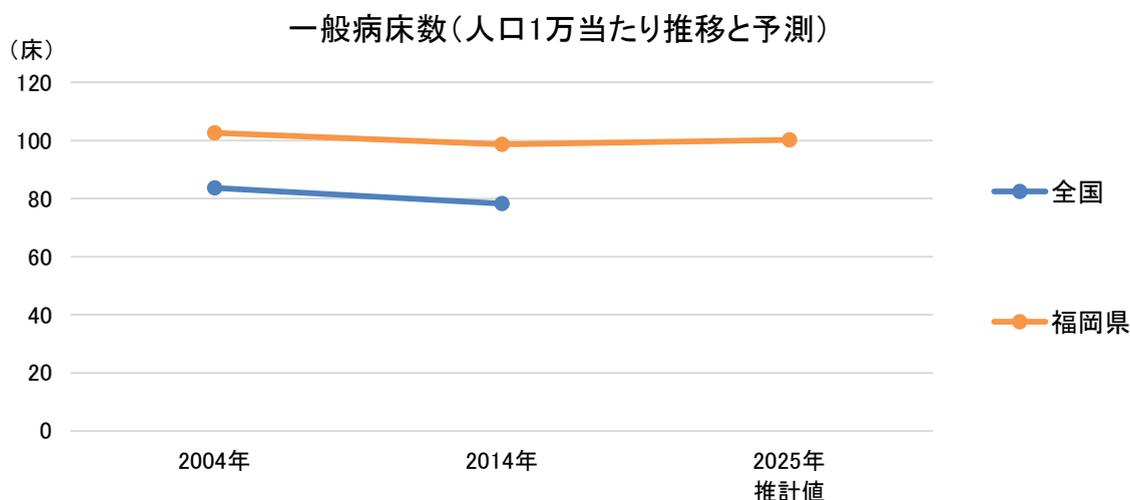
2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が13556人(人口10万人当たり268人(全国平均212人)偏差値57)であったが、2014年に15660人(人口10万人当たり307人(全国平均245人)偏差値57)と、2104人の増加、率にして16%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



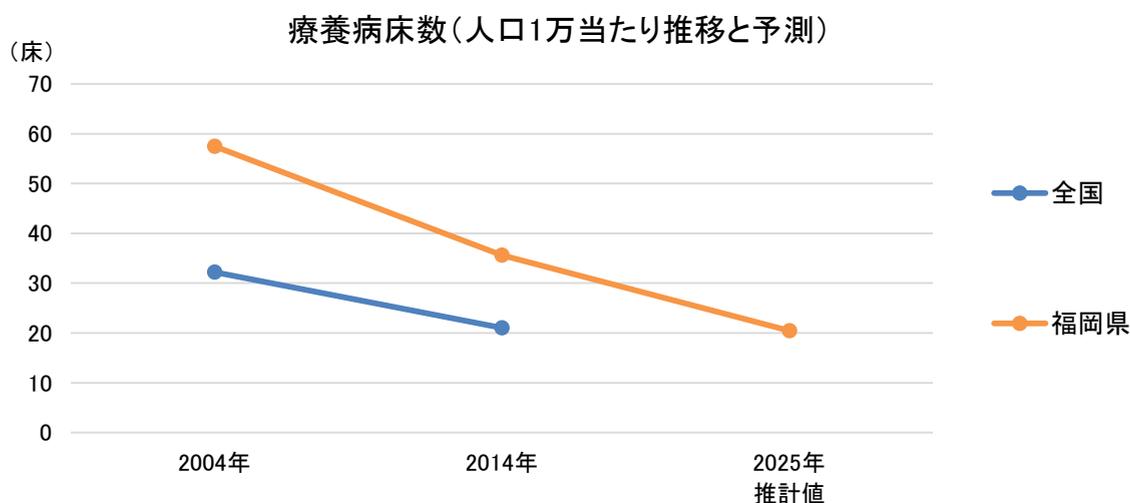
## 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が51820床(人口1万人当たり103(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に50305床(人口1万人当たり99(全国平均78)偏差値57)と、1515床の減少、率にして3%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には48640床(2025年の推計人口1万人当たり100)になることが予想される。



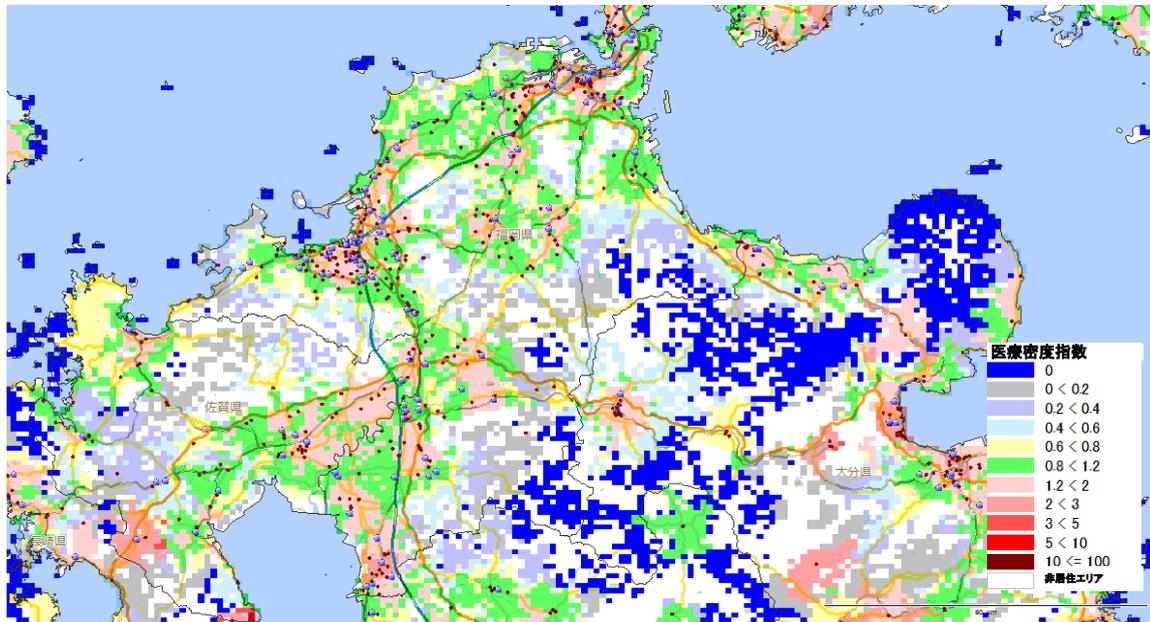
## 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が26543床(75歳以上1000人当たり57(全国平均32)偏差値64)であったが、2014年に22364床(75歳以上1000人当たり36(全国平均21)偏差値62)と、4179床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には17769床(2025年の推計75歳以上1000人当たり20)になることが予想される。



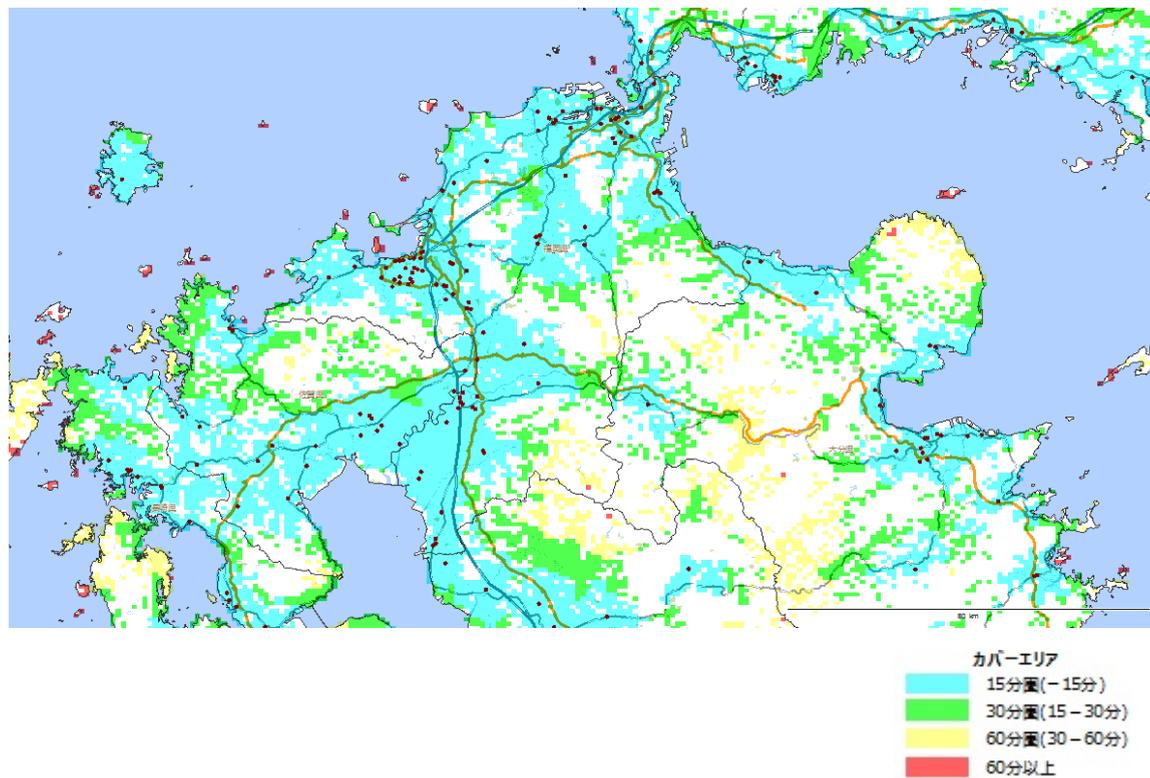
(福岡県) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表40-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料<sup>6</sup>

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資\_図表 40-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	-5%	-11%	35%	2%
福岡県	5,102	9位	4,986	29位	1,023.1		26%	4,856	4,379	628	869	916	-5%	-10%	38%	5%
福岡・糸島	1,635	32%	559	11%	2,924.6	大都市型	21%	1,603	1,522	154	245	293	-2%	-5%	59%	20%
粕屋	284	6%	207	4%	1,371.7	地方都市型	22%	286	282	27	41	45	1%	-1%	52%	10%
宗像	155	3%	173	3%	899.4	地方都市型	27%	144	128	20	28	30	-7%	-11%	40%	7%
筑紫	434	9%	233	5%	1,858.1	地方都市型	22%	426	403	41	64	75	-2%	-5%	56%	17%
朝倉	84	2%	366	7%	229.4	地方都市型	31%	77	64	13	16	16	-8%	-17%	23%	0%
久留米	456	9%	468	9%	975.1	地方都市型	26%	425	371	59	78	82	-7%	-13%	32%	5%
八女・筑後	133	3%	562	11%	236.5	地方都市型	30%	124	107	21	25	25	-7%	-14%	19%	0%
有明	223	4%	264	5%	846.4	地方都市型	33%	195	155	40	45	41	-13%	-21%	13%	-9%
飯塚	181	4%	369	7%	491.1	地方都市型	30%	166	141	28	34	32	-8%	-15%	21%	-6%
直方・鞍手	109	2%	252	5%	433.6	地方都市型	33%	98	81	18	22	20	-10%	-17%	22%	-9%
田川	126	2%	364	7%	346.7	地方都市型	34%	114	94	22	25	21	-10%	-18%	14%	-16%
北九州	1,097	22%	601	12%	1,823.9	大都市型	29%	1,028	888	157	213	204	-6%	-14%	36%	-4%
京築	184	4%	569	11%	324.0	地方都市型	30%	170	144	27	34	32	-8%	-15%	26%	-6%

出典 <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月  
<人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月  
<面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月1日

資\_図表 40-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	-21.6%
福岡県	1.20	1.70	64,564	70,751	-9.6%
福岡・糸島	1.25	1.82	15,952	19,916	-24.8%
粕屋	1.12	1.81	2,754	3,348	-21.6%
宗像	0.96	1.69	1,729	2,284	-32.1%
筑紫	1.02	1.99	3,829	5,202	-35.9%
朝倉	0.94	2.11	1,269	1,331	-4.9%
久留米	1.18	1.69	5,264	6,367	-20.9%
八女・筑後	1.05	2.19	2,136	2,017	5.6%
有明	1.52	1.20	3,704	3,633	1.9%
飯塚	1.06	1.62	3,084	2,735	11.3%
直方・鞍手	0.84	1.58	2,525	1,761	30.2%
田川	0.93	1.89	3,412	2,012	41.0%
北九州	1.39	1.90	15,745	17,349	-10.2%
京築	0.74	1.60	3,161	2,795	11.6%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。  
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資\_図表 40-3 医療費、介護給付費<sup>7</sup>

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	343	(44)	1.000	131	(30)	1.000	188	(19)	1.000	253	(35)
福岡県	364	55	1.089	155	58	1.225	182	47	0.993	263	53
福岡・糸島	323	45	1.046	136	52	1.159	162	36	0.961	263	53
粕屋	352	52	1.051	155	58	1.220	170	40	0.928	244	48
宗像	378	58	1.040	159	60	1.154	191	51	0.955	230	43
筑紫	336	48	1.011	135	52	1.073	174	42	0.953	221	41
朝倉	386	60	1.105	167	62	1.257	192	52	1.001	267	54
久留米	378	58	1.125	164	61	1.283	189	51	1.028	261	52
八女・筑後	382	59	1.128	166	62	1.284	190	51	1.025	264	53
有明	420	67	1.185	189	70	1.401	205	59	1.058	281	58
飯塚	385	59	1.127	173	64	1.333	186	49	0.993	307	65
直方・鞍手	386	60	1.099	166	62	1.244	192	52	0.997	275	56
田川	382	59	1.143	166	62	1.311	191	51	1.042	269	55
北九州	393	61	1.125	169	63	1.273	195	54	1.017	272	55
京築	407	64	1.100	166	62	1.181	213	63	1.049	242	47

出典 <一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省  
<一人あたり介護給付費>平成27年度介護保険事業状況報告(年報)  
平成27年度累計(平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで)

※後期高齢者の医療費については、資\_図表40-35を参照。

資\_図表 40-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,480		6.7	(4.1)	100,995		79	(18.8)
福岡県	462	5.4%	9.1	56	4,608	4.6%	90	56
福岡・糸島	124	27%	7.6	52	1,575	34%	96	59
粕屋	26	6%	9.2	56	171	4%	60	40
宗像	14	3%	9.0	56	114	2%	73	47
筑紫	27	6%	6.2	49	294	6%	68	44
朝倉	8	2%	9.5	57	72	2%	86	53
久留米	49	11%	10.7	60	449	10%	98	60
八女・筑後	14	3%	10.5	59	120	3%	90	56
有明	33	7%	14.8	70	218	5%	98	60
飯塚	22	5%	12.1	63	165	4%	91	56
直方・鞍手	12	3%	11.0	61	103	2%	94	58
田川	16	3%	12.7	65	109	2%	86	54
北九州	102	22%	9.3	56	1,055	23%	96	59
京築	15	3%	8.1	54	163	4%	88	55

出典 平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月

資\_図表 40-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数				有床 診療所数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	100,995		79	(18.8)			73	(18.4)			6.3	(6.4)
福岡県	4,608	4.6%	90	56	4,038	4.3%	79	53	570	7.2%	11.2	58
福岡・糸島	1,575	34%	96	59	1,414	35%	86	57	161	28%	9.8	56
粕屋	171	4%	60	40	153	4%	54	40	18	3%	6.3	50
宗像	114	2%	73	47	94	2%	61	43	20	4%	12.9	60
筑紫	294	6%	68	44	257	6%	59	42	37	6%	8.5	54
朝倉	72	2%	86	53	65	2%	77	52	7	1%	8.3	53
久留米	449	10%	98	60	370	9%	81	54	79	14%	17.3	67
八女・筑後	120	3%	90	56	109	3%	82	55	11	2%	8.3	53
有明	218	5%	98	60	180	4%	81	54	38	7%	17.0	67
飯塚	165	4%	91	56	137	3%	76	51	28	5%	15.4	64
直方・鞍手	103	2%	94	58	94	2%	86	57	9	2%	8.3	53
田川	109	2%	86	54	89	2%	71	49	20	4%	15.9	65
北九州	1,055	23%	96	59	933	23%	85	56	122	21%	11.1	58
京築	163	4%	88	55	143	4%	78	52	20	4%	10.8	57
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資\_図表 40-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数				病院+ 診療所 病床数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,565,968		1,232	(497)			85	(101)			1,317	(557)
福岡県	85,979	5.5%	1,685	59	8,044	7.5%	158	57	94,023	5.6%	1,843	59
福岡・糸島	22,778	26%	1,393	53	2,075	26%	127	54	24,853	26%	1,520	54
粕屋	4,641	5%	1,637	58	270	3%	95	51	4,911	5%	1,732	57
宗像	2,513	3%	1,618	58	276	3%	178	59	2,789	3%	1,796	59
筑紫	4,878	6%	1,125	48	610	8%	141	56	5,488	6%	1,266	49
朝倉	1,396	2%	1,663	59	102	1%	122	54	1,498	2%	1,785	58
久留米	9,099	11%	1,995	65	1,139	14%	250	66	10,238	11%	2,244	67
八女・筑後	2,339	3%	1,760	61	141	2%	106	52	2,480	3%	1,866	60
有明	5,832	7%	2,612	78	579	7%	259	67	6,411	7%	2,871	78
飯塚	3,895	5%	2,147	68	438	5%	241	65	4,333	5%	2,389	69
直方・鞍手	1,977	2%	1,813	62	127	2%	116	53	2,104	2%	1,929	61
田川	3,181	4%	2,523	76	318	4%	252	67	3,499	4%	2,775	76
北九州	20,830	24%	1,899	63	1,706	21%	156	57	22,536	24%	2,055	63
京築	2,620	3%	1,421	54	263	3%	143	56	2,883	3%	1,563	54
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 40-7 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
福岡県	43,039	4.8%	844	56	21,258	6.5%	417	58	21,369	6.4%	419	57
福岡・糸島	13,208	31%	808	55	5,073	24%	310	52	4,431	21%	271	50
粕屋	2,153	5%	759	52	1,414	7%	499	61	1,006	5%	355	54
宗像	814	2%	524	42	731	3%	471	60	968	5%	623	66
筑紫	2,012	5%	464	39	1,551	7%	358	55	1,311	6%	302	52
朝倉	602	1%	717	51	454	2%	541	63	340	2%	405	56
久留米	4,646	11%	1,018	64	2,398	11%	526	63	2,049	10%	449	58
八女・筑後	1,048	2%	788	54	825	4%	621	67	464	2%	349	54
有明	2,834	7%	1,269	75	1,284	6%	575	65	1,692	8%	758	73
飯塚	2,378	6%	1,311	77	588	3%	324	53	929	4%	512	61
直方・鞍手	673	2%	617	46	511	2%	468	60	730	3%	669	69
田川	1,019	2%	808	55	323	2%	256	50	1,831	9%	1,452	105
北九州	10,934	25%	997	63	5,146	24%	469	60	4,676	22%	426	57
京築	718	2%	389	36	960	5%	521	63	942	4%	511	61
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資\_図表 40-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床				地域包括ケア病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
福岡県	4,374	6.0%	86	56	4,780	7.8%	94	56
福岡・糸島	1,382	32%	85	56	1,530	32%	94	56
粕屋	165	4%	58	50	84	2%	30	45
宗像	49	1%	32	44	193	4%	124	62
筑紫	209	5%	48	48	202	4%	47	48
朝倉	88	2%	105	60	106	2%	126	62
久留米	553	13%	121	63	300	6%	66	51
八女・筑後	140	3%	105	60	233	5%	175	71
有明	296	7%	133	66	229	5%	103	58
飯塚	123	3%	68	52	328	7%	181	72
直方・鞍手	111	3%	102	59	143	3%	131	63
田川	61	1%	48	48	133	3%	105	58
北九州	1,031	24%	94	58	1,172	25%	107	59
京築	166	4%	90	57	127	3%	69	52
出典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

資\_図表 40-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24)	9.1%	(23)
福岡県	17,476	15,216	1,425	68,551	27,819	19,891	35.4%	43	6.7%	49
福岡・糸島	5,983	5,598	174	16,787	7,635	4,872	42.3%	46	3.4%	48
粕屋	930	880	0	3,758	1,270	1,444	40.9%	45	0.0%	46
宗像	0	0	0	2,513	814	731	0.0%	29	0.0%	46
筑紫	760	430	0	4,142	1,604	1,555	21.1%	37	0.0%	46
朝倉	0	0	0	1,414	602	454	0.0%	29	0.0%	46
久留米	465	465	0	8,634	4,214	2,365	9.9%	33	0.0%	46
八女・筑後	563	561	0	1,776	487	825	53.5%	51	0.0%	46
有明	1,186	1,068	68	4,686	1,768	1,226	37.7%	44	5.3%	48
飯塚	493	493	0	3,403	1,886	588	20.7%	37	0.0%	46
直方・鞍手	473	310	100	1,505	364	411	46.0%	47	19.6%	55
田川	683	527	148	2,500	492	175	51.7%	50	45.8%	66
北九州	5,828	4,884	823	14,916	5,960	4,393	45.0%	47	15.8%	53
京築	112	0	112	2,517	723	852	0.0%	29	11.6%	51
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資\_図表 40-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
福岡県	144,336	5.1%	2,829	56	50,508	4.9%	990	57
福岡・糸島	57,588	40%	3,522	63	13,368	26%	818	50
粕屋	3,912	3%	1,380	42	2,004	4%	707	47
宗像	1,260	1%	811	36	1,548	3%	997	57
筑紫	7,116	5%	1,641	44	3,756	7%	866	52
朝倉	972	1%	1,158	40	636	1%	758	48
久留米	18,120	13%	3,972	67	11,424	23%	2,504	110
八女・筑後	4,512	3%	3,394	61	1,368	3%	1,029	58
有明	4,092	3%	1,833	46	1,992	4%	892	53
飯塚	4,272	3%	2,355	51	2,040	4%	1,125	61
直方・鞍手	1,104	1%	1,012	38	456	1%	418	36
田川	1,668	1%	1,323	41	756	1%	600	43
北九州	37,428	26%	3,413	62	9,684	19%	883	53
京築	2,292	2%	1,243	41	1,476	3%	800	50
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 40-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	345,356		272	(89)	214,678		169	(65)	130,678		103	(31)
福岡県	16,775	4.9%	329	56	10,719	5.0%	210	56	6,056	4.6%	119	55
福岡・糸島	6,056	36%	370	61	3,805	35%	233	60	2,251	37%	138	61
粕屋	624	4%	220	44	401	4%	141	46	223	4%	79	42
宗像	335	2%	216	44	188	2%	121	43	147	2%	94	47
筑紫	977	6%	225	45	573	5%	132	44	404	7%	93	47
朝倉	205	1%	245	47	114	1%	136	45	91	2%	109	52
久留米	2,079	12%	456	71	1,504	14%	330	75	575	9%	126	58
八女・筑後	349	2%	262	49	201	2%	152	47	147	2%	111	53
有明	693	4%	310	54	417	4%	187	53	276	5%	124	57
飯塚	675	4%	372	61	491	5%	271	66	185	3%	102	50
直方・鞍手	272	2%	249	47	145	1%	133	44	127	2%	116	54
田川	338	2%	268	50	203	2%	161	49	135	2%	107	51
北九州	3,822	23%	349	59	2,513	23%	229	59	1,310	22%	119	55
京築	350	2%	190	41	166	2%	90	38	185	3%	100	49
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 40-12 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.3	(6.5)	12,494		9.8	(4.5)	10,443		8.2	(3.7)
福岡県	696	4.4%	13.6	52	619	5.0%	12.1	55	441	4.2%	8.6	51
福岡・糸島	272	39%	16.6	57	232	37%	14.2	60	189	43%	11.6	59
粕屋	36	5%	12.7	51	28	5%	9.9	50	15	3%	5.3	42
宗像	14	2%	9.0	45	11	2%	7.1	44	7	2%	4.5	40
筑紫	34	5%	7.8	43	42	7%	9.7	50	16	4%	3.7	38
朝倉	9	1%	10.7	48	9	1%	10.7	52	0	0%	0	28
久留米	56	8%	12.3	50	101	16%	22.1	77	66	15%	14.5	67
八女・筑後	9	1%	6.8	41	9	1%	6.8	43	6	1%	4.5	40
有明	27	4%	12.1	50	16	3%	7.2	44	10	2%	4.5	40
飯塚	36	5%	19.8	62	18	3%	9.9	50	12	3%	6.6	46
直方・鞍手	9	1%	8.3	44	8	1%	7.3	44	2	0%	1.8	33
田川	13	2%	10.3	47	12	2%	9.5	49	6	1%	4.8	41
北九州	171	25%	15.6	55	126	20%	11.5	54	106	24%	9.7	54
京築	10	1%	5.4	39	7	1%	3.8	37	6	1%	3.3	37
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 40-13 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.1)	7,466		5.9	(2.5)
福岡県	214	4.1%	4.2	50	375	4.0%	7.4	50	302	4.0%	5.9	50
福岡・糸島	79	37%	4.8	53	150	40%	9.2	56	119	39%	7.3	56
粕屋	9	4%	3.2	45	10	3%	3.5	38	10	3%	3.5	41
宗像	5	2%	3.2	45	9	2%	5.8	45	7	2%	4.5	45
筑紫	14	7%	3.2	46	18	5%	4.2	40	23	8%	5.3	48
朝倉	1	0%	1.2	36	5	1%	6.0	45	4	1%	4.8	46
久留米	28	13%	6.1	60	44	12%	9.6	57	34	11%	7.5	56
八女・筑後	3	1%	2.3	41	6	2%	4.5	41	6	2%	4.5	45
有明	11	5%	4.9	54	13	3%	5.8	45	10	3%	4.5	45
飯塚	8	4%	4.4	51	15	4%	8.3	53	7	2%	3.9	42
直方・鞍手	5	2%	4.6	52	8	2%	7.3	50	5	2%	4.6	45
田川	4	2%	3.2	45	6	2%	4.8	42	1	0%	0.8	30
北九州	45	21%	4.1	50	84	22%	7.7	51	71	24%	6.5	52
京築	2	1%	1.1	35	7	2%	3.8	38	5	2%	2.7	38
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 40-14 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.0	(6.9)	15,369		12.1	(4.4)
福岡県	400	4.8%	7.8	54	1,077	5.3%	21.1	57	792	5.2%	15.5	58
福岡・糸島	145	36%	8.9	57	438	41%	26.8	66	303	38%	18.5	65
粕屋	8	2%	2.8	39	26	2%	9.2	40	31	4%	10.9	47
宗像	14	4%	9.0	57	17	2%	10.9	43	15	2%	9.7	45
筑紫	34	9%	7.8	54	47	4%	10.8	42	38	5%	8.8	42
朝倉	8	2%	9.5	59	9	1%	10.7	42	10	1%	11.9	50
久留米	61	15%	13.4	70	158	15%	34.6	77	81	10%	17.8	63
八女・筑後	8	2%	6.0	49	14	1%	10.5	42	22	3%	16.6	60
有明	20	5%	9.0	57	38	4%	17.0	51	39	5%	17.5	62
飯塚	10	3%	5.5	47	33	3%	18.2	53	32	4%	17.6	63
直方・鞍手	5	1%	4.6	44	15	1%	13.8	47	14	2%	12.8	52
田川	10	3%	7.9	54	18	2%	14.3	47	9	1%	7.1	39
北九州	71	18%	6.5	50	251	23%	22.9	60	178	22%	16.2	59
京築	6	2%	3.3	41	13	1%	7.0	37	20	3%	10.8	47
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 40-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.0)	6,376		5.0	(2.3)	5,300		4.2	(2.9)
福岡県	249	4.4%	4.9	52	277	4.3%	5.4	52	342	6.5%	6.7	59
福岡・糸島	89	36%	5.4	55	98	35%	6.0	54	135	39%	8.3	64
粕屋	10	4%	3.5	45	11	4%	3.9	45	7	2%	2.5	44
宗像	5	2%	3.2	44	10	4%	6.4	56	8	2%	5.2	53
筑紫	19	8%	4.4	49	24	9%	5.5	52	16	5%	3.7	48
朝倉	3	1%	3.6	45	4	1%	4.8	49	6	2%	7.1	60
久留米	31	12%	6.8	61	27	10%	5.9	54	61	18%	13.4	82
八女・筑後	5	2%	3.8	46	5	2%	3.8	45	5	1%	3.8	49
有明	9	4%	4.0	48	11	4%	4.9	50	7	2%	3.1	46
飯塚	9	4%	5.0	52	8	3%	4.4	47	9	3%	5.0	53
直方・鞍手	3	1%	2.8	41	2	1%	1.8	36	3	1%	2.8	45
田川	7	3%	5.6	55	3	1%	2.4	39	1	0%	0.8	38
北九州	54	22%	4.9	52	69	25%	6.3	55	80	23%	7.3	61
京築	5	2%	2.7	41	5	2%	2.7	40	4	1%	2.2	43
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 40-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.0)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
福岡県	315	4.8%	6.2	53	68	4.4%	1.3	51	164	5.0%	3.2	54
福岡・糸島	130	41%	8.0	59	28	41%	1.7	56	48	29%	2.9	52
粕屋	10	3%	3.5	45	2	3%	0.7	44	7	4%	2.5	49
宗像	6	2%	3.9	46	0	0%	0	37	3	2%	1.9	46
筑紫	10	3%	2.3	41	2	3%	0.5	42	8	5%	1.8	46
朝倉	3	1%	3.6	45	2	3%	2.4	63	2	1%	2.4	49
久留米	36	11%	7.9	59	12	18%	2.6	66	29	18%	6.4	72
八女・筑後	5	2%	3.8	45	1	1%	0.8	45	2	1%	1.5	44
有明	8	3%	3.6	45	1	1%	0.4	42	3	2%	1.3	43
飯塚	13	4%	7.2	57	2	3%	1.1	49	7	4%	3.9	57
直方・鞍手	3	1%	2.8	42	0	0%	0	37	1	1%	0.9	40
田川	4	1%	3.2	43	1	1%	0.8	45	0	0%	0	35
北九州	84	27%	7.7	58	17	25%	1.6	54	49	30%	4.5	61
京築	3	1%	1.6	38	0	0%	0	37	5	3%	2.7	51
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 40-17 専門医数 (形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
福岡県	93	4.7%	1.8	52	138	5.8%	2.7	56
福岡・糸島	37	40%	2.3	56	34	25%	2.1	52
粕屋	4	4%	1.4	49	6	4%	2.1	52
宗像	0	0%	0	37	5	4%	3.2	60
筑紫	3	3%	0.7	43	10	7%	2.3	53
朝倉	0	0%	0	37	0	0%	0	36
久留米	16	17%	3.5	67	16	12%	3.5	63
八女・筑後	1	1%	0.8	43	4	3%	3.0	59
有明	4	4%	1.8	52	7	5%	3.1	60
飯塚	1	1%	0.6	41	6	4%	3.3	61
直方・鞍手	0	0%	0	37	0	0%	0	36
田川	2	2%	1.6	50	0	0%	0	36
北九州	23	25%	2.1	55	48	35%	4.4	69
京築	2	2%	1.1	46	2	1%	1.1	44
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資\_図表 40-18 看護師数 (総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
福岡県	63,674	5.7%	1,248	63	50,583	5.5%	992	61	13,091	6.6%	257	64
福岡・糸島	19,595	31%	1,198	61	15,472	31%	946	59	4,123	31%	252	63
粕屋	2,892	5%	1,020	55	2,364	5%	834	55	529	4%	186	54
宗像	1,486	2%	957	53	1,141	2%	735	51	345	3%	222	59
筑紫	3,525	6%	813	48	2,645	5%	610	45	881	7%	203	57
朝倉	927	1%	1,105	58	754	1%	898	57	174	1%	207	57
久留米	6,751	11%	1,480	71	5,416	11%	1,187	69	1,335	10%	293	69
八女・筑後	1,749	3%	1,316	65	1,369	3%	1,030	63	380	3%	286	68
有明	3,681	6%	1,649	77	2,867	6%	1,284	73	814	6%	365	79
飯塚	2,940	5%	1,621	76	2,352	5%	1,297	74	588	4%	324	73
直方・鞍手	1,284	2%	1,177	61	984	2%	902	58	301	2%	276	66
田川	1,775	3%	1,408	69	1,450	3%	1,150	68	325	2%	258	64
北九州	15,231	24%	1,389	68	12,506	25%	1,140	67	2,725	21%	248	63
京築	1,836	3%	996	54	1,264	2%	686	49	572	4%	310	71
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 40-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
福岡県	8,460	6.7%	166	62	11,193	3.9%	219	49
福岡・糸島	2,476	29%	151	60	4,389	39%	268	55
粕屋	430	5%	151	60	401	4%	141	41
宗像	173	2%	111	52	246	2%	158	42
筑紫	416	5%	96	49	791	7%	182	45
朝倉	144	2%	172	64	156	1%	186	46
久留米	1,039	12%	228	74	1,074	10%	235	51
八女・筑後	292	3%	220	73	228	2%	172	44
有明	587	7%	263	81	433	4%	194	46
飯塚	427	5%	235	75	389	3%	214	49
直方・鞍手	117	1%	108	52	189	2%	173	44
田川	161	2%	128	55	216	2%	171	44
北九州	1,968	23%	179	65	2,359	21%	215	49
京築	231	3%	125	55	322	3%	175	44
出典	平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資\_図表 40-20 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
福岡県	879	6.6%	1.4	63	76	6.3%	0.1	57	529	5.1%	0.8	60
福岡・糸島	257	29%	1.7	70	20	26%	0.1	59	156	29%	1.0	68
粕屋	30	3%	1.1	57	5	7%	0.2	67	24	5%	0.9	62
宗像	21	2%	1.1	55	2	3%	0.1	54	13	2%	0.7	50
筑紫	45	5%	1.1	56	8	11%	0.2	69	40	8%	1.0	66
朝倉	29	3%	2.2	82	1	1%	0.1	50	4	1%	0.3	33
久留米	111	13%	1.9	75	6	8%	0.1	54	52	10%	0.9	62
八女・筑後	38	4%	1.8	73	2	3%	0.1	53	12	2%	0.6	46
有明	51	6%	1.3	61	4	5%	0.1	54	26	5%	0.7	50
飯塚	21	2%	0.8	48	4	5%	0.1	61	27	5%	1.0	66
直方・鞍手	22	3%	1.2	59	0	0%	0	38	13	2%	0.7	53
田川	16	2%	0.7	48	1	1%	0.0	45	25	5%	1.1	74
北九州	209	24%	1.3	62	19	25%	0.1	57	116	22%	0.7	55
京築	29	3%	1.1	55	4	5%	0.1	61	21	4%	0.8	56
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成29年5月			

資\_図表 40-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,674,440		104	(17)	992,340		62	(12)	682,100		42	(16)
福岡県	72,871	4.4%	116	57	41,547	4.2%	66	54	31,324	4.6%	50	55
福岡・糸島	18,842	26%	122	61	9,497	23%	62	50	9,345	30%	61	62
粕屋	3,100	4%	114	56	1,932	5%	71	58	1,168	4%	43	51
宗像	1,958	3%	98	47	1,185	3%	60	48	773	2%	39	48
筑紫	4,497	6%	109	53	2,232	5%	54	44	2,265	7%	55	58
朝倉	1,458	2%	110	54	1,100	3%	83	68	358	1%	27	40
久留米	5,907	8%	101	48	3,277	8%	56	45	2,630	8%	45	52
八女・筑後	2,309	3%	110	54	1,579	4%	75	61	730	2%	35	45
有明	4,116	6%	104	50	2,861	7%	72	59	1,255	4%	32	43
飯塚	3,569	5%	129	65	2,209	5%	80	65	1,360	4%	49	54
直方・鞍手	2,904	4%	158	82	1,380	3%	75	61	1,524	5%	83	76
田川	3,656	5%	166	87	2,229	5%	101	82	1,427	5%	65	64
北九州	17,149	24%	109	53	10,077	24%	64	52	7,072	23%	45	52
京築	3,406	5%	124	62	1,989	5%	72	59	1,417	5%	52	56
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 40-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	364,437		23	(5.8)	563,306		35	(9.7)	64,597		4.0	(4.1)
福岡県	14,383	3.9%	23	51	22,867	4.1%	36	52	4,297	6.7%	6.8	57
福岡・糸島	2,941	20%	19	44	5,680	25%	37	52	876	20%	5.7	54
粕屋	585	4%	22	48	755	3%	28	43	592	14%	21.9	94
宗像	345	2%	17	41	531	2%	27	42	309	7%	15.5	78
筑紫	560	4%	14	34	1,047	5%	25	40	625	15%	15.1	77
朝倉	470	3%	36	72	630	3%	48	63	0	0%	0	40
久留米	1,260	9%	21	48	1,591	7%	27	42	426	10%	7.3	58
八女・筑後	654	5%	31	65	925	4%	44	59	0	0%	0	40
有明	1,158	8%	29	61	1,384	6%	35	50	319	7%	8.0	60
飯塚	810	6%	29	61	1,282	6%	46	62	117	3%	4.2	51
直方・鞍手	614	4%	33	69	620	3%	34	49	146	3%	8.0	60
田川	780	5%	35	72	1,390	6%	63	79	59	1%	2.7	47
北九州	3,328	23%	21	48	5,961	26%	38	53	788	18%	5.0	52
京築	878	6%	32	66	1,071	5%	39	54	40	1%	1.5	44
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 40-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	有料老人ホーム			軽費ホーム	軽費ホーム			グループホーム	グループホーム		
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	230,505		14.3	(10.8)	23,117		1.4	(2.1)	195,525		12.1	(5.8)
福岡県	11,850	5.1%	18.9	54	1,033	4.5%	1.6	51	9,820	5.0%	15.6	56
福岡・糸島	4,212	36%	27.3	62	135	13%	0.9	47	2,108	21%	13.7	53
粕屋	449	4%	16.6	52	40	4%	1.5	50	333	3%	12.3	50
宗像	326	3%	16.4	52	29	3%	1.5	50	189	2%	9.5	45
筑紫	994	8%	24.1	59	50	5%	1.2	49	453	5%	11.0	48
朝倉	43	0%	3.3	40	0	0%	0	43	126	1%	9.5	46
久留米	586	5%	10.0	46	60	6%	1.0	48	1,341	14%	22.8	69
八女・筑後	134	1%	6.4	43	0	0%	0	43	378	4%	18.0	60
有明	319	3%	8.0	44	20	2%	0.5	46	504	5%	12.7	51
飯塚	365	3%	13.2	49	80	8%	2.9	57	430	4%	15.5	56
直方・鞍手	552	5%	30.1	65	100	10%	5.5	69	423	4%	23.1	69
田川	312	3%	14.2	50	79	8%	3.6	60	792	8%	35.9	91
北九州	2,863	24%	18.2	54	340	33%	2.2	53	2,366	24%	15.1	55
京築	695	6%	25.3	60	100	10%	3.6	60	377	4%	13.7	53
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 40-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	サ高住(全施設)			サ高住 (特定 施設)	サ高住(特定 施設)			サ高住 (非特定 施設)	サ高住(非特定 施設)			
		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	232,953		14.4	(7.2)	15,364		1.0	(1.7)	217,589		13.5	(6.7)	
福岡県	8,621	3.7%	13.7	49	314	2.0%	0.5	47	8,307	3.8%	13.2	50	
福岡・糸島	2,890	34%	18.7	56	0	0%	0	44	2,890	35%	18.7	58	
粕屋	346	4%	12.8	48	0	0%	0	44	346	4%	12.8	49	
宗像	229	3%	11.5	46	0	0%	0	44	229	3%	11.5	47	
筑紫	768	9%	18.6	56	100	32%	2.4	59	668	8%	16.2	54	
朝倉	189	2%	14.3	50	0	0%	0	44	189	2%	14.3	51	
久留米	643	7%	10.9	45	0	0%	0	44	643	8%	10.9	46	
八女・筑後	218	3%	10.4	44	45	14%	2.1	57	173	2%	8.2	42	
有明	412	5%	10.4	44	0	0%	0	44	412	5%	10.4	45	
飯塚	485	6%	17.5	54	0	0%	0	44	485	6%	17.5	56	
直方・鞍手	449	5%	24.5	64	70	22%	3.8	67	379	5%	20.7	61	
田川	244	3%	11.1	45	0	0%	0	44	244	3%	11.1	46	
北九州	1,503	17%	9.6	43	99	32%	0.6	48	1,404	17%	8.9	43	
京築	245	3%	8.9	42	0	0%	0	44	245	3%	8.9	43	
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計			平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの					平成29年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの				

資\_図表 40-25 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	165,392		10.3	(2.3)	119,201		7.4	(2.1)	46,191		2.9	(1.0)
福岡県	7,876	4.8%	12.5	60	5,540	4.6%	8.8	57	2,336	5.1%	3.7	59
福岡・糸島	2,146	27%	13.9	66	1,399	25%	9.1	58	747	32%	4.8	71
粕屋	455	6%	16.8	78	356	6%	13.1	78	99	4%	3.6	58
宗像	245	3%	12.3	59	186	3%	9.4	60	59	3%	3.0	51
筑紫	480	6%	11.6	56	321	6%	7.8	52	159	7%	3.8	60
朝倉	121	2%	9.1	45	102	2%	7.8	52	18	1%	1.4	35
久留米	690	9%	11.7	56	457	8%	7.8	52	232	10%	4.0	61
八女・筑後	229	3%	10.9	53	161	3%	7.7	51	68	3%	3.3	54
有明	511	6%	12.9	61	407	7%	10.3	64	103	4%	2.6	47
飯塚	367	5%	13.2	63	271	5%	9.8	61	96	4%	3.5	56
直方・鞍手	226	3%	12.3	59	178	3%	9.7	61	48	2%	2.6	48
田川	311	4%	14.1	67	212	4%	9.6	61	99	4%	4.5	67
北九州	1,737	22%	11.1	53	1,215	22%	7.7	52	523	22%	3.3	55
京築	360	5%	13.1	62	276	5%	10.0	63	84	4%	3.1	52
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 40-26 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設等)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (在宅)	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,457,554		90	(12.5)	1,233,195		76	(11.5)	224,360		13.9	(5.6)
福岡県	60,961	4.2%	97	55	51,277	4.2%	82	55	9,684	4.3%	15.4	53
福岡・糸島	15,025	25%	97	56	12,072	24%	78	52	2,952	30%	19.1	59
粕屋	2,371	4%	88	48	2,070	4%	76	50	301	3%	11.1	45
宗像	1,613	3%	81	43	1,404	3%	71	45	209	2%	10.5	44
筑紫	3,373	6%	82	43	2,865	6%	69	44	508	5%	12.3	47
朝倉	1,254	2%	95	54	1,155	2%	88	60	99	1%	7.5	39
久留米	5,931	10%	101	58	5,272	10%	90	62	659	7%	11.2	45
八女・筑後	2,208	4%	105	62	1,980	4%	94	65	228	2%	10.8	45
有明	4,032	7%	102	59	3,534	7%	89	61	498	5%	12.6	48
飯塚	2,870	5%	103	60	2,287	4%	82	55	582	6%	21.0	63
直方・鞍手	2,010	3%	110	65	1,725	3%	94	65	285	3%	15.5	53
田川	3,105	5%	141	90	2,411	5%	109	79	694	7%	31.5	81
北九州	14,625	24%	93	52	12,316	24%	78	52	2,310	24%	14.7	51
京築	2,544	4%	93	52	2,185	4%	80	53	359	4%	13.1	49
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 40-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
福岡県	45,601	4.3%	73	52	14,090	3.1%	22	45	67,801	4.6%	108	55
福岡・糸島	19,928	44%	129	70	4,481	32%	29	51	19,353	29%	125	60
粕屋	1,854	4%	68	51	726	5%	27	49	1,717	3%	63	41
宗像	892	2%	45	43	292	2%	15	39	1,617	2%	81	47
筑紫	2,188	5%	53	46	979	7%	24	46	3,744	6%	91	50
朝倉	780	2%	59	48	112	1%	8	34	628	1%	48	36
久留米	3,304	7%	56	47	1,236	9%	21	44	4,238	6%	72	44
八女・筑後	814	2%	39	41	207	1%	10	35	1,168	2%	56	39
有明	2,093	5%	53	46	648	5%	16	40	3,088	5%	78	46
飯塚	2,580	6%	93	58	570	4%	21	44	4,236	6%	153	69
直方・鞍手	919	2%	50	45	302	2%	16	40	2,000	3%	109	55
田川	707	2%	32	39	695	5%	32	53	4,322	6%	196	82
北九州	7,537	17%	48	44	3,412	24%	22	45	19,644	29%	125	60
京築	2,005	4%	73	52	430	3%	16	40	2,046	3%	75	45

出典 平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの

資\_図表 40-28 総人口の推移と医療需要<sup>8</sup>の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	120,699,960	-6%	12%	6%	18%
福岡県		5,049,908	5,101,556	1%	4,855,724	-4%	12%	7%	20%
福岡・糸島	大都市型	1,499,253	1,635,156	9%	1,602,927	7%	21%	14%	37%
粕屋	地方都市型	261,212	283,544	9%	285,755	9%	21%	11%	35%
宗像	地方都市型	149,825	155,297	4%	143,852	-4%	17%	6%	24%
筑紫	地方都市型	412,780	433,521	5%	426,037	3%	20%	11%	33%
朝倉	地方都市型	91,487	83,924	-8%	76,947	-16%	1%	3%	4%
久留米	地方都市型	465,712	456,196	-2%	424,744	-9%	9%	5%	15%
八女・筑後	地方都市型	141,354	132,930	-6%	123,597	-13%	4%	2%	6%
有明	地方都市型	249,001	223,276	-10%	195,314	-22%	0%	-4%	-4%
飯塚	地方都市型	193,821	181,385	-6%	166,186	-14%	4%	1%	5%
直方・鞍手	地方都市型	115,584	109,075	-6%	98,057	-15%	6%	-2%	4%
田川	地方都市型	140,736	126,104	-10%	114,342	-19%	1%	-3%	-2%
北九州	大都市型	1,137,622	1,096,744	-4%	1,027,674	-10%	9%	5%	14%
京築	地方都市型	191,521	184,404	-4%	170,292	-11%	8%	1%	9%

出典 <人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など)  
<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月  
<人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月

資\_図表 40-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
福岡県	481	9.5	56	460	9.0	56	-21	-4%	438
福岡・糸島	131	8.7	54	123	7.5	52	-8	-6%	114
粕屋	26	10.0	57	26	9.2	56	0	0%	26
宗像	14	9.3	56	14	9.0	56	0	0%	14
筑紫	28	6.8	49	26	6.0	48	-2	-7%	24
朝倉	9	9.8	57	8	9.5	57	-1	-11%	7
久留米	49	10.5	59	49	10.7	60	0	0%	49
八女・筑後	14	9.9	57	14	10.5	59	0	0%	14
有明	34	13.7	67	33	14.8	70	-1	-3%	32
飯塚	24	12.4	64	22	12.1	63	-2	-8%	20
直方・鞍手	13	11.2	61	12	11.0	60	-1	-8%	11
田川	17	12.1	63	16	12.7	65	-1	-6%	15
北九州	105	9.2	56	102	9.3	56	-3	-3%	99
京築	17	8.9	55	15	8.1	54	-2	-12%	13
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 40-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
福岡県	4,357	86	55	4,587	90	56	230	5%	4,841
福岡・糸島	1,372	92	58	1,551	95	58	179	13%	1,748
粕屋	135	52	38	167	59	39	32	24%	202
宗像	94	63	43	113	73	47	19	20%	134
筑紫	248	60	42	288	66	43	40	16%	332
朝倉	75	82	53	73	87	54	-2	-3%	71
久留米	433	93	58	453	99	61	20	5%	475
八女・筑後	120	85	54	117	88	55	-3	-3%	114
有明	244	98	61	221	99	61	-23	-9%	196
飯塚	167	86	55	170	94	58	3	2%	173
直方・鞍手	100	87	55	102	94	58	2	2%	104
田川	112	80	52	110	87	54	-2	-2%	108
北九州	1,109	97	61	1,059	97	59	-50	-5%	1,004
京築	148	77	51	163	88	55	15	10%	180
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 40-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
福岡県	13,556	268	57	15,660	307	57	2,104	16%	17,974
福岡・糸島	4,830	322	63	6,004	367	63	1,174	24%	7,295
粕屋	386	148	42	489	172	42	103	27%	602
宗像	217	145	42	268	173	42	51	24%	324
筑紫	680	165	44	835	193	44	155	23%	1,006
朝倉	158	173	45	165	197	45	7	4%	173
久留米	1,894	407	73	2,101	461	73	207	11%	2,329
八女・筑後	282	199	49	285	214	47	3	1%	288
有明	596	239	53	588	263	52	-8	-1%	579
飯塚	476	246	54	589	325	59	113	24%	713
直方・鞍手	207	179	46	210	193	44	3	1%	213
田川	269	191	48	265	210	46	-4	-1%	261
北九州	3,302	290	59	3,579	326	59	277	8%	3,884
京築	259	135	41	282	153	40	23	9%	307
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資\_図表 40-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	-131,929	-7%	1,535,514
福岡県	101,039	200	60	94,486	185	59	-6,553	-6%	87,278
福岡・糸島	26,329	176	56	24,825	152	53	-1,504	-6%	23,171
粕屋	5,071	194	59	4,946	174	57	-125	-2%	4,809
宗像	2,810	188	58	2,789	180	58	-21	-1%	2,766
筑紫	5,837	141	50	5,490	127	49	-347	-6%	5,108
朝倉	1,716	188	58	1,517	181	59	-199	-12%	1,298
久留米	11,336	243	68	10,345	227	67	-991	-9%	9,255
八女・筑後	2,803	198	60	2,508	189	60	-295	-11%	2,184
有明	7,012	282	75	6,455	289	78	-557	-8%	5,842
飯塚	4,731	244	68	4,395	242	69	-336	-7%	4,025
直方・鞍手	2,357	204	61	2,105	193	61	-252	-11%	1,828
田川	3,783	269	73	3,584	284	77	-199	-5%	3,365
北九州	23,901	210	62	22,602	206	63	-1,299	-5%	21,173
京築	3,353	175	56	2,925	159	55	-428	-13%	2,454
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 40-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
福岡県	51,820	103	57	50,305	99	57	-1,515	-3%	48,640	100
福岡・糸島	15,066	100	56	14,942	91	55	-124	-1%	14,806	92
粕屋	2,010	77	48	2,432	86	53	422	21%	2,896	101
宗像	974	65	43	1,052	68	46	78	8%	1,138	79
筑紫	2,771	67	44	2,561	59	43	-210	-8%	2,330	55
朝倉	829	91	52	722	86	53	-107	-13%	604	78
久留米	6,492	139	70	5,761	126	68	-731	-11%	4,957	117
八女・筑後	1,427	101	56	1,205	91	55	-222	-16%	961	78
有明	3,523	141	70	3,360	150	77	-163	-5%	3,181	163
飯塚	2,941	152	74	2,812	155	78	-129	-4%	2,670	161
直方・鞍手	874	76	47	771	71	47	-103	-12%	658	67
田川	1,334	95	54	1,270	101	58	-64	-5%	1,200	105
北九州	12,465	110	59	12,427	113	63	-38	0%	12,385	121
京築	1,114	58	41	990	54	41	-124	-11%	854	50
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資\_図表 40-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
福岡県	26,543	57	64	22,364	36	62	-4,179	-16%	17,769	20
福岡・糸島	6,526	64	68	5,386	35	62	-1,140	-17%	4,132	17
粕屋	1,914	103	90	1,420	52	77	-494	-26%	877	21
宗像	868	60	66	769	39	65	-99	-11%	660	24
筑紫	1,755	67	70	1,614	39	65	-141	-8%	1,459	23
朝倉	529	46	58	455	34	61	-74	-14%	374	23
久留米	2,644	60	66	2,529	43	69	-115	-4%	2,403	31
八女・筑後	912	53	62	837	40	66	-75	-8%	755	30
有明	1,667	50	60	1,353	34	61	-314	-19%	1,008	23
飯塚	770	33	50	654	24	52	-116	-15%	526	16
直方・鞍手	640	43	56	541	30	57	-99	-15%	432	20
田川	440	23	45	390	18	47	-50	-11%	335	14
北九州	6,581	57	64	5,423	35	61	-1,158	-18%	4,149	19
京築	1,297	60	66	993	36	63	-304	-23%	659	19
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

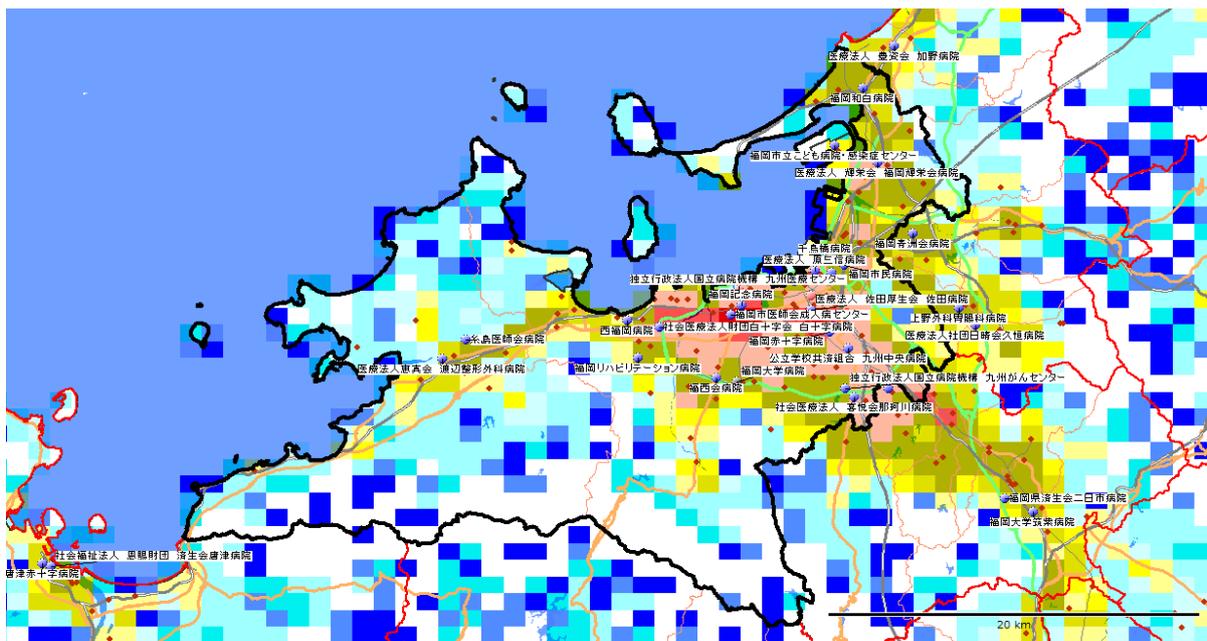
資\_図表 40-35 後期高齢者の医療費・地域差指数<sup>7</sup>

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	934	(123)	1.000	460	(99)	1.000	441	(41)	1.000
福岡県	1,178	70	1.224	653	70	1.379	484	60	1.062
福岡・糸島	1,220	73	1.276	671	71	1.426	506	66	1.117
粕屋	1,237	75	1.282	721	76	1.524	476	58	1.037
宗像	1,110	64	1.160	627	67	1.324	445	51	0.987
筑紫	1,120	65	1.173	598	64	1.281	481	60	1.058
朝倉	1,198	71	1.232	727	77	1.496	437	49	0.964
久留米	1,132	66	1.176	628	67	1.323	469	57	1.029
八女・筑後	1,131	66	1.167	636	68	1.320	461	55	1.014
有明	1,159	68	1.199	667	71	1.384	459	54	1.014
飯塚	1,137	66	1.164	627	67	1.288	471	57	1.030
直方・鞍手	1,132	66	1.168	624	67	1.294	469	57	1.033
田川	1,157	68	1.185	624	67	1.284	492	62	1.075
北九州	1,200	72	1.247	661	70	1.397	493	63	1.082
京築	1,135	66	1.182	614	66	1.296	485	61	1.068
出典	＜一人あたり医療費＞平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

# 40-1. ふくおか いとじま 福岡・糸島医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [東区](#) [博多区](#) [中央区](#) [南区](#)  
[西区](#) [城南区](#) [早良区](#) [糸島市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



## (福岡・糸島医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 福岡・糸島(福岡市東区)は、総人口約1635千人(2015年)、面積559km<sup>2</sup>、人口密度は2925人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 福岡・糸島の総人口は2025年に1603千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に1522千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の154千人が、2025年にかけて245千人へと増加し(2015年比+59%)、2040年には293千人へと増加する(2025年比+20%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 福岡・糸島の一人当たり医療費(国保)は323千円(偏差値45)、介護給付費は263千円(偏差値53)であり、医療費はやや低い、介護給付費はやや高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 福岡・糸島の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.25、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.82で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が61(病院医師数60、診療所医師数61)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は61と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は63と多い。福岡・糸島には、年間全身麻酔件数が2000例以上の福岡赤十字病院(Ⅲ群)、浜の町病院(Ⅲ群)、原三信病院(Ⅲ群)、国立病院機構九州医療センター(Ⅱ群・救命)、済生会福岡総合病院(Ⅱ群・救命)、九州大学病院(Ⅰ群・救命)、福岡大学病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の国立病院機構九州がんセンター(Ⅲ群)、九州中央病院(Ⅲ群)、福岡記念病院(Ⅲ群)、福岡市立こども病院(Ⅲ群)、佐田病院(Ⅲ群)、福岡和白病院(Ⅱ群)、500例以上の白十字病院(Ⅲ群)、福岡リハビリテーション病院(Ⅲ群)、福西会病院(Ⅲ群)、福岡市民病院(Ⅲ群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は52と療養病床数は全国平均レベルである。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値60と多く、回復期病床数は偏差値56と多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は59で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 福岡・糸島の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、18842人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が9497床(偏差値50)、高齢者住宅等が9345床(偏差値62)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、12072人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設44、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設54、有料老人ホーム62、軽費ホーム47、グループホーム53、サ高住56である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値70と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値59と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値68と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、2952人(75歳以上1000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

**\*介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-25%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (福岡・糸島医療圏) 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

福岡・糸島医療圏の総人口は、2005年1499253人が、2015年に1635156人と9%増加し、2025年の人口が1602927人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に21%増加し、2015年から2025年にかけて14%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

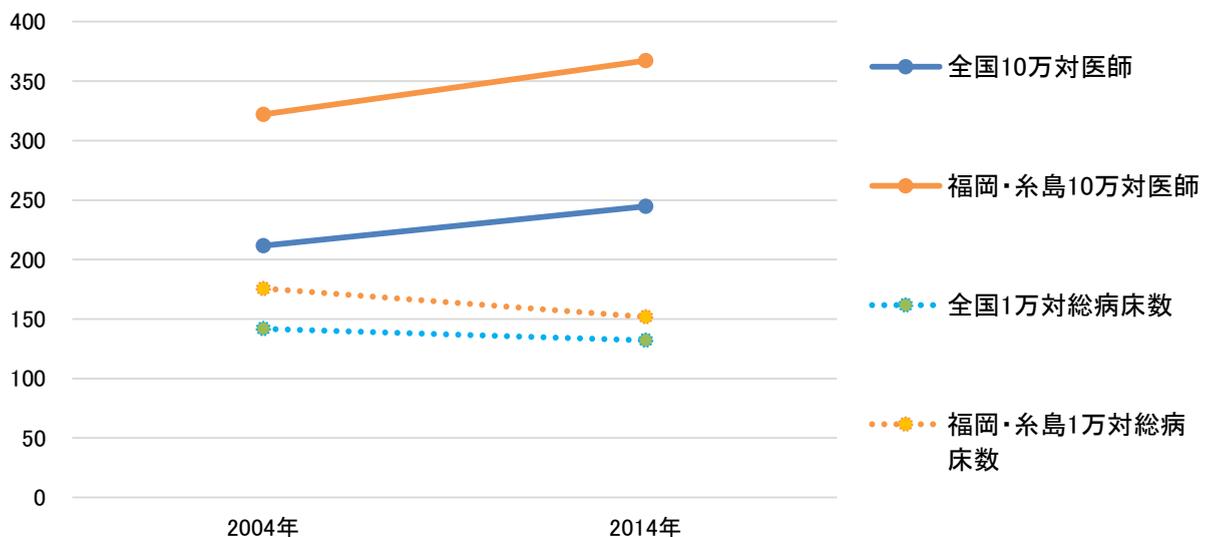
2004年の病院数が131(人口10万人当たり8.7病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2014年に123(人口10万人当たり7.5病院(全国平均6.7)偏差値52)となり、10年間で8病院が減少した。

2004年の診療所数が1372(人口10万人当たり92診療所(全国平均76)偏差値58)であったが、2014年に1551(人口10万人当たり95診療所(全国平均79)偏差値58)と、179診療所が増加した。

2004年の総病床数が26329床(人口1万人当たり176(全国平均142)偏差値56)であったが、2014年に24825床(人口1万人当たり152(全国平均132)偏差値53)と、1504床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

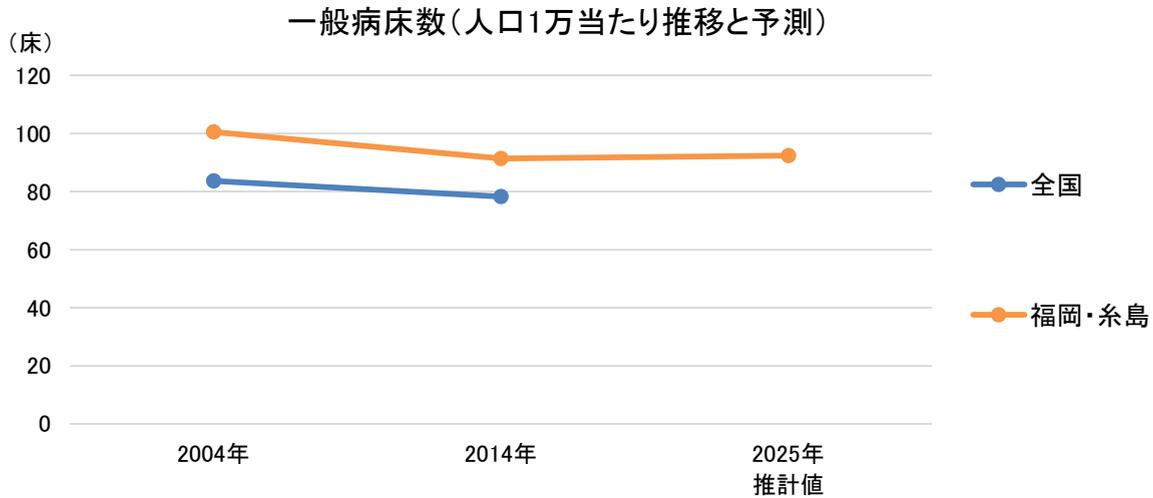
2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が4830人(人口10万人当たり322人(全国平均212人)偏差値63)であったが、2014年に6004人(人口10万人当たり367人(全国平均245人)偏差値63)と、1174人の増加、率にして24%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



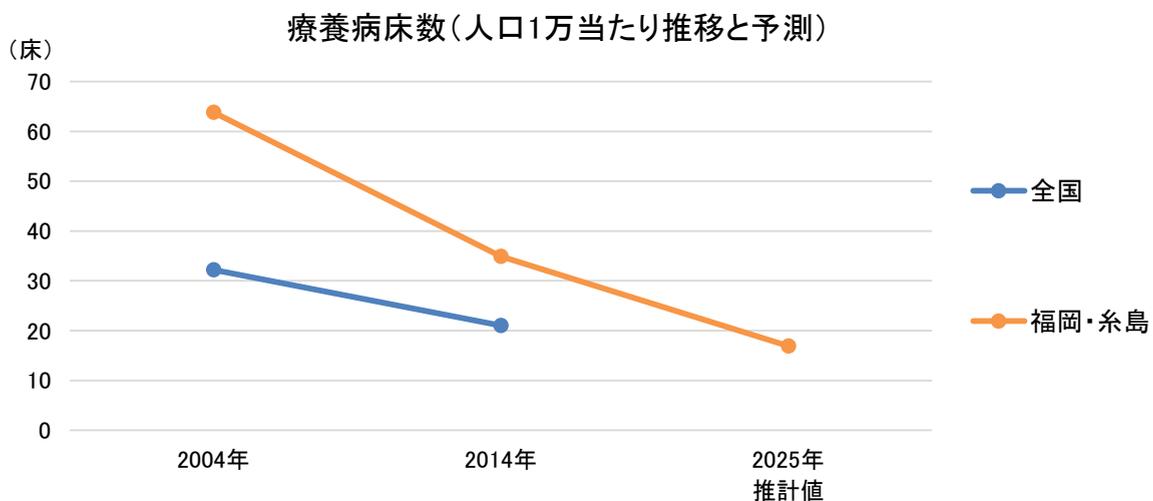
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が15066床(人口1万人当たり100(全国平均84)偏差値56)であったが、2014年に14942床(人口1万人当たり91(全国平均78)偏差値55)と、124床の減少、率にして1%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には14806床(2025年の推計人口1万人当たり92)になることが予想される。



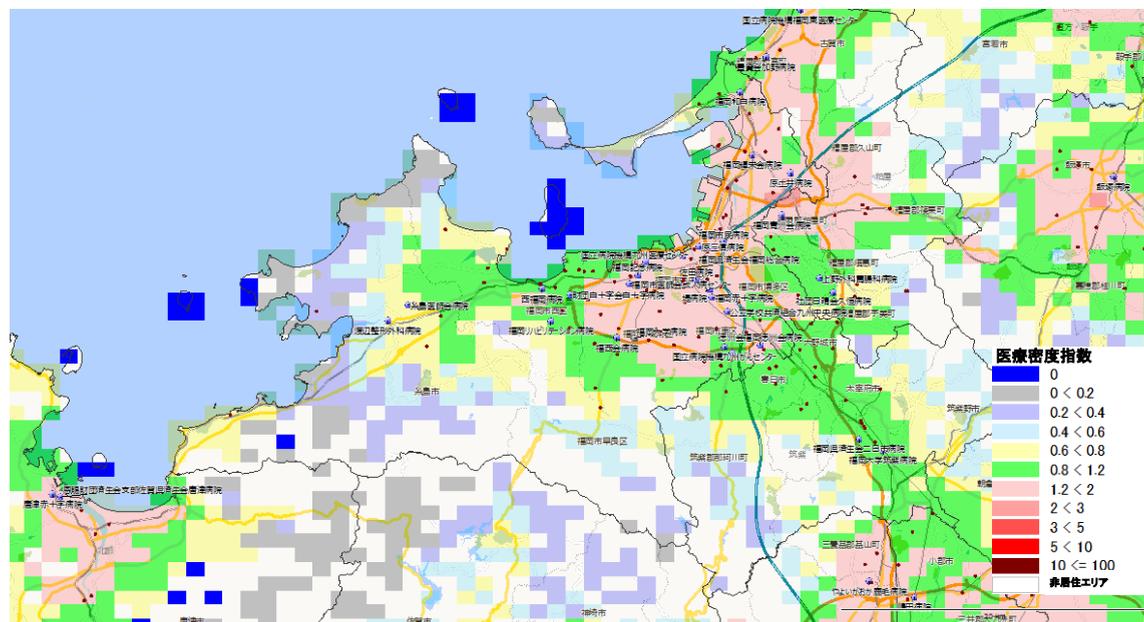
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が6526床(75歳以上1000人当たり64(全国平均32)偏差値68)であったが、2014年に5386床(75歳以上1000人当たり35(全国平均21)偏差値62)と、1140床の減少、率にして17%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4132床(2025年の推計75歳以上1000人当たり17)になることが予想される。



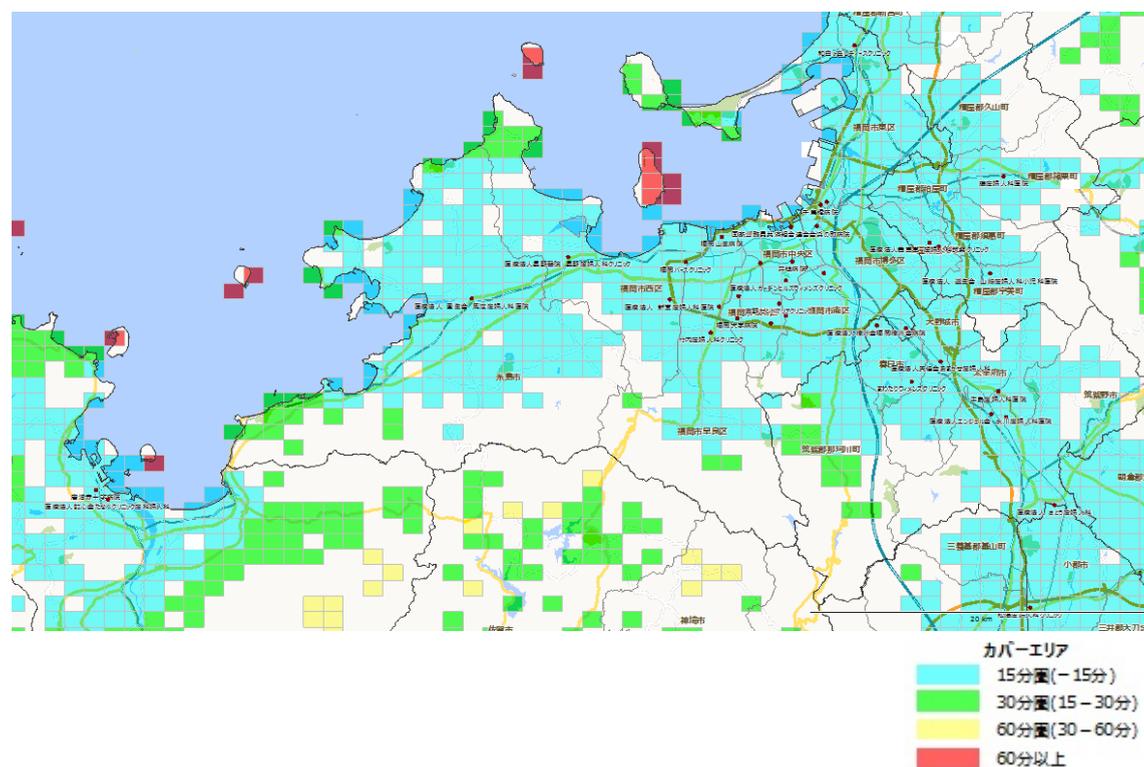
(福岡・糸島医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表40-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-1-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

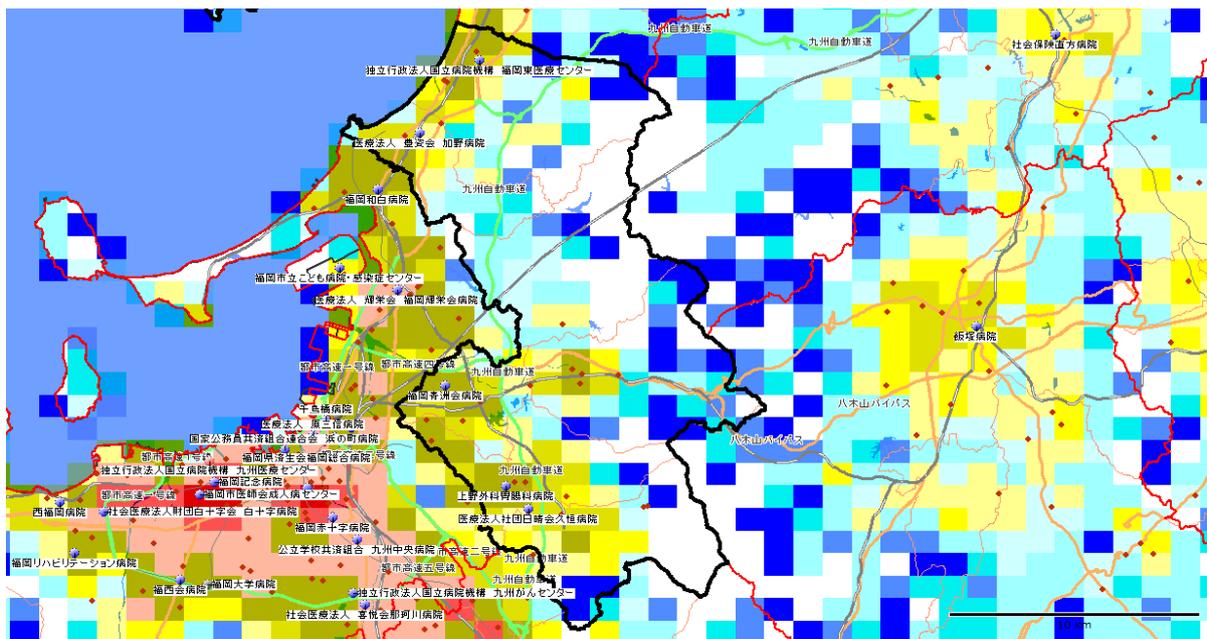
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



# 40-2. かすや 粕屋医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [古賀市](#) [須恵町](#) [宇美町](#) [新宮町](#) [篠栗町](#) [久山町](#) [志免町](#) [粕屋町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I群

● II群

● III群

● 一般病院

## (粕屋医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 粕屋(古賀市)は、総人口約284千人(2015年)、面積207km<sup>2</sup>、人口密度は1372人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 粕屋の総人口は2025年に286千人へと増加し(2015年比+1%)、2040年に282千人へと減少する(2025年比-1%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて41千人へと増加し(2015年比+52%)、2040年には45千人へと増加する(2025年比+10%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 粕屋の一人当たり医療費(国保)は352千円(偏差値52)、介護給付費は244千円(偏差値48)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 粕屋の一人当たり急性期医療密度指数2は1.12、一人当たり慢性期医療密度指数2は1.81で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数3の偏差値が44(病院医師数46、診療所医師数42)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。粕屋には、年間全身麻酔件数が1000例以上の国立病院機構福岡東医療センター(Ⅲ群・救命)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は61と療養病床数は多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値60と多く、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は40で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 粕屋の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3100人(75歳以上1000人当たりの偏差値56)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1932床(偏差値58)、高齢者住宅等が1168床(偏差値51)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2070人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設94、有料老人ホーム52、軽費ホーム50、グループホーム50、サ高住48である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値57と多く、在宅療養支援病院は偏差値67と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値62と多い。介護職員(在宅)の合計は、301人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

**\*介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-22%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (粕屋医療圏) 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

粕屋医療圏の総人口は、2005年261212人が、2015年に283544人と9%増加し、2025年の人口が285755人と予測され、2005年→2025年の間に9%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に21%増加し、2015年から2025年にかけて11%程度の増加が予測される。

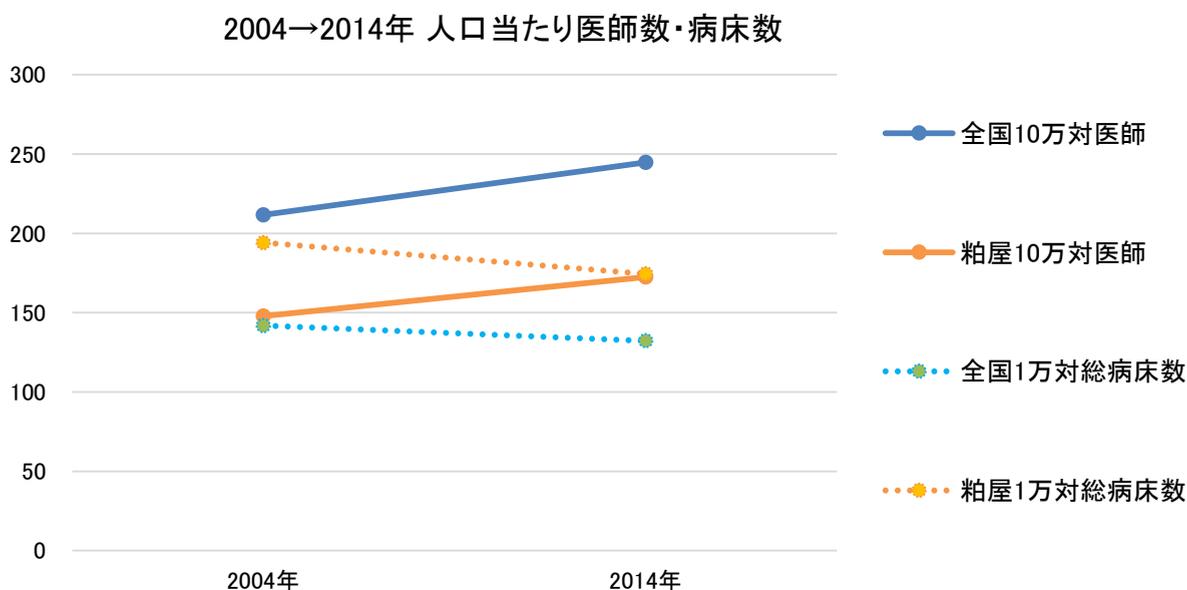
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が26(人口10万人当たり10病院(全国平均7.1)偏差値57)であったが、2014年に26(人口10万人当たり9.2病院(全国平均6.7)偏差値56)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が135(人口10万人当たり52診療所(全国平均76)偏差値38)であったが、2014年に167(人口10万人当たり59診療所(全国平均79)偏差値39)と、32診療所が増加した。

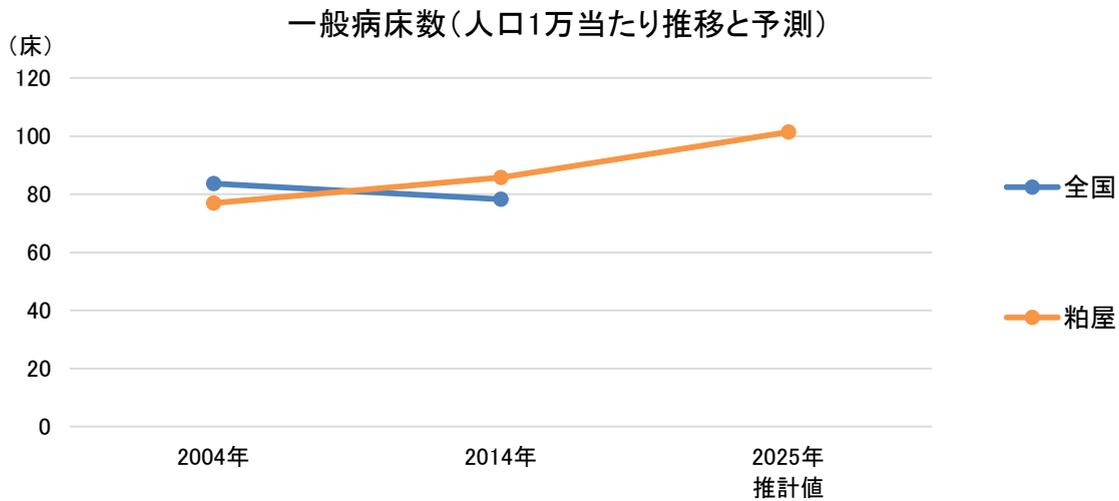
2004年の総病床数が5071床(人口1万人当たり194(全国平均142)偏差値59)であったが、2014年に4946床(人口1万人当たり174(全国平均132)偏差値57)と、125床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が386人(人口10万人当たり148人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2014年に489人(人口10万人当たり172人(全国平均245人)偏差値42)と、103人の増加、率にして27%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



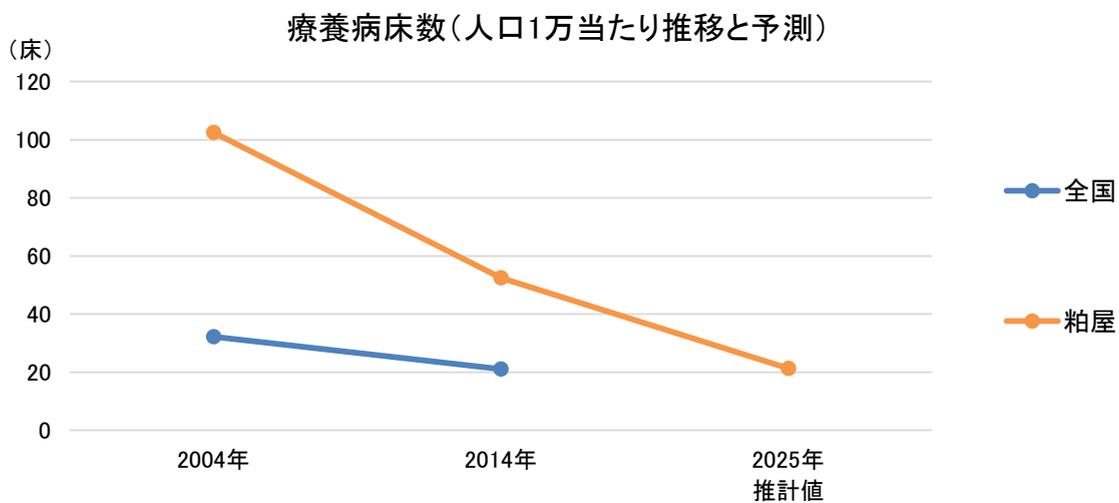
**【一般病床の推移と今後の予測】**

2004年の一般病床(病院+診療所)が2010床(人口1万人当たり77(全国平均84)偏差値48)であったが、2014年に2432床(人口1万人当たり86(全国平均78)偏差値53)と、422床の増加、率にして21%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には2896床(2025年の推計人口1万人当たり101)になることが予想される。



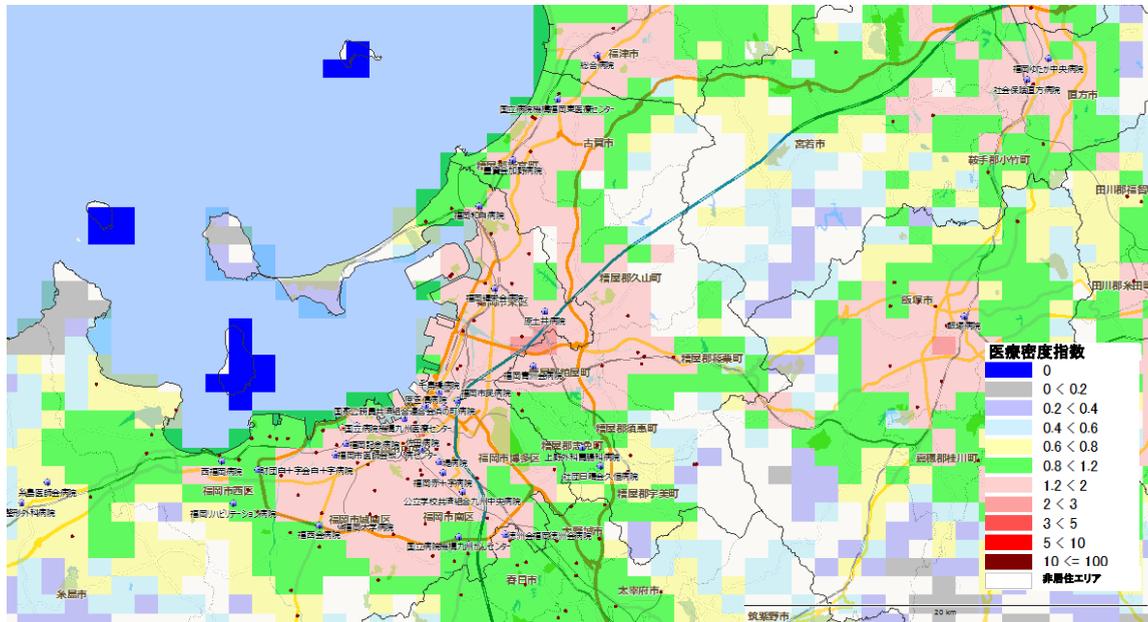
**【療養病床の推移と今後の予測】**

2004年の療養病床(病院+診療所)が1914床(75歳以上1000人当たり103(全国平均32)偏差値90)であったが、2014年に1420床(75歳以上1000人当たり52(全国平均21)偏差値77)と、494床の減少、率にして26%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には877床(2025年の推計75歳以上1000人当たり21)になることが予想される。



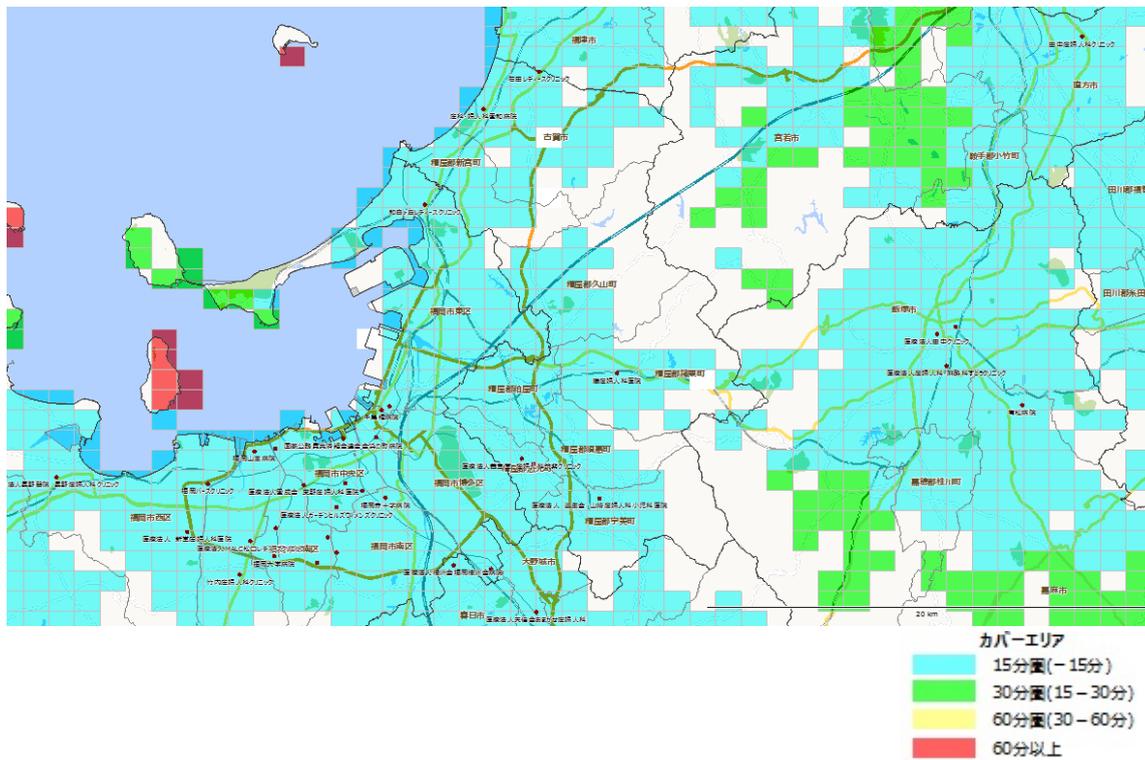
(粕屋医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表40-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

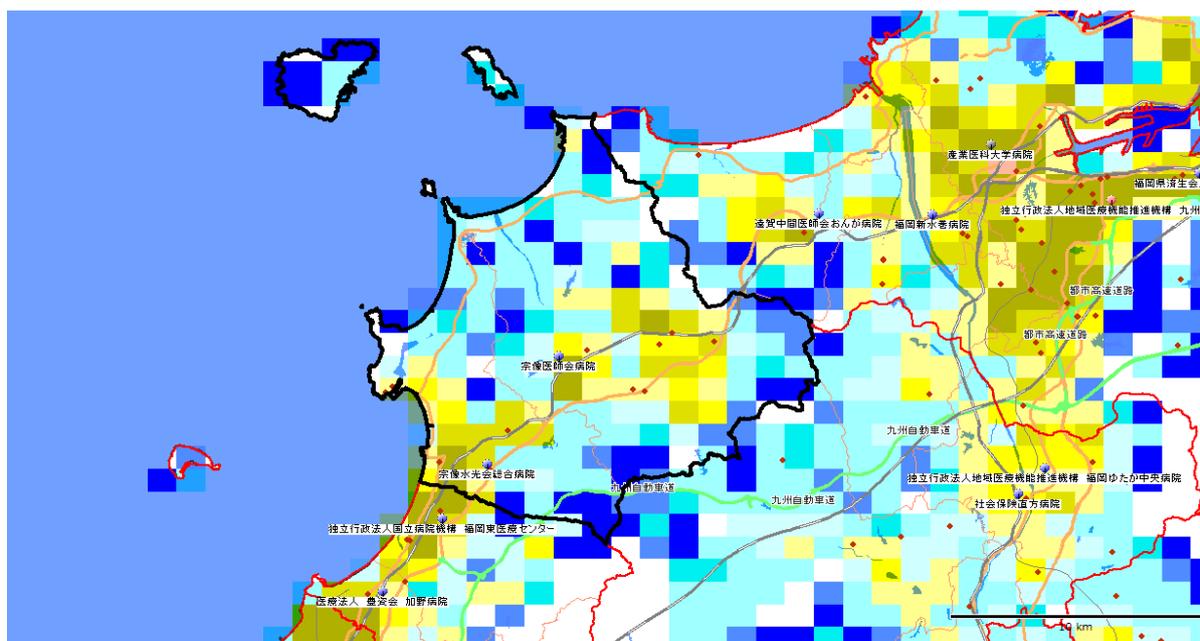
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



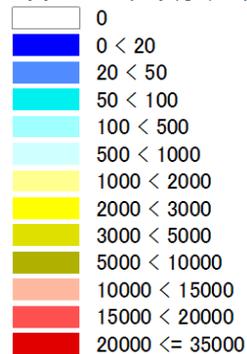
# 40-3. むなかた 宗像医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [宗像市](#) [福津市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (宗像医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 宗像(宗像市)は、総人口約155千人(2015年)、面積173km<sup>2</sup>、人口密度は899人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 宗像の総人口は2025年に144千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に128千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の20千人が、2025年にかけて28千人へと増加し(2015年比+40%)、2040年には30千人へと増加する(2025年比+7%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 宗像の一人当たり医療費(国保)は378千円(偏差値58)、介護給付費は230千円(偏差値43)であり、医療費は高いが、介護給付費は低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 宗像の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.96、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.69で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が44(病院医師数43、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は36と少ない。宗像には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値44と少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は66で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 宗像の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1958人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1185床(偏差値48)、高齢者住宅等が773床(偏差値48)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1404人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設41、特別養護老人ホーム42、介護療養型医療施設78、有料老人ホーム52、軽費ホーム50、グループホーム45、サ高住46である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値55とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、209人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-32%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (宗像医療圏) 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

宗像医療圏の総人口は、2005年149825人が、2015年に155297人と4%増加し、2025年の人口が143852人と予測され、2005年→2025年の間に4%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に17%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

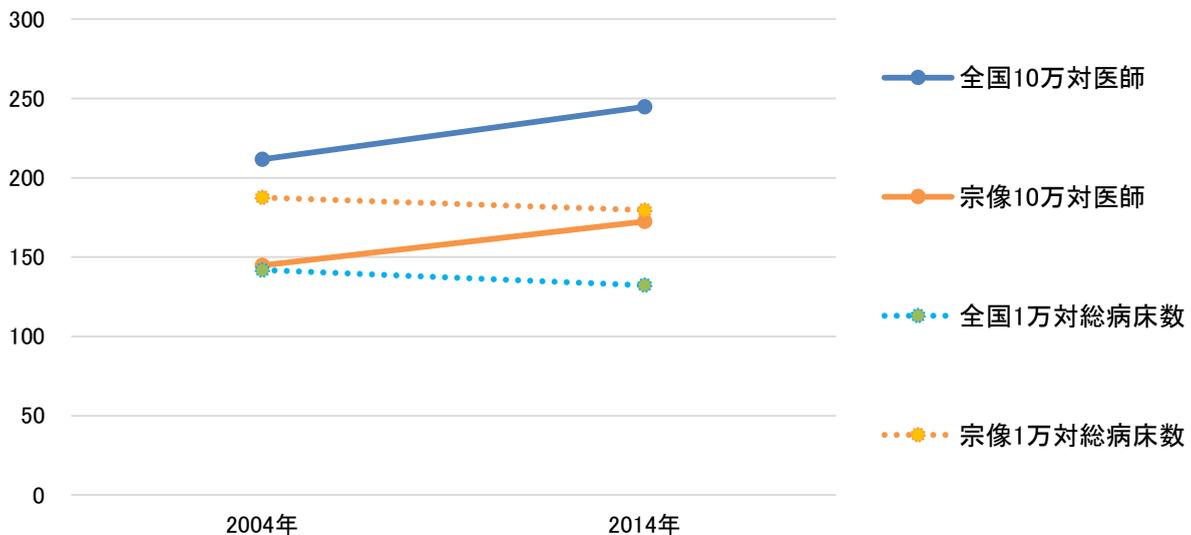
2004年の病院数が14(人口10万人当たり9.3病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2014年に14(人口10万人当たり9病院(全国平均6.7)偏差値56)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が94(人口10万人当たり63診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2014年に113(人口10万人当たり73診療所(全国平均79)偏差値47)と、19診療所が増加した。

2004年の総病床数が2810床(人口1万人当たり188(全国平均142)偏差値58)であったが、2014年に2789床(人口1万人当たり180(全国平均132)偏差値58)と、21床の減少、率にして1%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

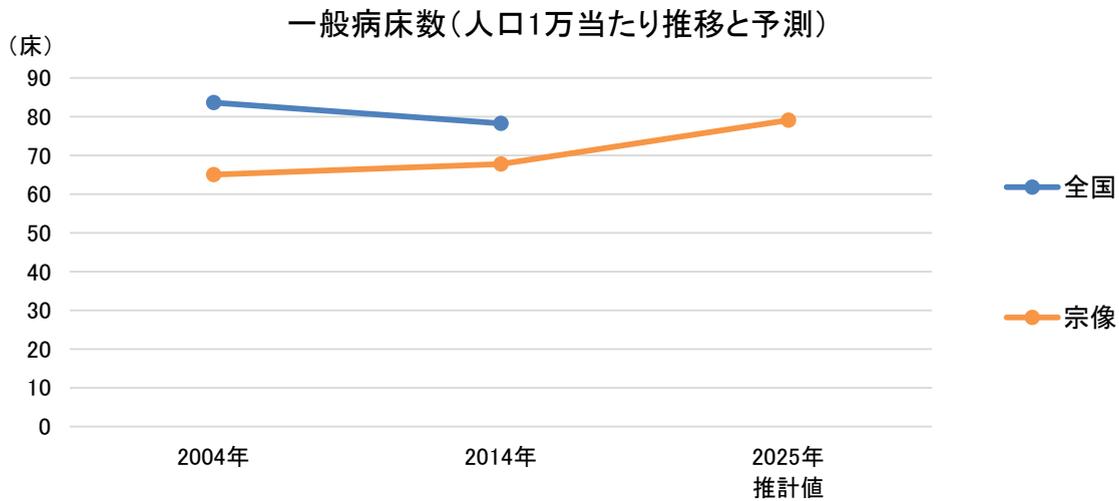
2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が217人(人口10万人当たり145人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2014年に268人(人口10万人当たり173人(全国平均245人)偏差値42)と、51人の増加、率にして24%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



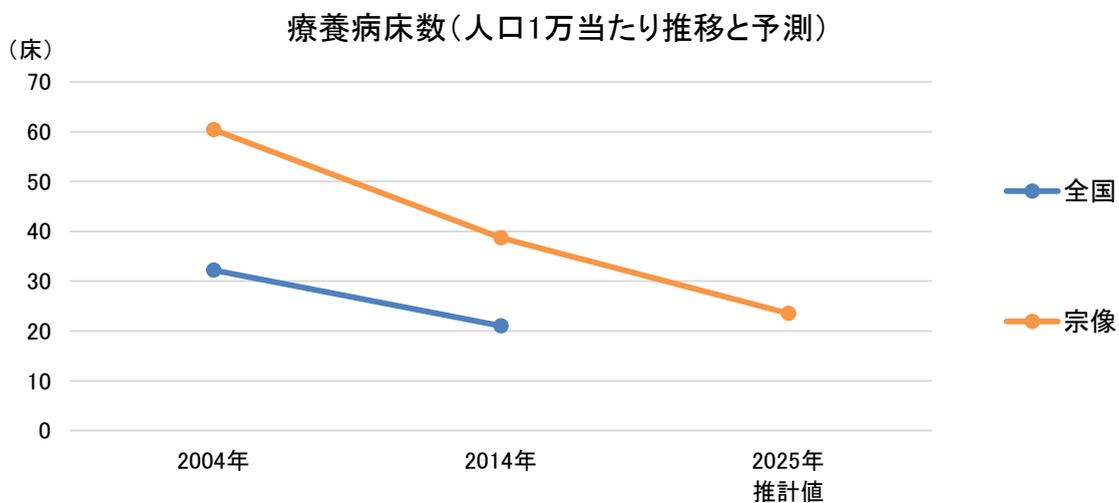
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が974床(人口1万人当たり65(全国平均84)偏差値43)であったが、2014年に1052床(人口1万人当たり68(全国平均78)偏差値46)と、78床の増加、率にして8%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1138床(2025年の推計人口1万人当たり79)になることが予想される。



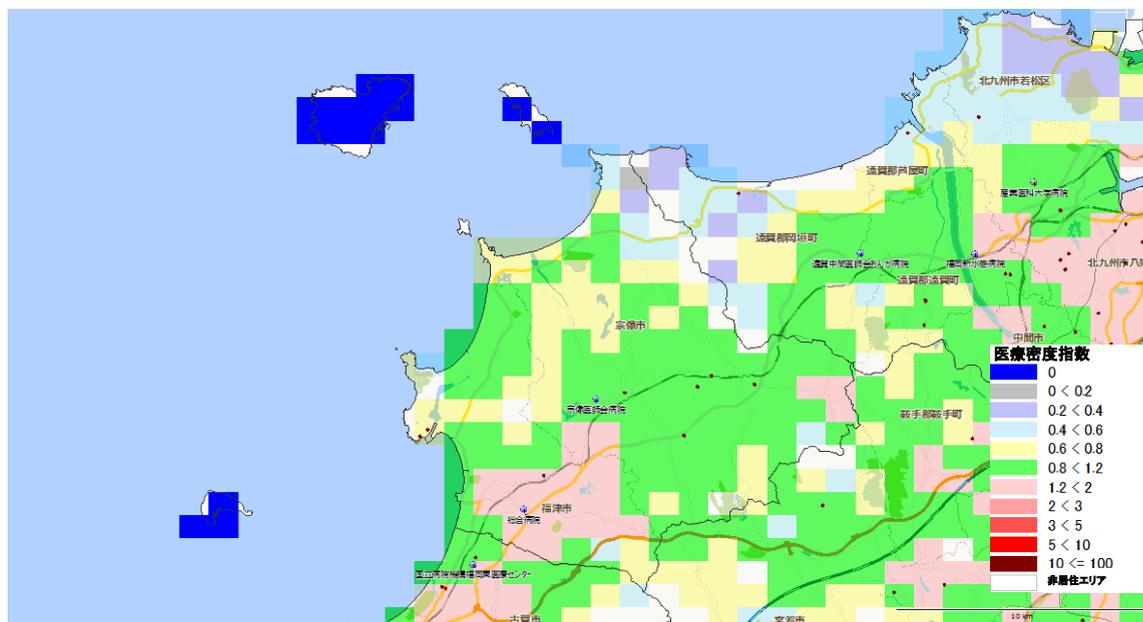
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が868床(75歳以上1000人当たり60(全国平均32)偏差値66)であったが、2014年に769床(75歳以上1000人当たり39(全国平均21)偏差値65)と、99床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には660床(2025年の推計75歳以上1000人当たり24)になることが予想される。



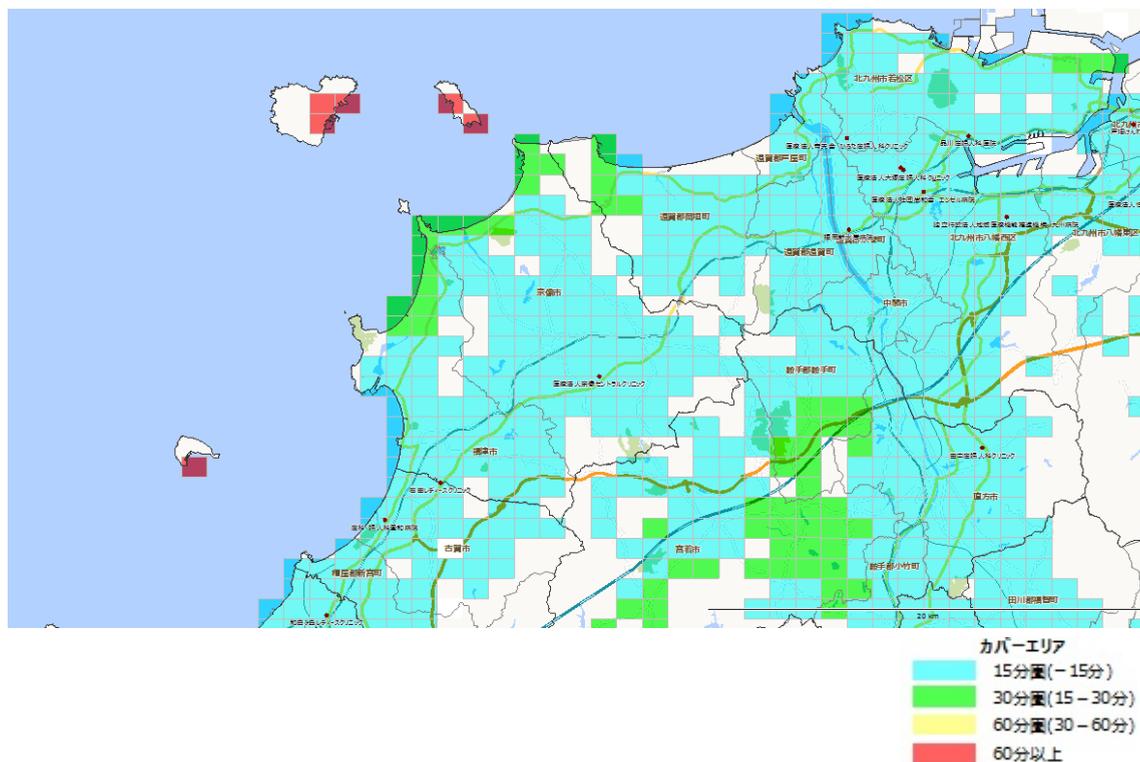
(宗像医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表40-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

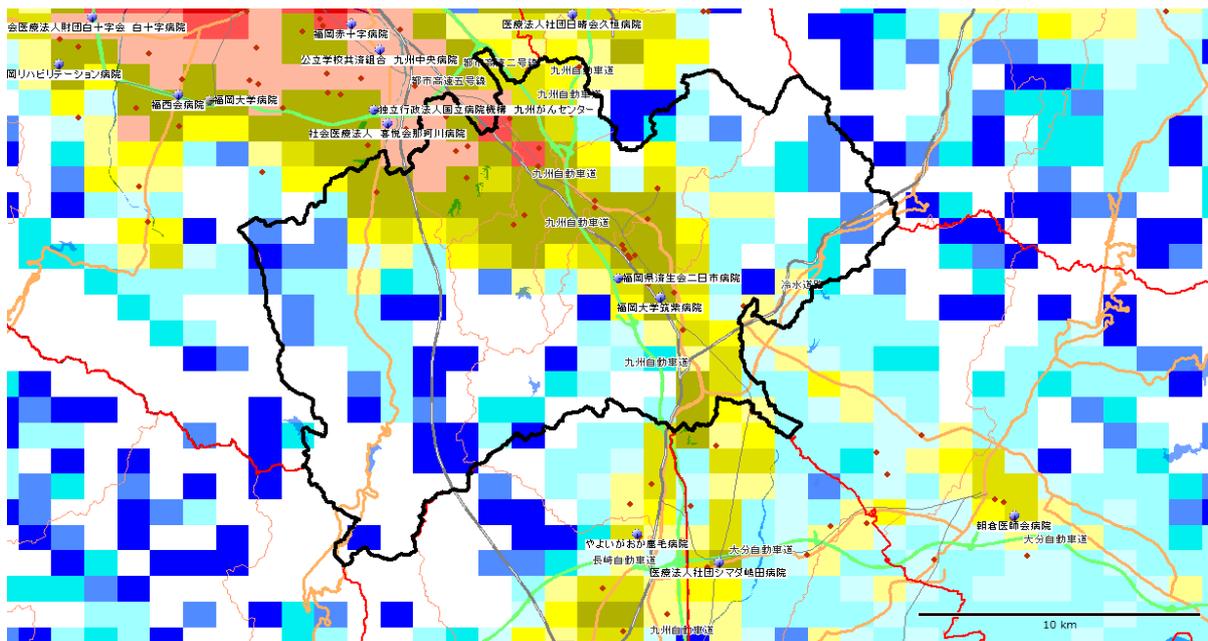
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



# 40-4. ちくし 筑紫医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [筑紫野市](#) [春日市](#) [大野城市](#) [太宰府市](#)  
[那珂川町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (筑紫医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 筑紫(筑紫野市)は、総人口約434千人(2015年)、面積233km<sup>2</sup>、人口密度は1858人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 筑紫の総人口は2025年に426千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に403千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の41千人が、2025年にかけて64千人へと増加し(2015年比+56%)、2040年には75千人へと増加する(2025年比+17%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 筑紫の一人当たり医療費(国保)は336千円(偏差値48)、介護給付費は221千円(偏差値41)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 筑紫の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.02、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.99で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が45(病院医師数44、診療所医師数47)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は39で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。筑紫には、年間全身麻酔件数が2000例以上の福岡徳洲会病院(Ⅲ群)、1000例以上の福岡大学筑紫病院(Ⅲ群)、500例以上の済生会二日市病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 筑紫の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4497人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2232床(偏差値44)、高齢者住宅等が2265床(偏差値58)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2865人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設34、特別養護老人ホーム40、介護療養型医療施設77、有料老人ホーム59、軽費ホーム49、グループホーム48、サ高住56である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値56と多く、在宅療養支援病院は偏差値69と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値66と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、508人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-36%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (筑紫医療圏) 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

筑紫医療圏の総人口は、2005年412780人が、2015年に433521人と5%増加し、2025年の人口が426037人と予測され、2005年→2025年の間に3%程度の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に20%増加し、2015年から2025年にかけて11%程度の増加が予測される。

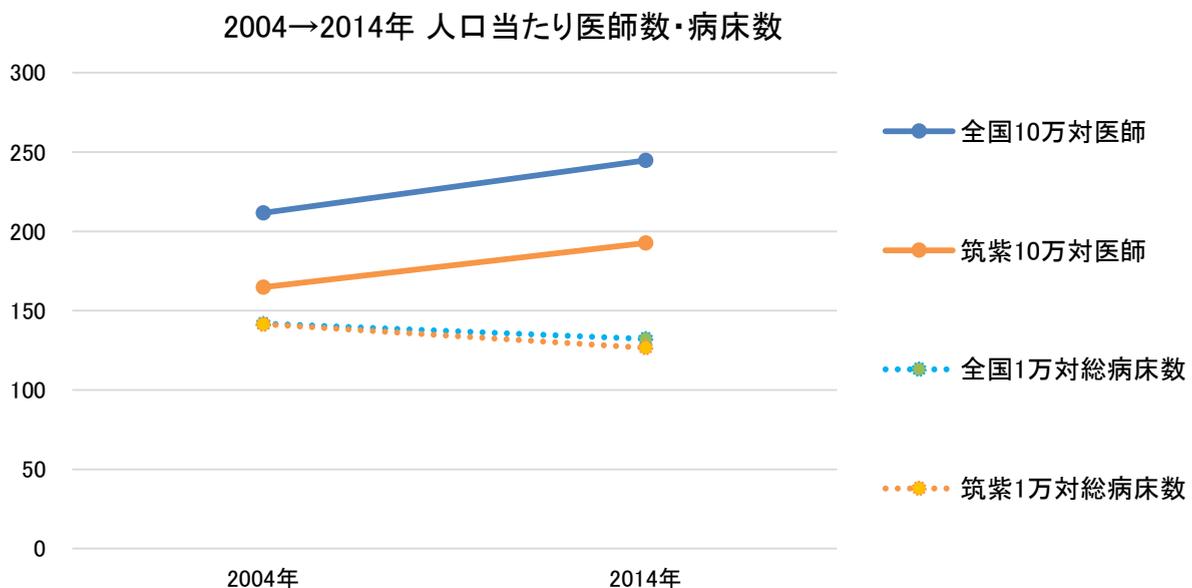
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が28(人口10万人当たり6.8病院(全国平均7.1)偏差値49)であったが、2014年に26(人口10万人当たり6病院(全国平均6.7)偏差値48)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が248(人口10万人当たり60診療所(全国平均76)偏差値42)であったが、2014年に288(人口10万人当たり66診療所(全国平均79)偏差値43)と、40診療所が増加した。

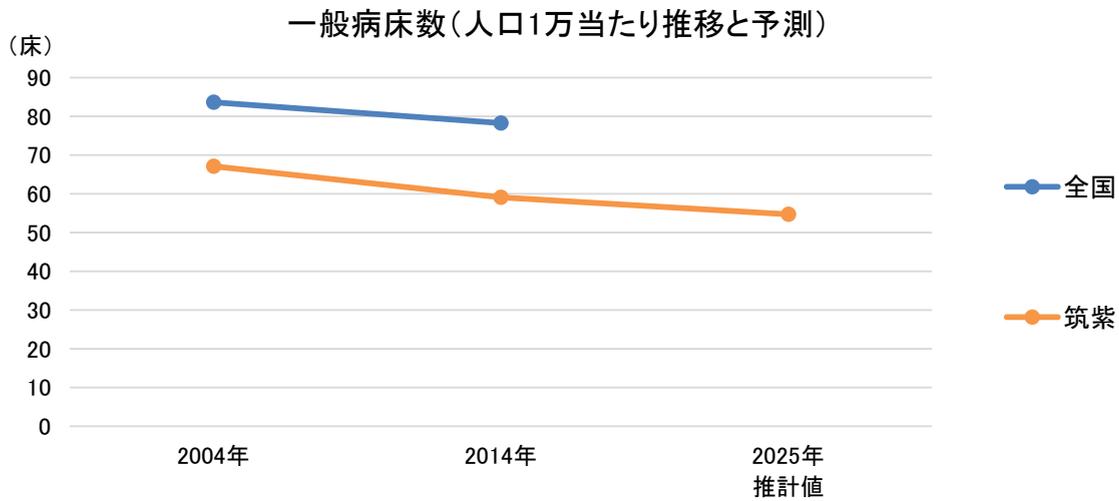
2004年の総病床数が5837床(人口1万人当たり141(全国平均142)偏差値50)であったが、2014年に5490床(人口1万人当たり127(全国平均132)偏差値49)と、347床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が680人(人口10万人当たり165人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に835人(人口10万人当たり193人(全国平均245人)偏差値44)と、155人の増加、率にして23%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



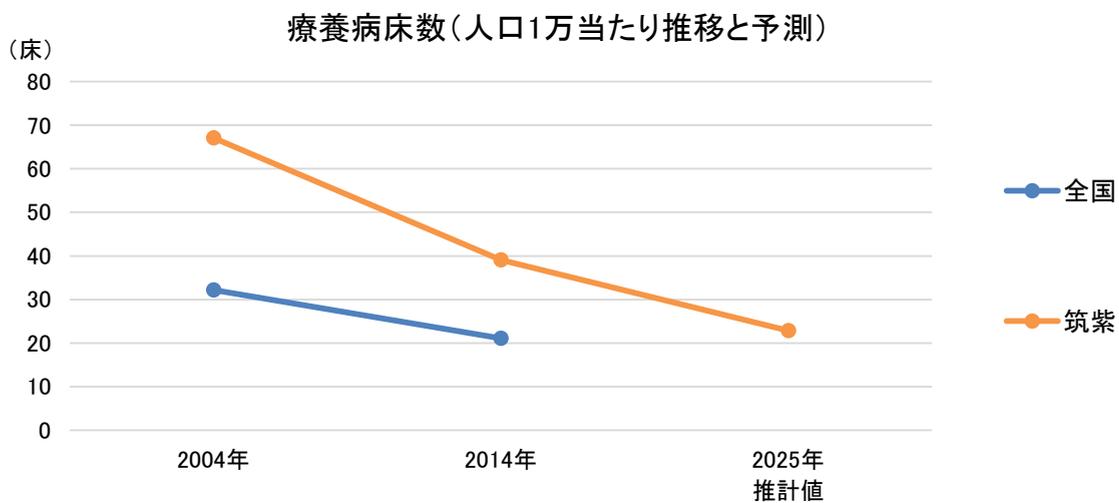
**【一般病床の推移と今後の予測】**

2004年の一般病床(病院+診療所)が2771床(人口1万人当たり67(全国平均84)偏差値44)であったが、2014年に2561床(人口1万人当たり59(全国平均78)偏差値43)と、210床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2330床(2025年の推計人口1万人当たり55)になることが予想される。



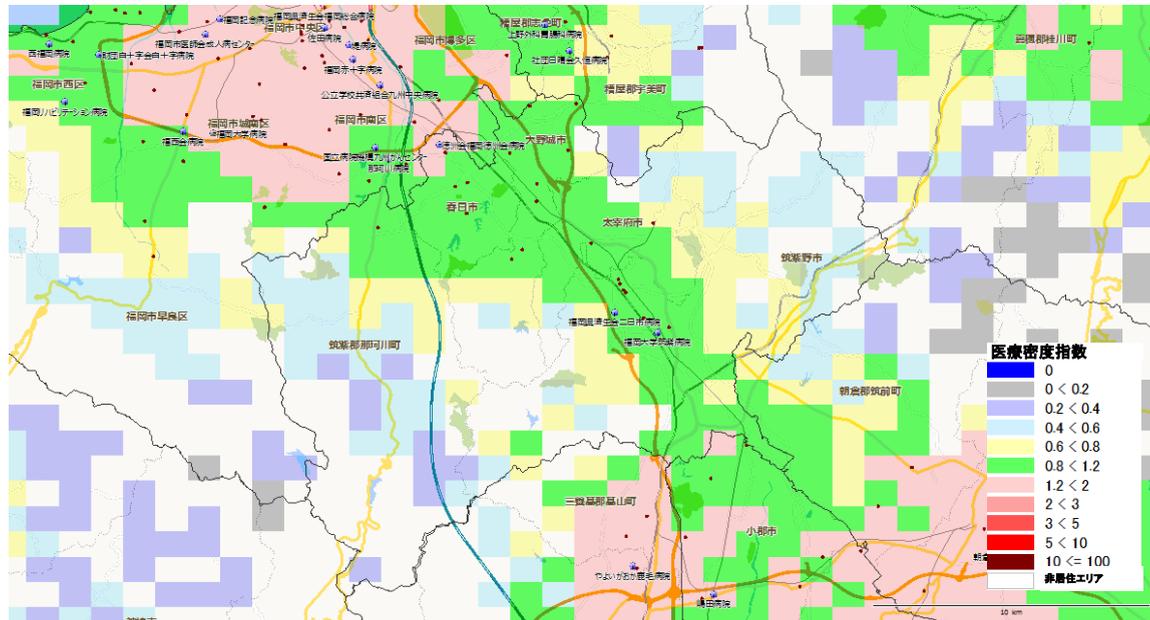
**【療養病床の推移と今後の予測】**

2004年の療養病床(病院+診療所)が1755床(75歳以上1000人当たり67(全国平均32)偏差値70)であったが、2014年に1614床(75歳以上1000人当たり39(全国平均21)偏差値65)と、141床の減少、率にして8%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1459床(2025年の推計75歳以上1000人当たり23)になることが予想される。



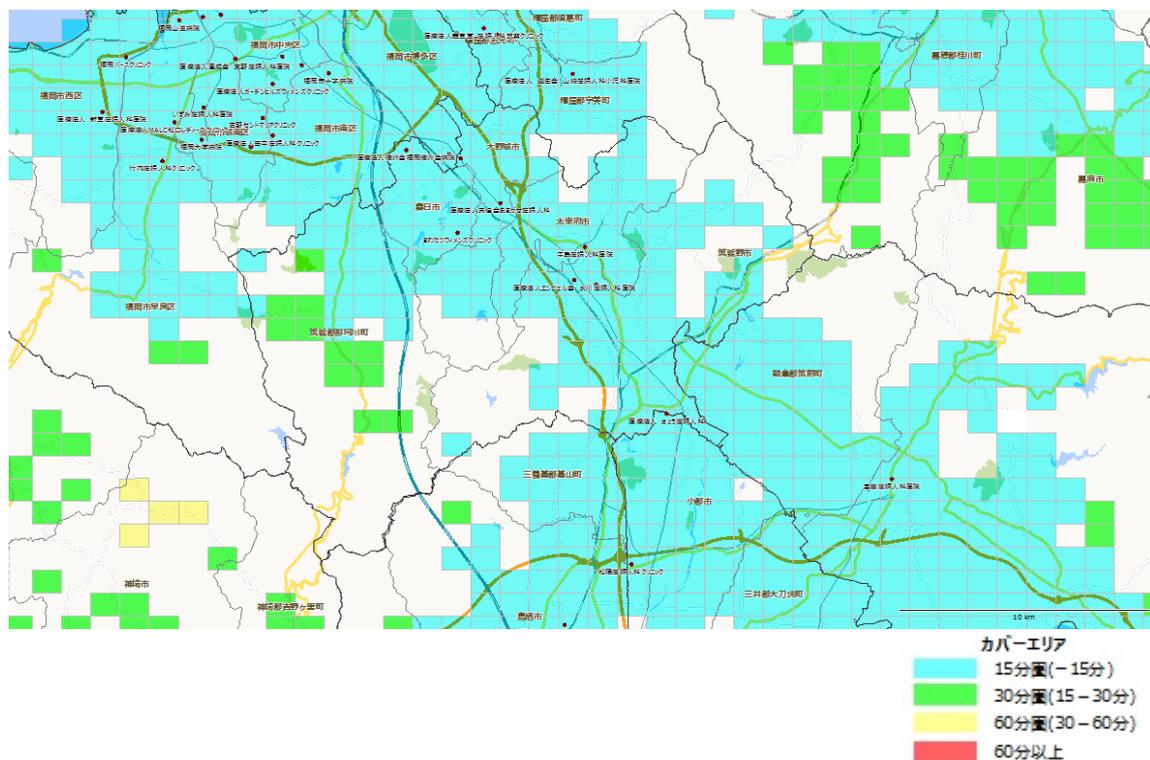
(筑紫医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表40-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

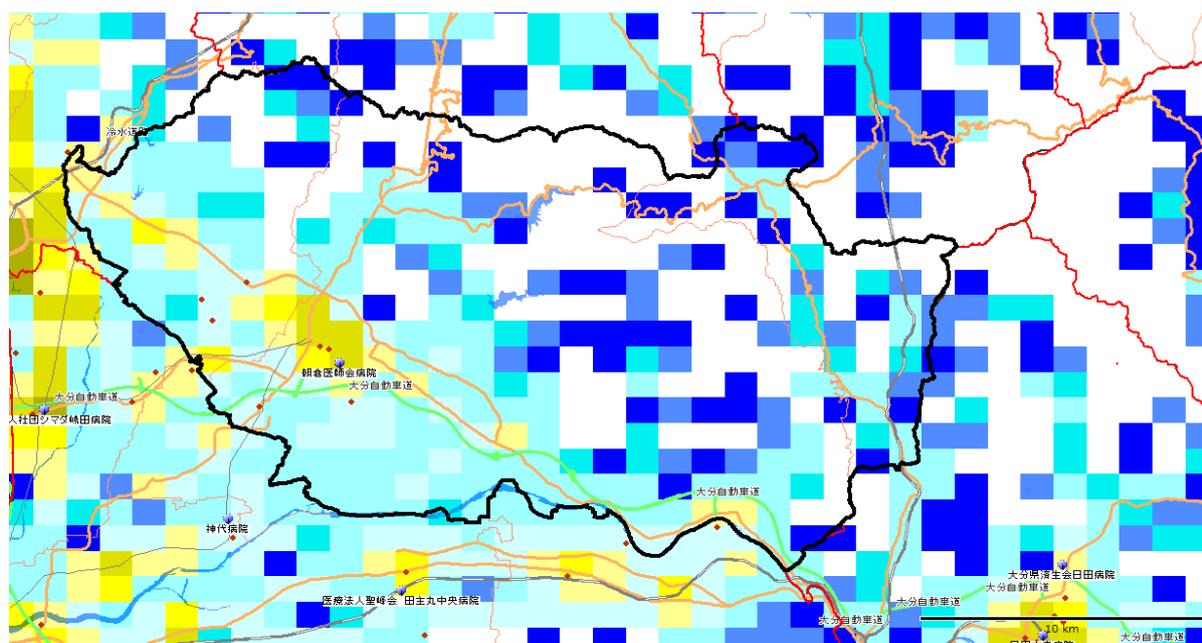
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



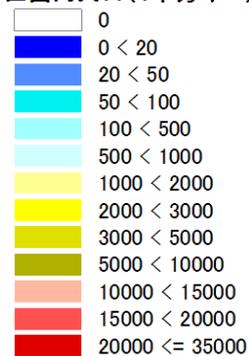
# 40-5. あさくら 朝倉医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [朝倉市](#) [筑前町](#) [東峰村](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (朝倉医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 朝倉(朝倉市)は、総人口約84千人(2015年)、面積366km<sup>2</sup>、人口密度は229人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 朝倉の総人口は2025年に77千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に64千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて16千人へと増加し(2015年比+23%)、2040年には16千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 朝倉の一人当たり医療費(国保)は386千円(偏差値60)、介護給付費は267千円(偏差値54)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 朝倉の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.94、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は2.11で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が47(病院医師数45、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は58と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。朝倉には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は63と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値64と多く、回復期病床数は偏差値60と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は53で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 朝倉の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1458人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1100床(偏差値68)、高齢者住宅等が358床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1155人(75歳以上1000人当たりの偏差値60)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設72、特別養護老人ホーム63、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム40、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム46、サ高住50である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値82と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値33と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、99人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-5%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## (朝倉医療圏) 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

朝倉医療圏の総人口は、2005年91487人が、2015年に83924人と8%減少し、2025年の人口が76947人と予測され、2005年→2025年の間に16%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

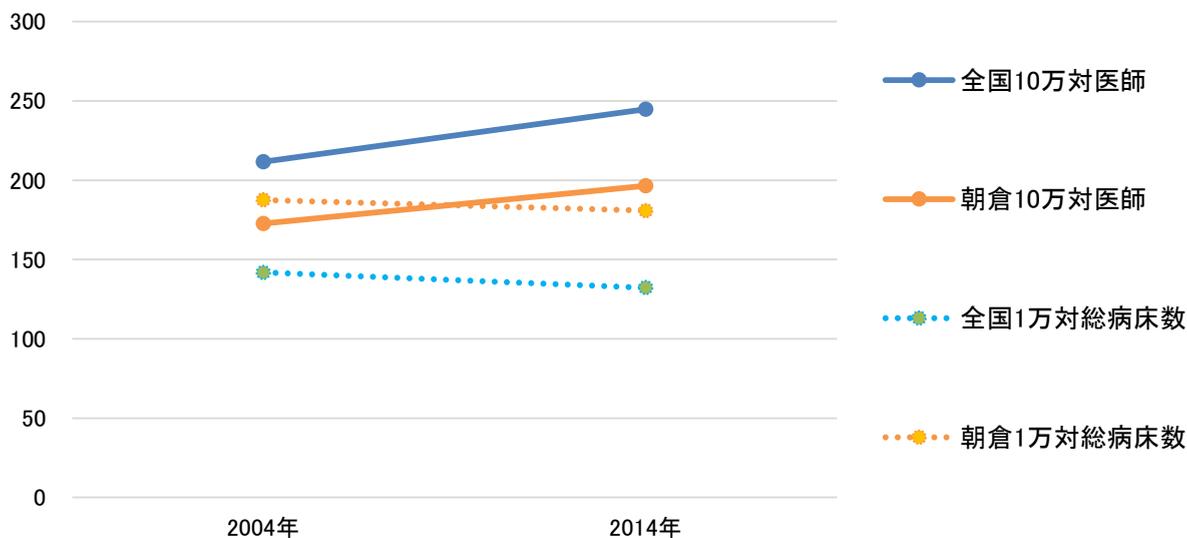
2004年の病院数が9(人口10万人当たり9.8病院(全国平均7.1)偏差値57)であったが、2014年に8(人口10万人当たり9.5病院(全国平均6.7)偏差値57)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が75(人口10万人当たり82診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2014年に73(人口10万人当たり87診療所(全国平均79)偏差値54)と、2診療所が減少した。

2004年の総病床数が1716床(人口1万人当たり188(全国平均142)偏差値58)であったが、2014年に1517床(人口1万人当たり181(全国平均132)偏差値59)と、199床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

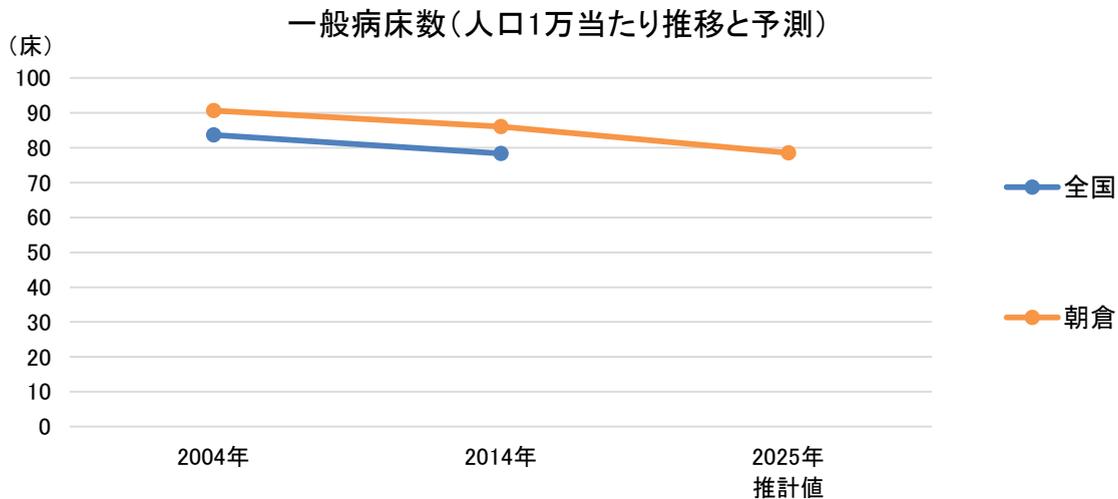
2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が158人(人口10万人当たり173人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に165人(人口10万人当たり197人(全国平均245人)偏差値45)と、7人の増加、率にして4%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



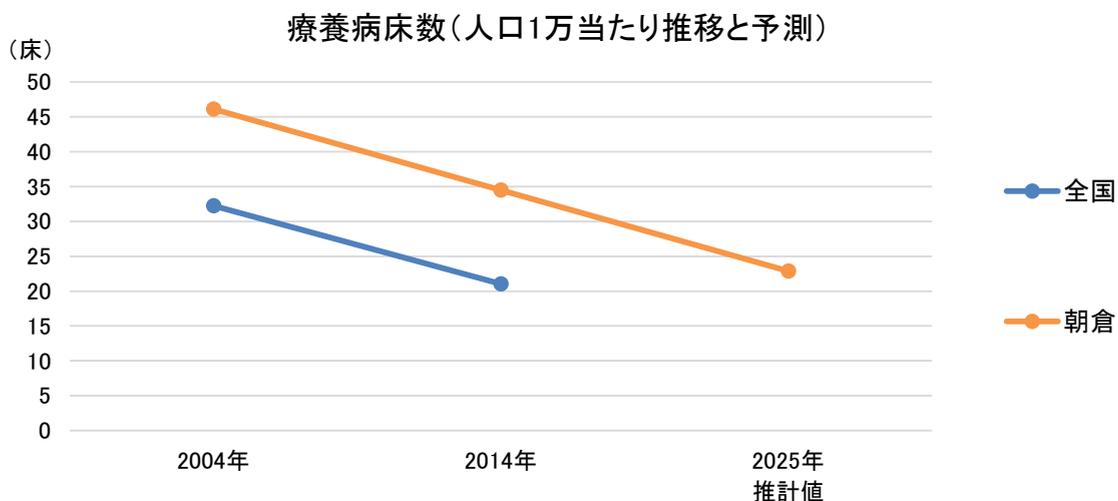
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が829床(人口1万人当たり91(全国平均84)偏差値52)であったが、2014年に722床(人口1万人当たり86(全国平均78)偏差値53)と、107床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には604床(2025年の推計人口1万人当たり78)になることが予想される。



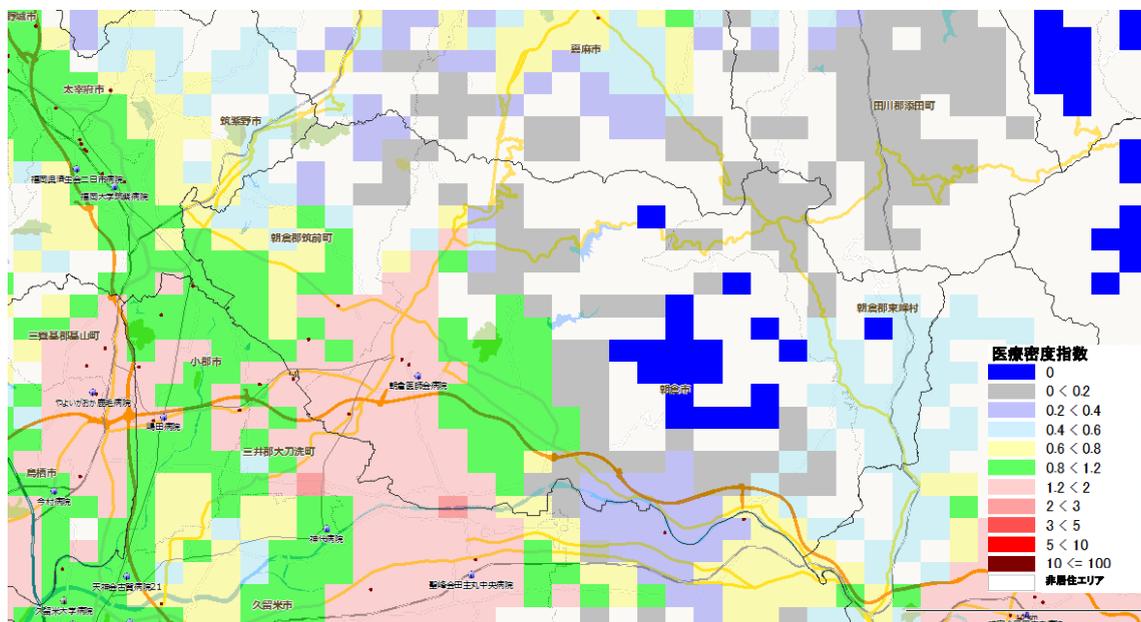
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が529床(75歳以上1000人当たり46(全国平均32)偏差値58)であったが、2014年に455床(75歳以上1000人当たり34(全国平均21)偏差値61)と、74床の減少、率にして14%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には374床(2025年の推計75歳以上1000人当たり23)になることが予想される。



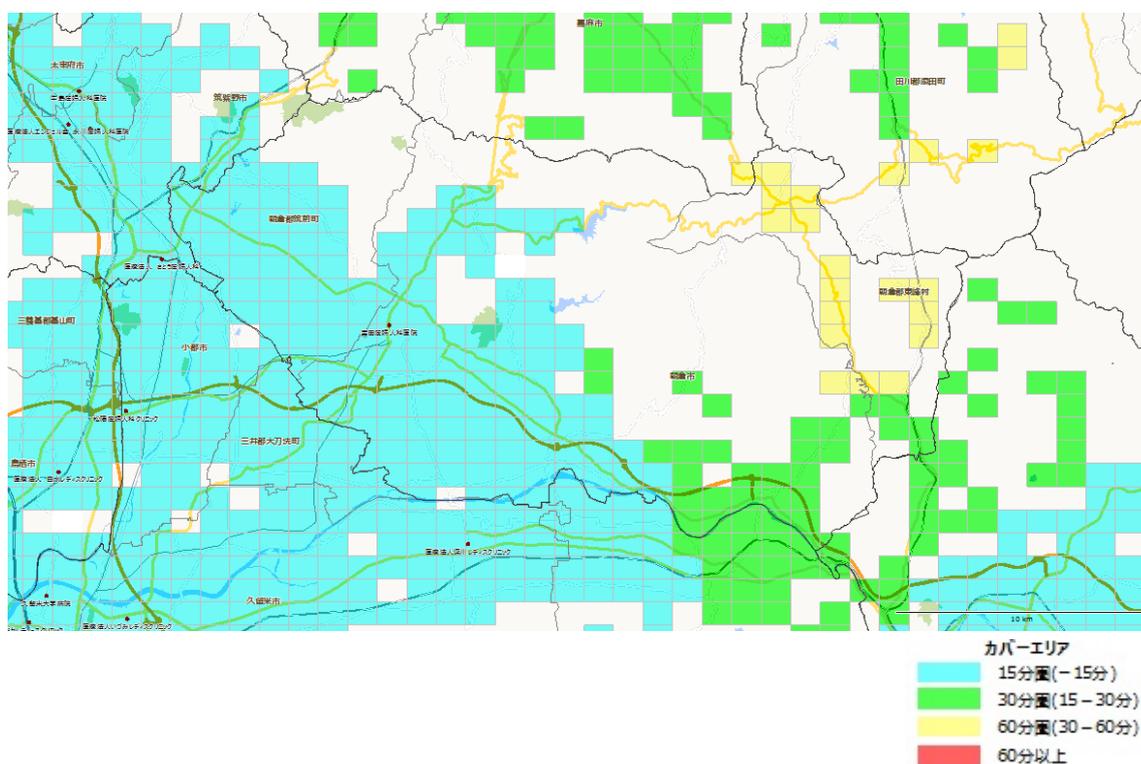
(朝倉医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表40-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-5-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

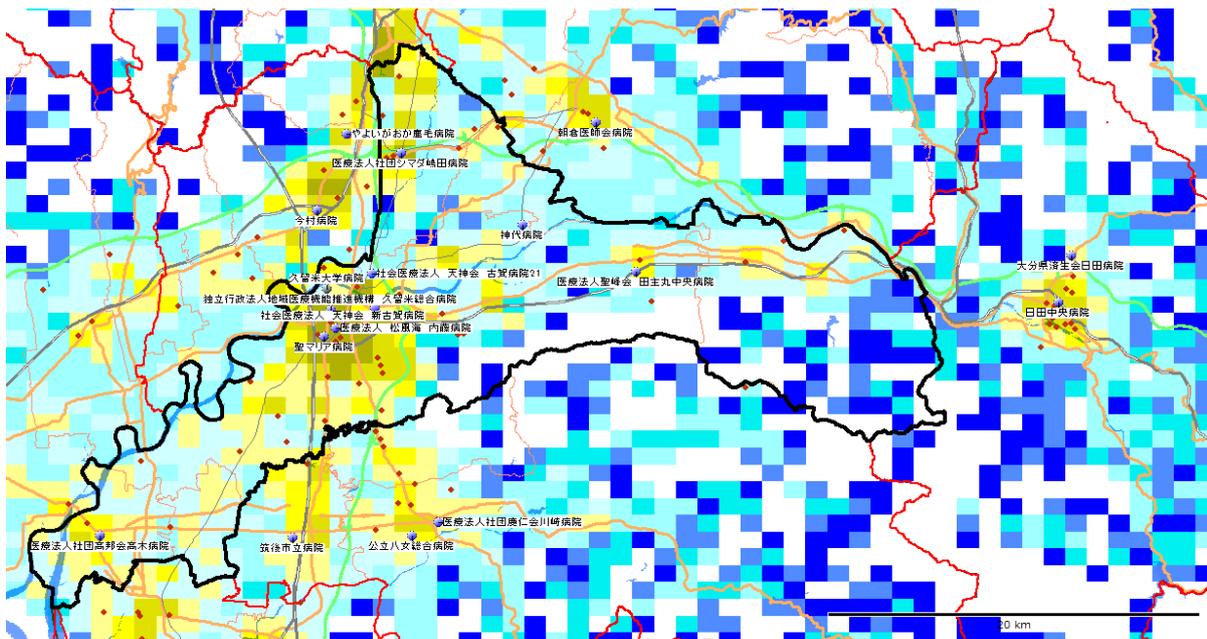
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



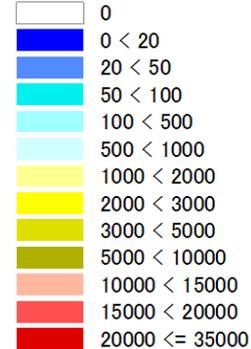
# 40-6. く る め 久留米医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> 久留米市                      大川市                      小郡市                      うきは市  
大刀洗町                      大木町

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (久留米医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 久留米(久留米市)は、総人口約456千人(2015年)、面積468km<sup>2</sup>、人口密度は975人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 久留米の総人口は2025年に425千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に371千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の59千人が、2025年にかけて78千人へと増加し(2015年比+32%)、2040年には82千人へと増加する(2025年比+5%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 久留米の一人当たり医療費(国保)は378千円(偏差値58)、介護給付費は261千円(偏差値52)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 久留米の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.18、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.69で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が71(病院医師数75、診療所医師数58)と、総医師数は非常に多く、病院医師数は非常に多く、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は71と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は64で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は67と非常に多い。久留米には、年間全身麻酔件数が2000例以上の聖マリア病院(Ⅲ群・救命)、久留米大学病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上のJCHO久留米総合病院(Ⅲ群)、新古賀病院(Ⅲ群)、500例以上の高木病院(Ⅲ群)、古賀病院21(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は63と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値74と非常に多く、回復期病床数は偏差値63と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は58で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は60で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 久留米の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5907人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が3277床(偏差値45)、高齢者住宅等が2630床(偏差値52)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5272人(75歳以上1000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム42、介護療養型医療施設58、有料老人ホーム46、軽費ホーム48、グループホーム69、サ高住45である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値75と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値62と多い。介護職員(在宅)の合計は、659人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-21%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## (久留米医療圏) 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

久留米医療圏の総人口は、2005年465712人が、2015年に456196人と2%減少し、2025年の人口が424744人と予測され、2005年→2025年の間に9%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に9%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

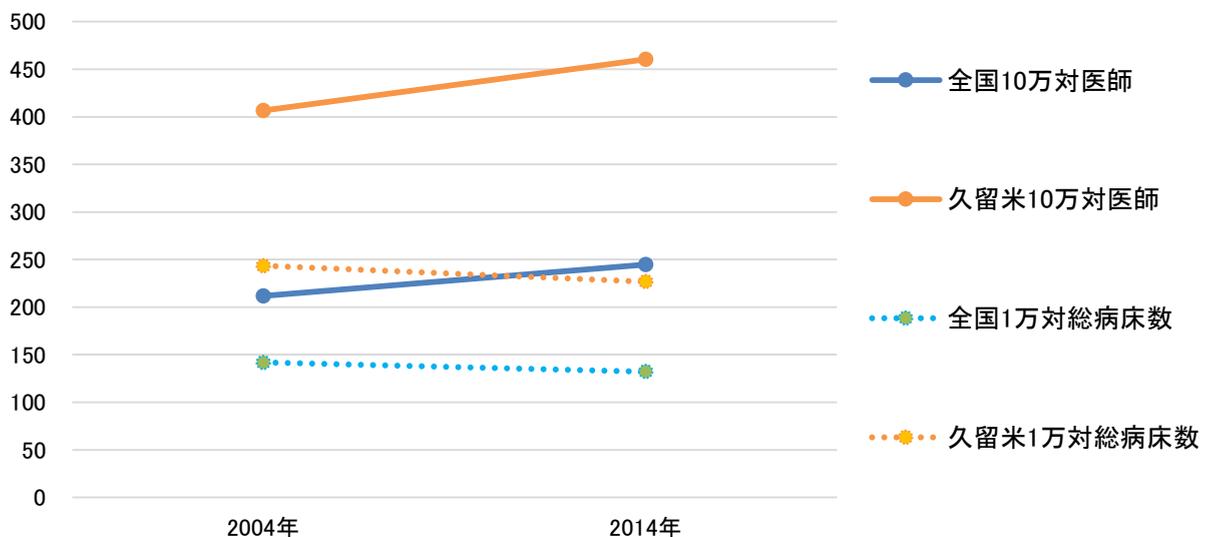
2004年の病院数が49(人口10万人当たり10.5病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2014年に49(人口10万人当たり10.7病院(全国平均6.7)偏差値60)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が433(人口10万人当たり93診療所(全国平均76)偏差値58)であったが、2014年に453(人口10万人当たり99診療所(全国平均79)偏差値61)と、20診療所が増加した。

2004年の総病床数が11336床(人口1万人当たり243(全国平均142)偏差値68)であったが、2014年に10345床(人口1万人当たり227(全国平均132)偏差値67)と、991床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

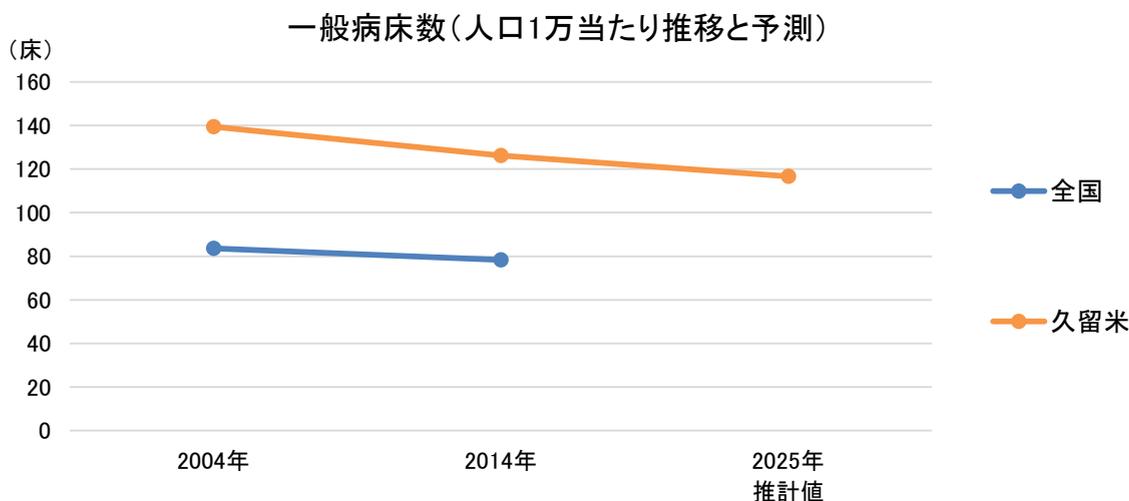
2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が1894人(人口10万人当たり407人(全国平均212人)偏差値73)であったが、2014年に2101人(人口10万人当たり461人(全国平均245人)偏差値73)と、207人の増加、率にして11%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



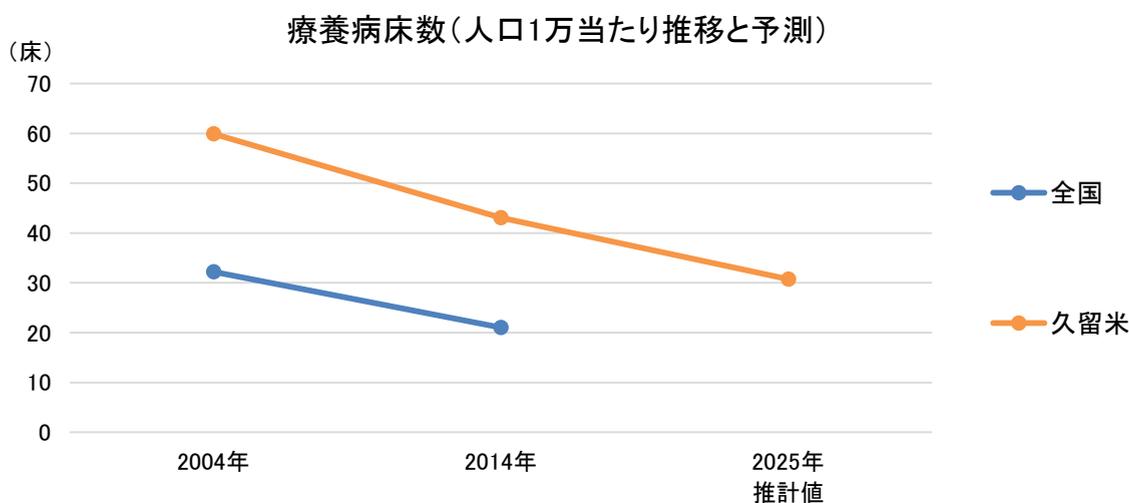
**【一般病床の推移と今後の予測】**

2004年の一般病床(病院+診療所)が6492床(人口1万人当たり139(全国平均84)偏差値70)であったが、2014年に5761床(人口1万人当たり126(全国平均78)偏差値68)と、731床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4957床(2025年の推計人口1万人当たり117)になることが予想される。



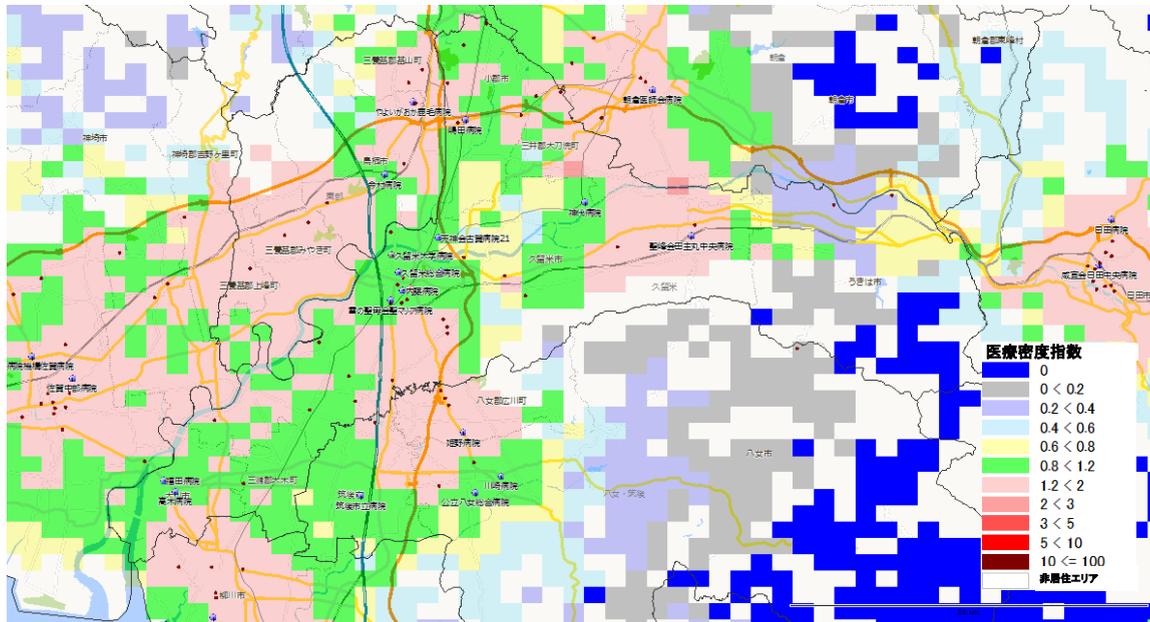
**【療養病床の推移と今後の予測】**

2004年の療養病床(病院+診療所)が2644床(75歳以上1000人当たり60(全国平均32)偏差値66)であったが、2014年に2529床(75歳以上1000人当たり43(全国平均21)偏差値69)と、115床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2403床(2025年の推計75歳以上1000人当たり31)になることが予想される。



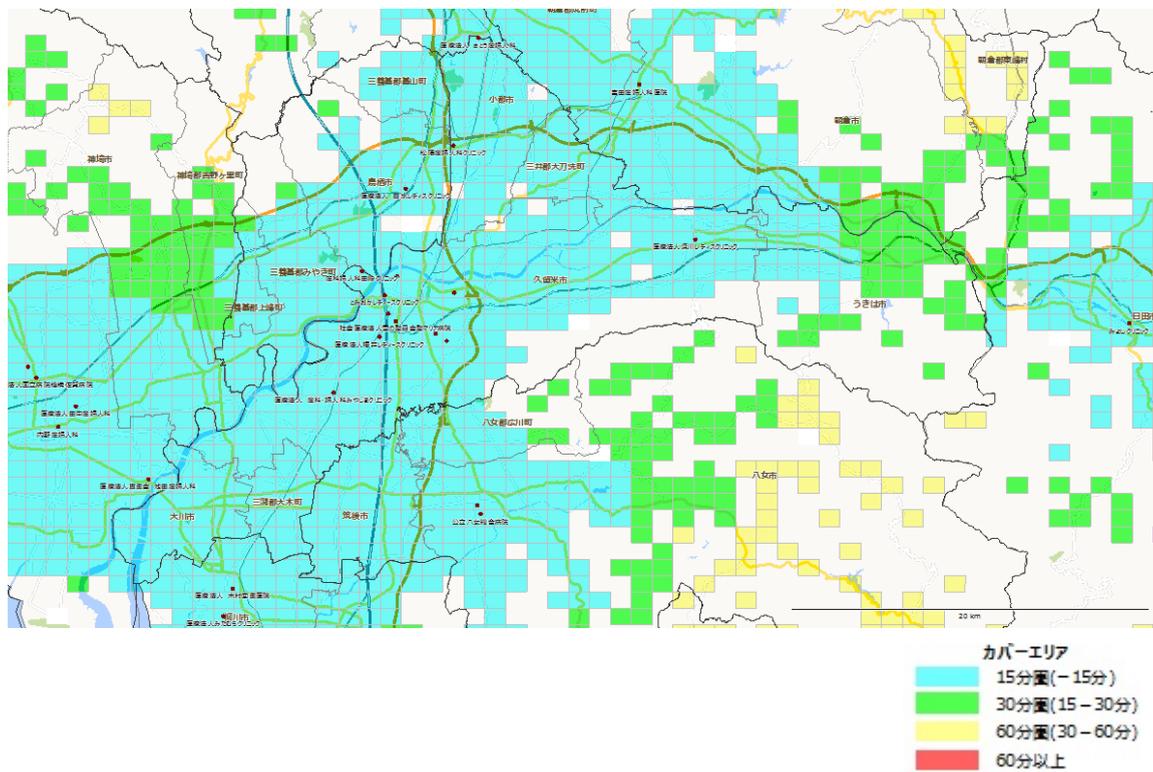
(久留米医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表40-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

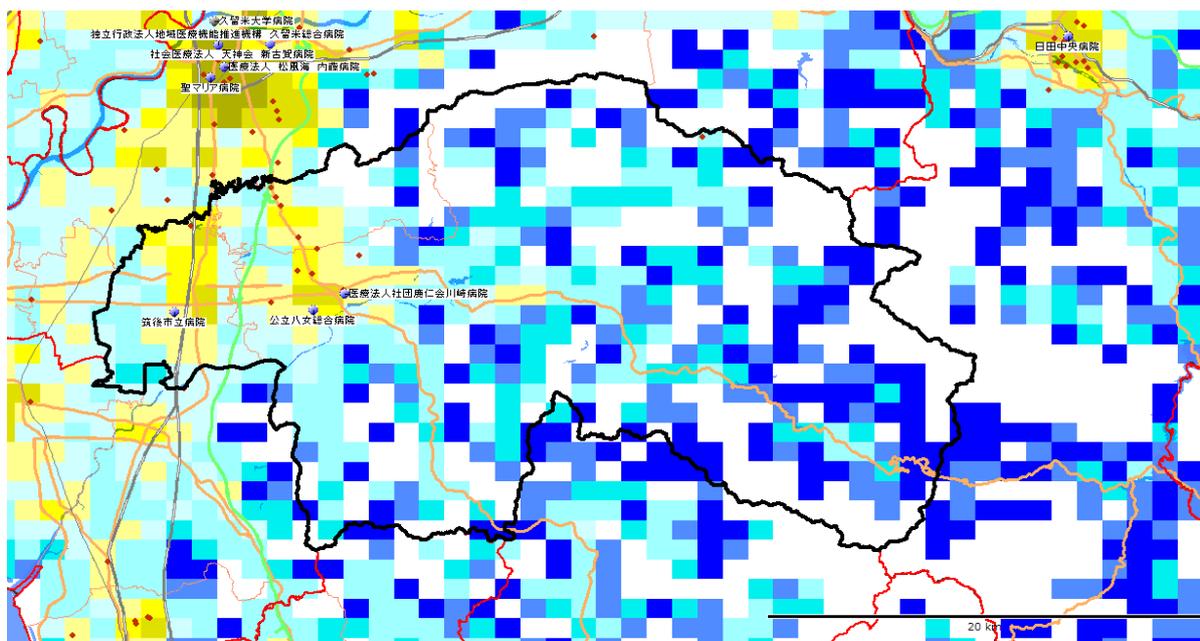
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



# 40-7. やめちくご 八女・筑後医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [八女市](#) [筑後市](#) [広川町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (八女・筑後医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 八女・筑後(八女市)は、総人口約133千人(2015年)、面積562km<sup>2</sup>、人口密度は236人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 八女・筑後の総人口は2025年に124千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に107千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の21千人が、2025年にかけて25千人へと増加し(2015年比+19%)、2040年には25千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 八女・筑後の一人当たり医療費(国保)は382千円(偏差値59)、介護給付費は264千円(偏差値53)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 八女・筑後の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.05、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は2.19で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が49(病院医師数47、診療所医師数53)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は65と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は61と多い。八女・筑後には、年間全身麻酔件数が500例以上の筑後市立病院(Ⅲ群)、川崎病院(Ⅲ群)、公立八女総合病院(Ⅲ群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は67と療養病床数は非常に多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値73と非常に多く、回復期病床数は偏差値60と多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は56で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 八女・筑後の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2309人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1579床(偏差値61)、高齢者住宅等が730床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1980人(75歳以上1000人当たりの偏差値65)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設65、特別養護老人ホーム59、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム43、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム60、サ高住44である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値73と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値53とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、228人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

**\*介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+6%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## (八女・筑後医療圏) 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

八女・筑後医療圏の総人口は、2005年141354人が、2015年に132930人と6%減少し、2025年の人口が123597人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

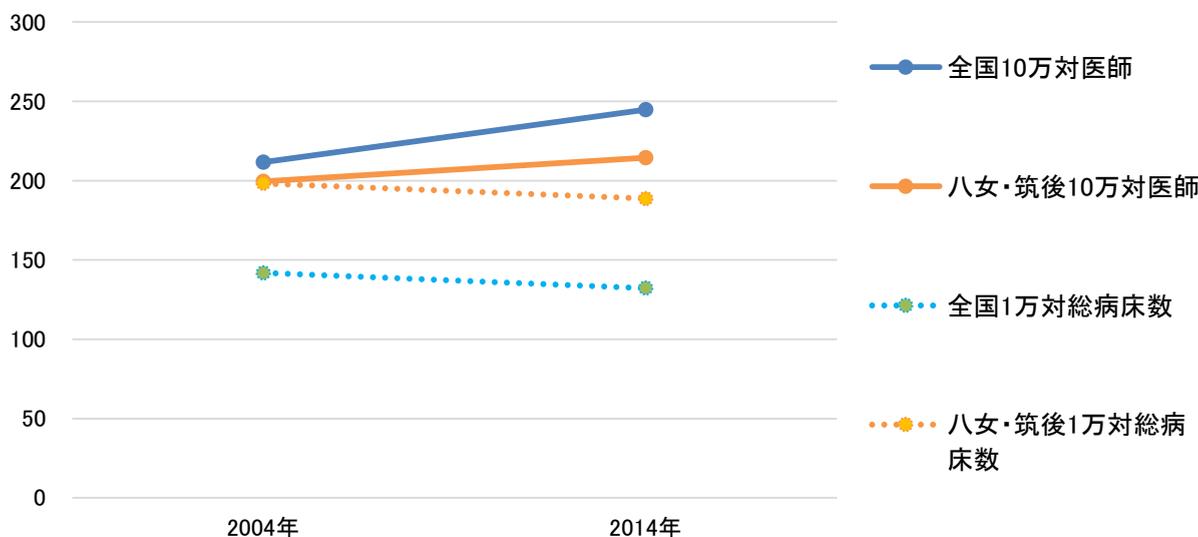
2004年の病院数が14(人口10万人当たり9.9病院(全国平均7.1)偏差値57)であったが、2014年に14(人口10万人当たり10.5病院(全国平均6.7)偏差値59)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が120(人口10万人当たり85診療所(全国平均76)偏差値54)であったが、2014年に117(人口10万人当たり88診療所(全国平均79)偏差値55)と、3診療所が減少した。

2004年の総病床数が2803床(人口1万人当たり198(全国平均142)偏差値60)であったが、2014年に2508床(人口1万人当たり189(全国平均132)偏差値60)と、295床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

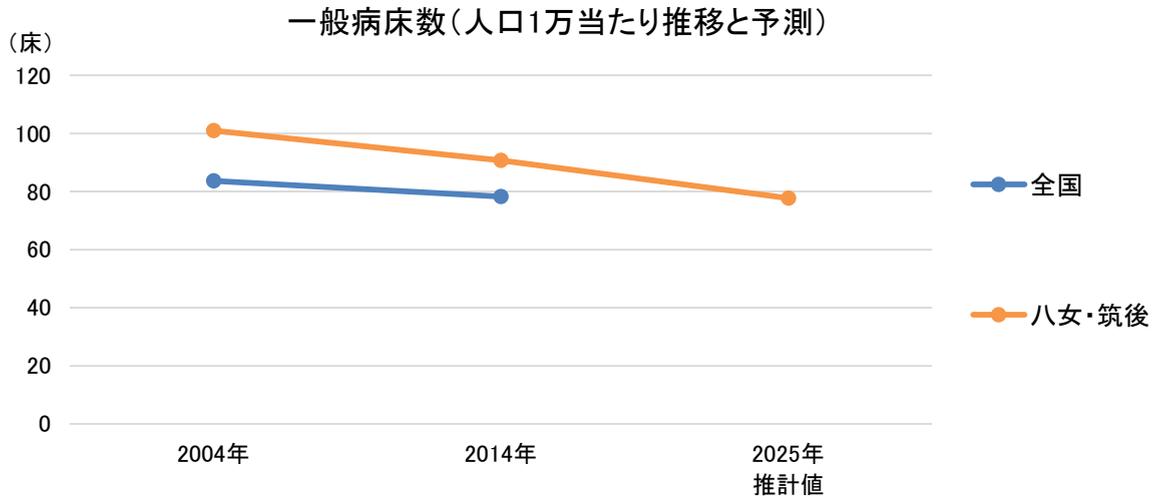
2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が282人(人口10万人当たり199人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2014年に285人(人口10万人当たり214人(全国平均245人)偏差値47)と、3人の増加、率にして1%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



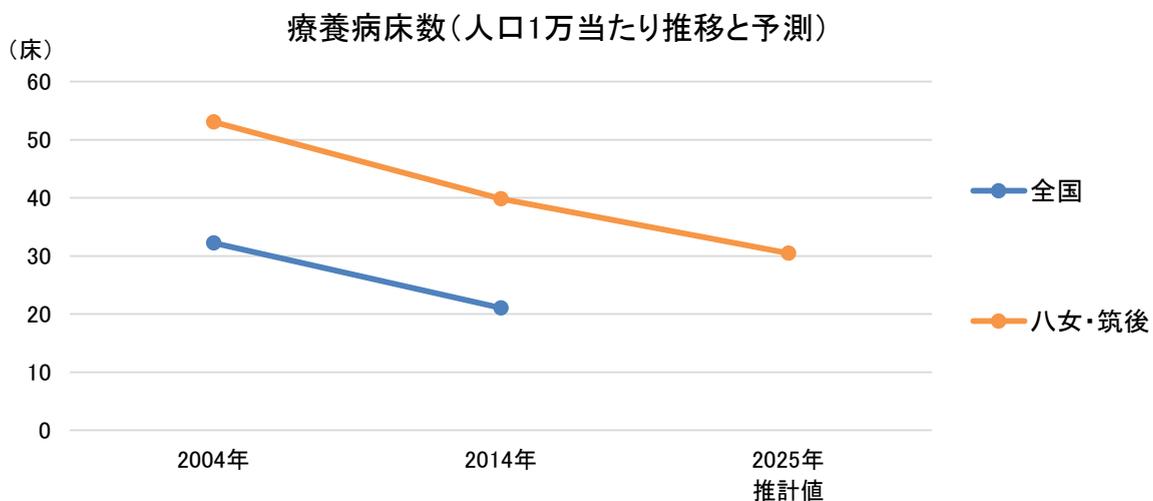
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1427床(人口1万人当たり101(全国平均84)偏差値56)であったが、2014年に1205床(人口1万人当たり91(全国平均78)偏差値55)と、222床の減少、率にして16%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には961床(2025年の推計人口1万人当たり78)になることが予想される。



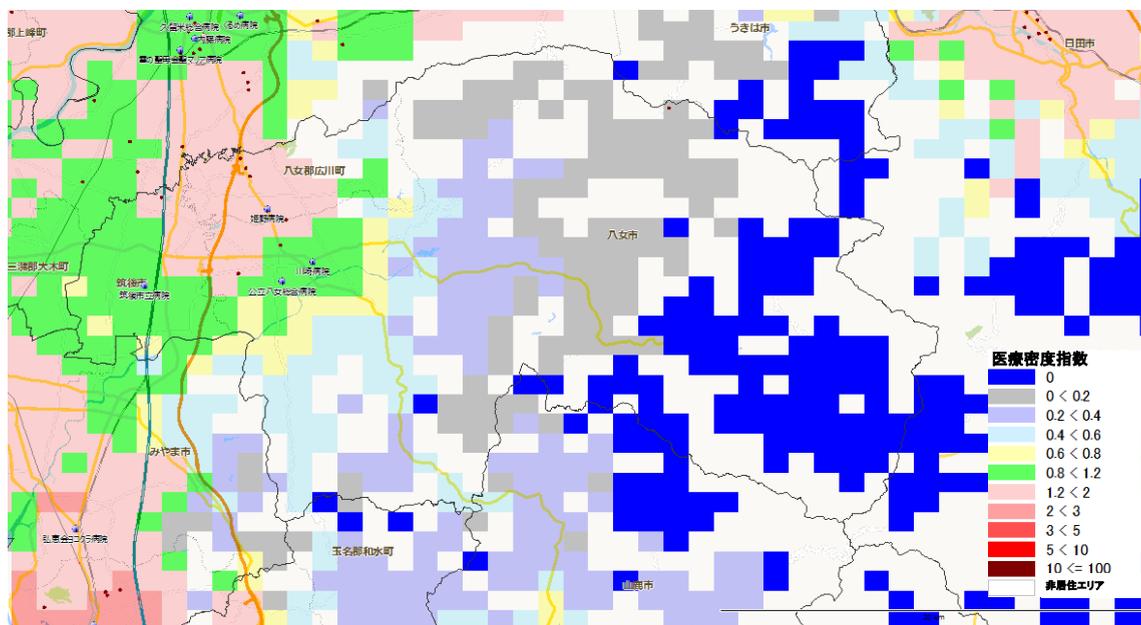
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が912床(75歳以上1000人当たり53(全国平均32)偏差値62)であったが、2014年に837床(75歳以上1000人当たり40(全国平均21)偏差値66)と、75床の減少、率にして8%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には755床(2025年の推計75歳以上1000人当たり30)になることが予想される。



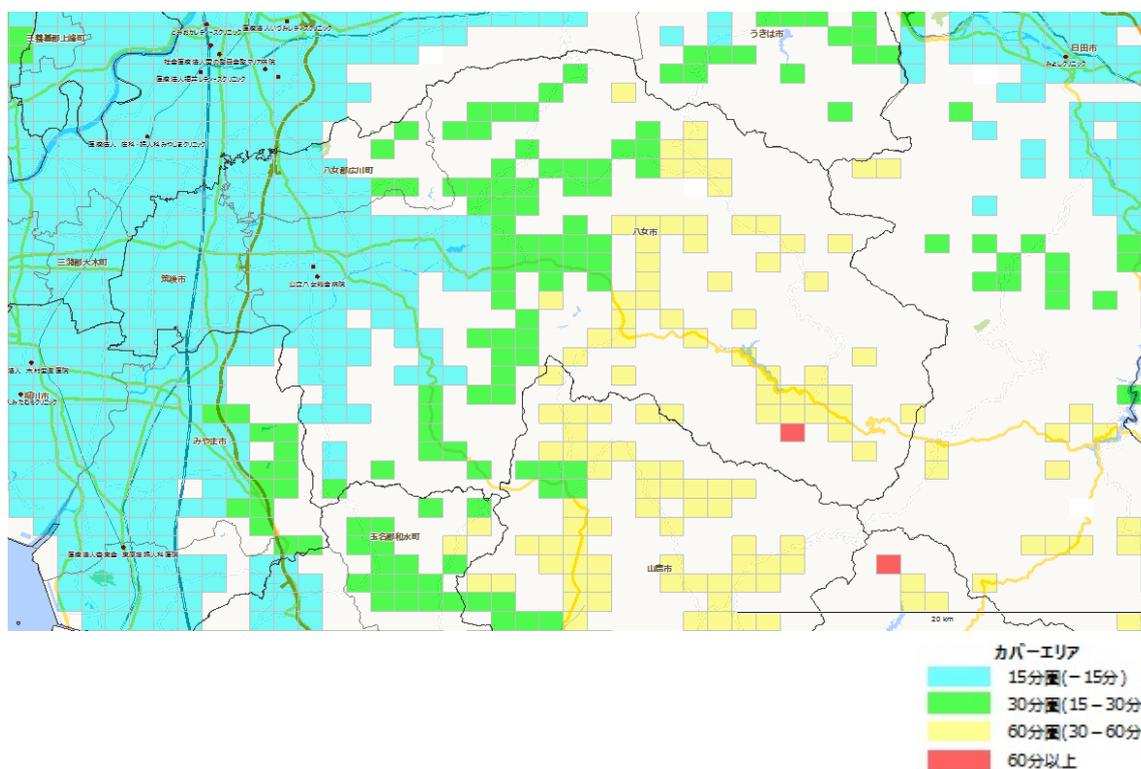
(八女・筑後医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表40-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-7-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

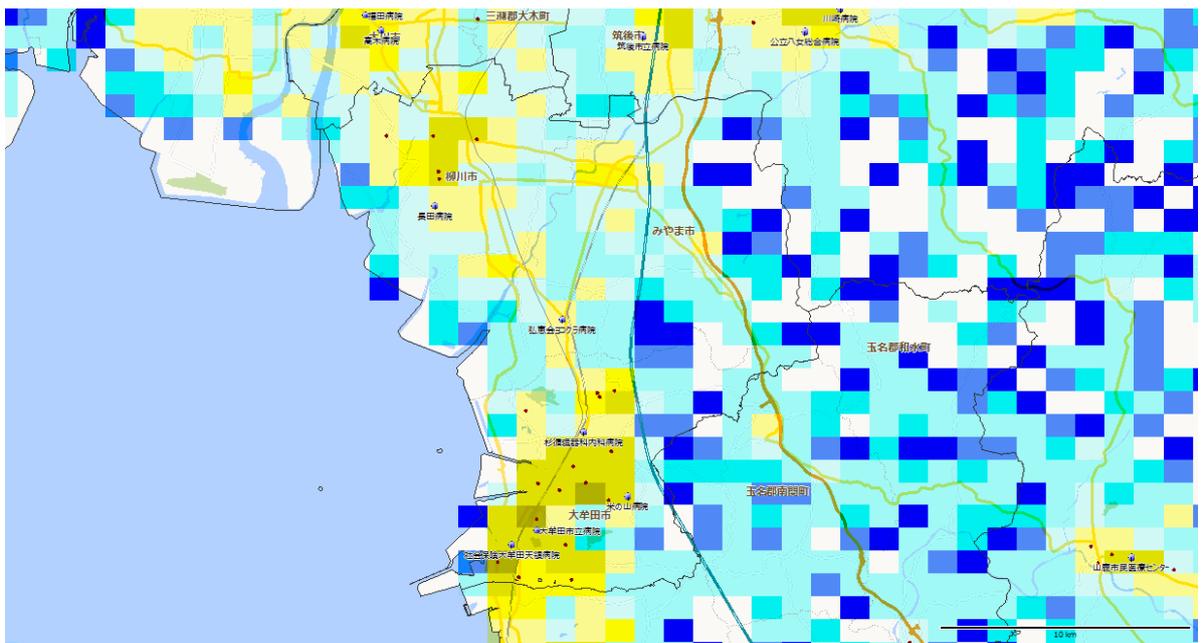
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



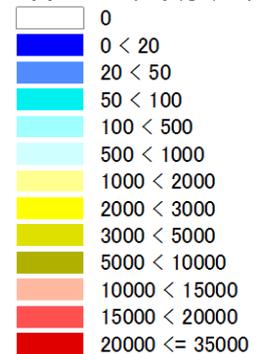
# 40-8. ありあけ 有明医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [大牟田市](#)      [柳川市](#)      [みやま市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



一般病院



## (有明医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 有明(大牟田市)は、総人口約223千人(2015年)、面積264km<sup>2</sup>、人口密度は846人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 有明の総人口は2025年に195千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に155千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の40千人が、2025年にかけて45千人へと増加し(2015年比+13%)、2040年には41千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 有明の一人当たり医療費(国保)は420千円(偏差値67)、介護給付費は281千円(偏差値58)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 有明の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.52、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.2で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が54(病院医師数53、診療所医師数57)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は77と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は75で、一般病床数は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。有明には、年間全身麻酔件数が1000例以上の大牟田市立病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は65と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値81と非常に多く、回復期病床数は偏差値66と非常に多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は73で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は60で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 有明の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4116人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が2861床(偏差値59)、高齢者住宅等が1255床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3534人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設61、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設60、有料老人ホーム44、軽費ホーム46、グループホーム51、サ高住44である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値61と多く、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、498人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+2%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## (有明医療圏) 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

有明医療圏の総人口は、2005年249001人が、2015年に223276人と10%減少し、2025年の人口が195314人と予測され、2005年→2025年の間に22%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

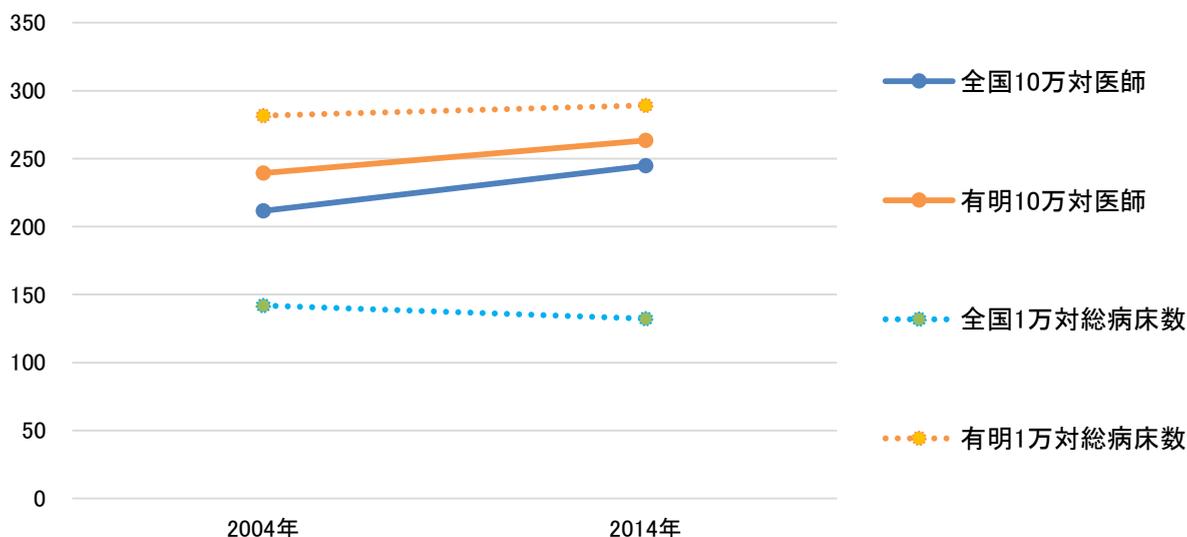
2004年の病院数が34(人口10万人当たり13.7病院(全国平均7.1)偏差値67)であったが、2014年に33(人口10万人当たり14.8病院(全国平均6.7)偏差値70)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が244(人口10万人当たり98診療所(全国平均76)偏差値61)であったが、2014年に221(人口10万人当たり99診療所(全国平均79)偏差値61)と、23診療所が減少した。

2004年の総病床数が7012床(人口1万人当たり282(全国平均142)偏差値75)であったが、2014年に6455床(人口1万人当たり289(全国平均132)偏差値78)と、557床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

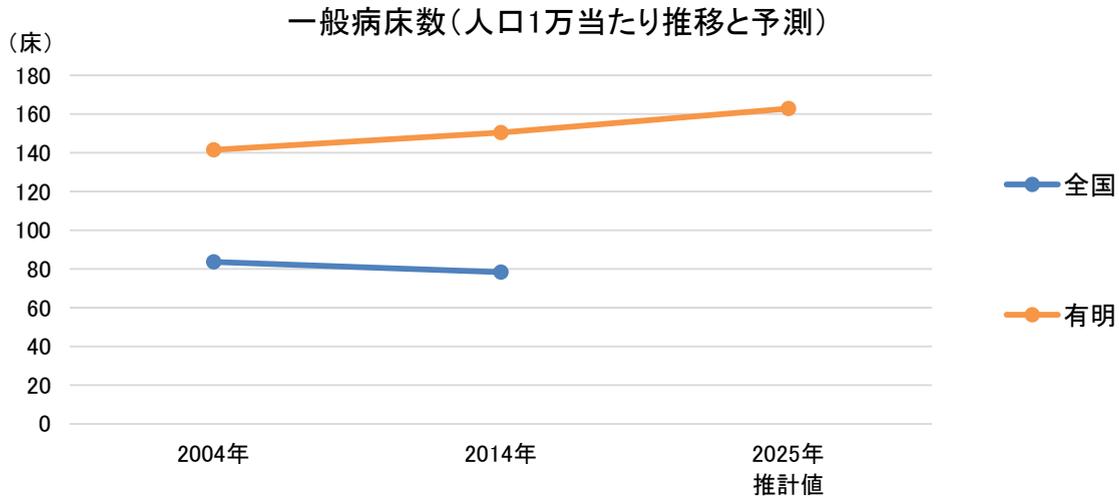
2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が596人(人口10万人当たり239人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2014年に588人(人口10万人当たり263人(全国平均245人)偏差値52)と、8人の減少、率にして1%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



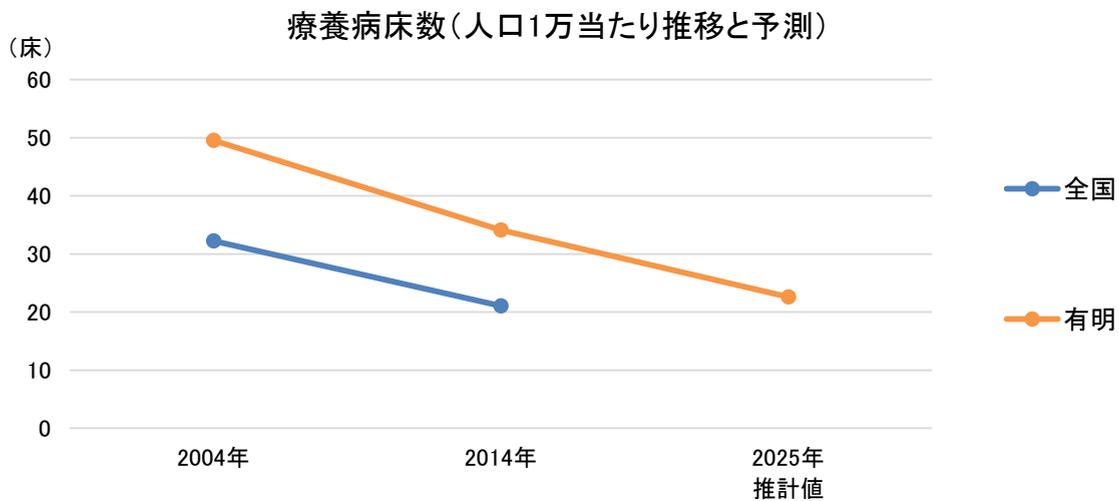
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3523床(人口1万人当たり141(全国平均84)偏差値70)であったが、2014年に3360床(人口1万人当たり150(全国平均78)偏差値77)と、163床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3181床(2025年の推計人口1万人当たり163)になることが予想される。



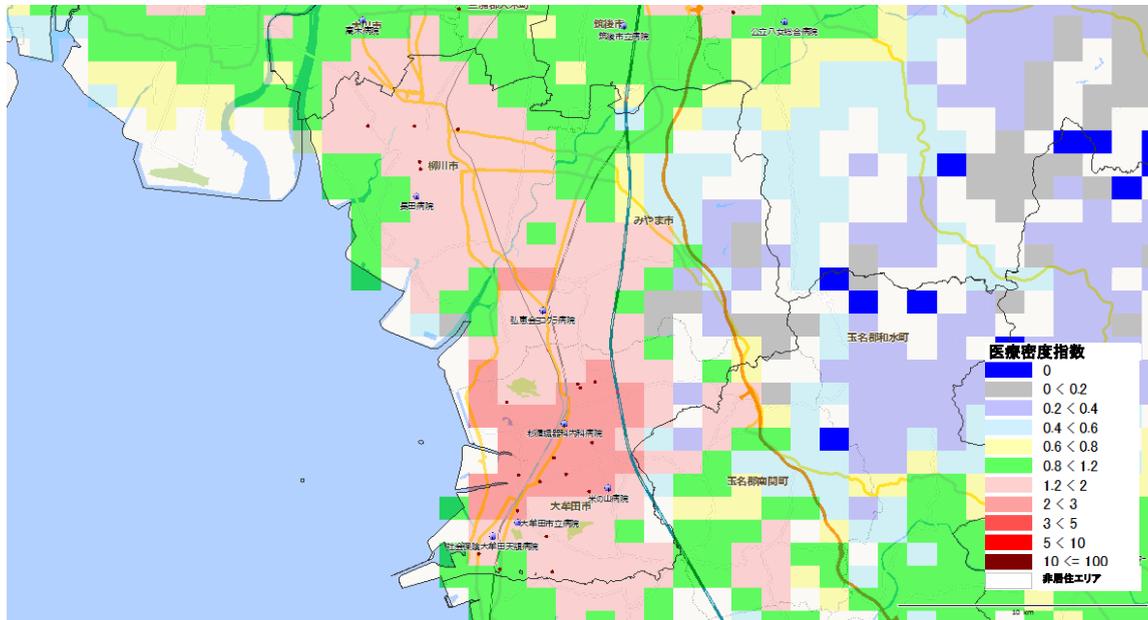
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1667床(75歳以上1000人当たり50(全国平均32)偏差値60)であったが、2014年に1353床(75歳以上1000人当たり34(全国平均21)偏差値61)と、314床の減少、率にして19%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1008床(2025年の推計75歳以上1000人当たり23)になることが予想される。



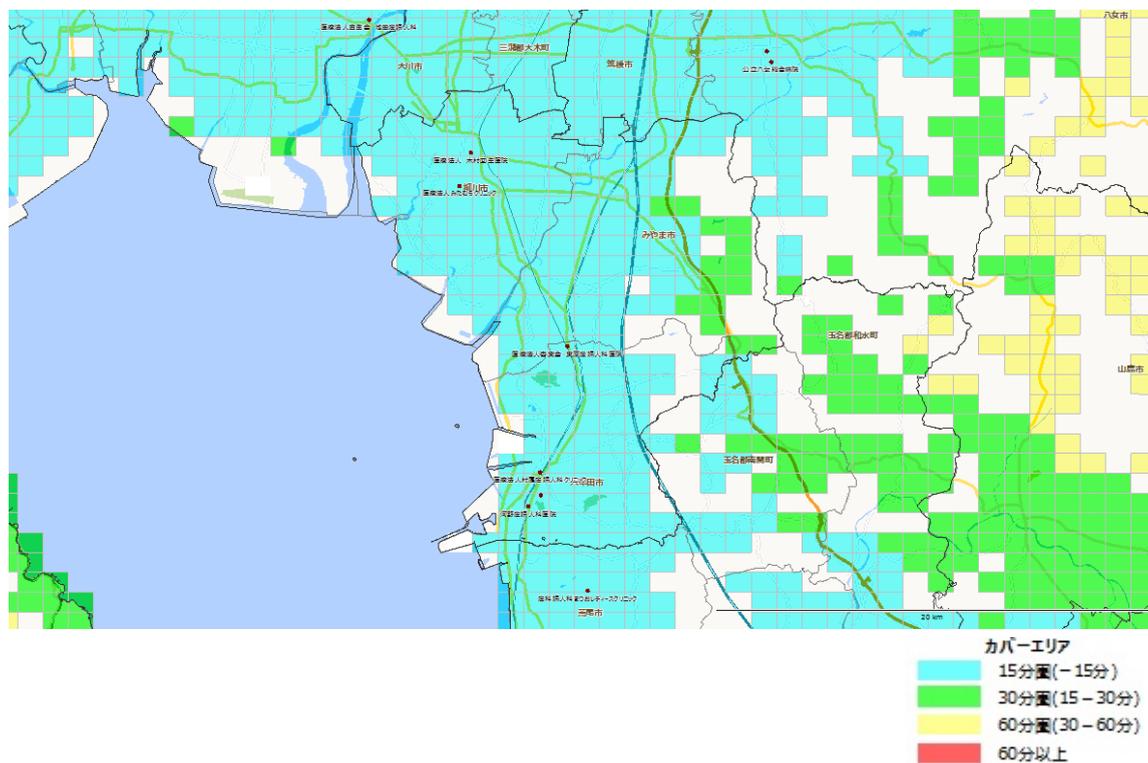
(有明医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表40-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-8-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

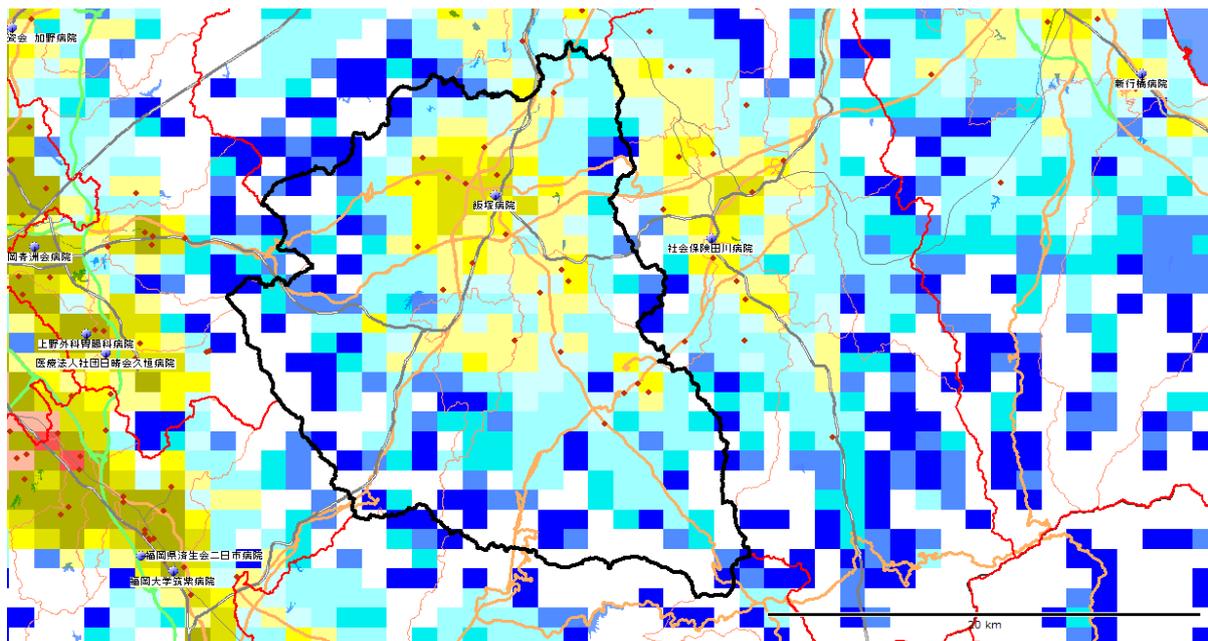
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



# 40-9. い い づ か 飯塚医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [飯塚市](#)      [嘉麻市](#)      [桂川町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



## (飯塚医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

- \*人口、面積など： 飯塚(飯塚市)は、総人口約181千人(2015年)、面積369km<sup>2</sup>、人口密度は491人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。
- \*人口の将来予測： 飯塚の総人口は2025年に166千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に141千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の28千人が、2025年にかけて34千人へと増加し(2015年比+21%)、2040年には32千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。
- \*医療費と介護給付費： 飯塚の一人当たり医療費(国保)は385千円(偏差値59)、介護給付費は307千円(偏差値65)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

- \*入院医療の充実度： 飯塚の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.06、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.62で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。
- \*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が61(病院医師数66、診療所医師数50)と、総医師数は多く、病院医師数は非常に多く、診療所医師数は全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は76と非常に多い。
- \*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は77で、一般病床数は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。飯塚には、年間全身麻酔件数が2000例以上の飯塚病院(Ⅱ群・救命)、500例以上の飯塚市立病院(Ⅲ群)がある。
- \*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。
- \*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値75と非常に多く、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。
- \*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。
- \*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は56で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

- \*介護施設の現状： 飯塚の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3569人(75歳以上1000人当たりの偏差値65)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2209床(偏差値65)、高齢者住宅等が1360床(偏差値54)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2287人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設61、特別養護老人ホーム62、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム49、軽費ホーム57、グループホーム56、サ高住54である。

- \*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値48と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値61と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値66と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、582人(75歳以上1000人当たりの偏差値63)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。
- \*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+11%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

## (飯塚医療圏) 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

飯塚医療圏の総人口は、2005年193821人が、2015年に181385人と6%減少し、2025年の人口が166186人と予測され、2005年→2025年の間に14%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

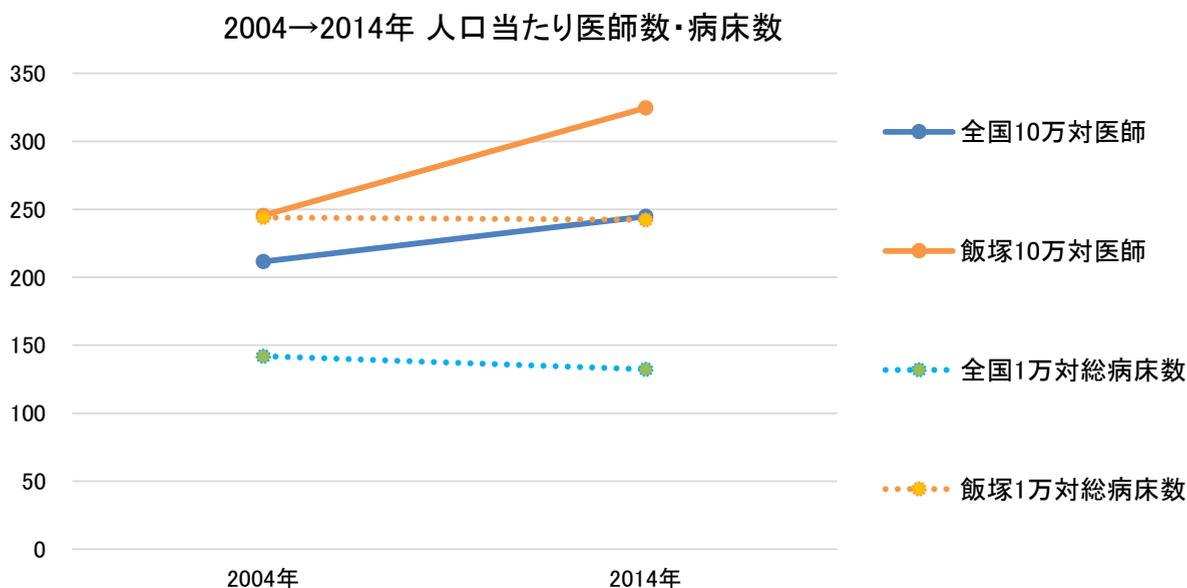
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が24(人口10万人当たり12.4病院(全国平均7.1)偏差値64)であったが、2014年に22(人口10万人当たり12.1病院(全国平均6.7)偏差値63)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が167(人口10万人当たり86診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2014年に170(人口10万人当たり94診療所(全国平均79)偏差値58)と、3診療所が増加した。

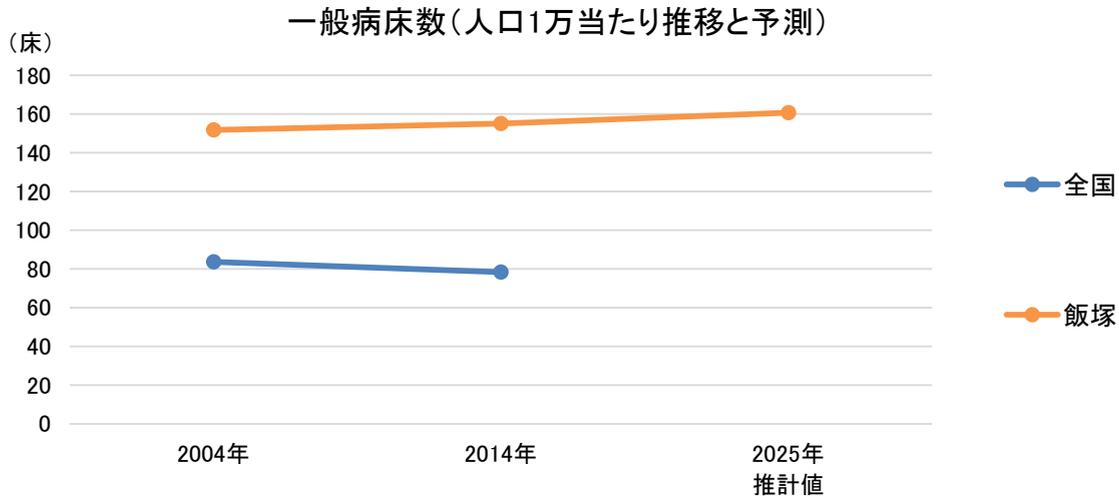
2004年の総病床数が4731床(人口1万人当たり244(全国平均142)偏差値68)であったが、2014年に4395床(人口1万人当たり242(全国平均132)偏差値69)と、336床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が476人(人口10万人当たり246人(全国平均212人)偏差値54)であったが、2014年に589人(人口10万人当たり325人(全国平均245人)偏差値59)と、113人の増加、率にして24%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



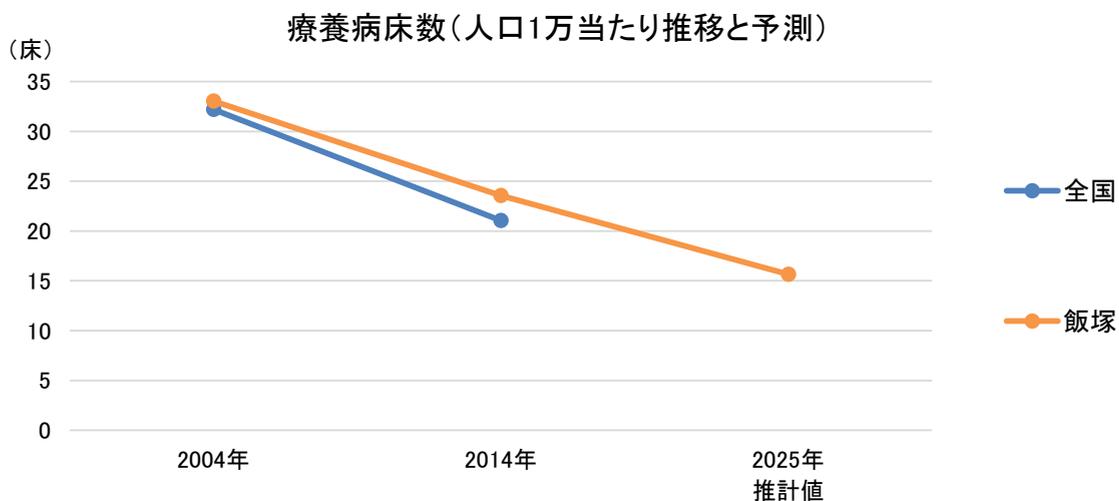
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2941床(人口1万人当たり152(全国平均84)偏差値74)であったが、2014年に2812床(人口1万人当たり155(全国平均78)偏差値78)と、129床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2670床(2025年の推計人口1万人当たり161)になることが予想される。



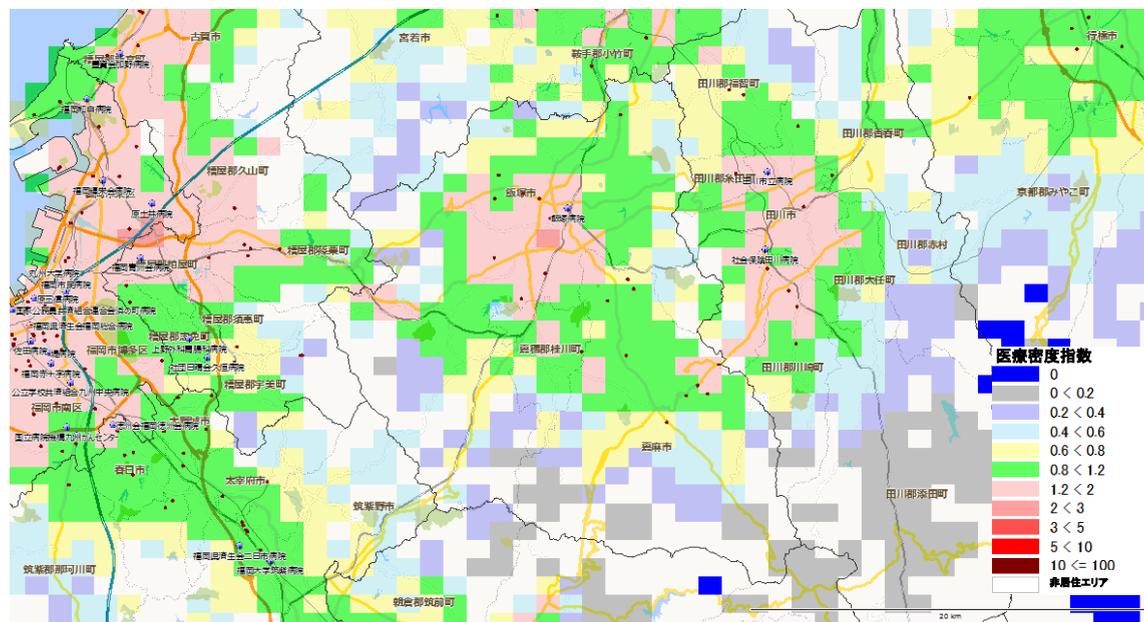
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が770床(75歳以上1000人当たり33(全国平均32)偏差値50)であったが、2014年に654床(75歳以上1000人当たり24(全国平均21)偏差値52)と、116床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には526床(2025年の推計75歳以上1000人当たり16)になることが予想される。



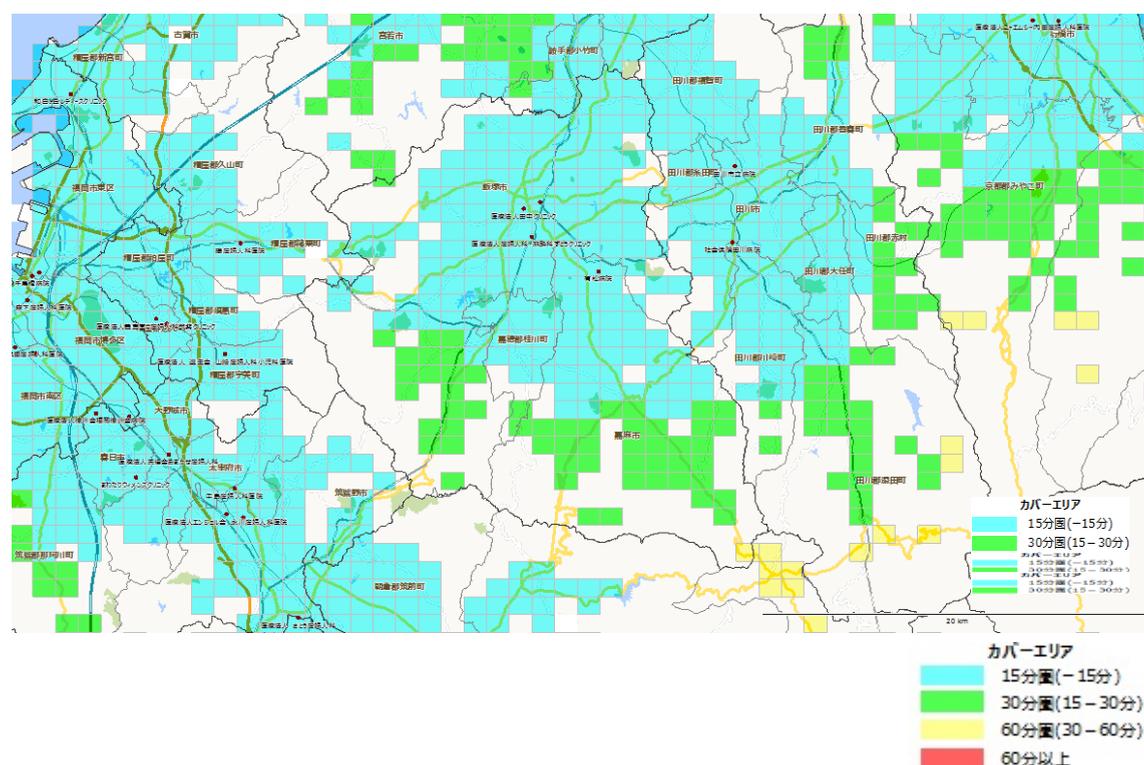
(飯塚医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表40-9-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-9-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

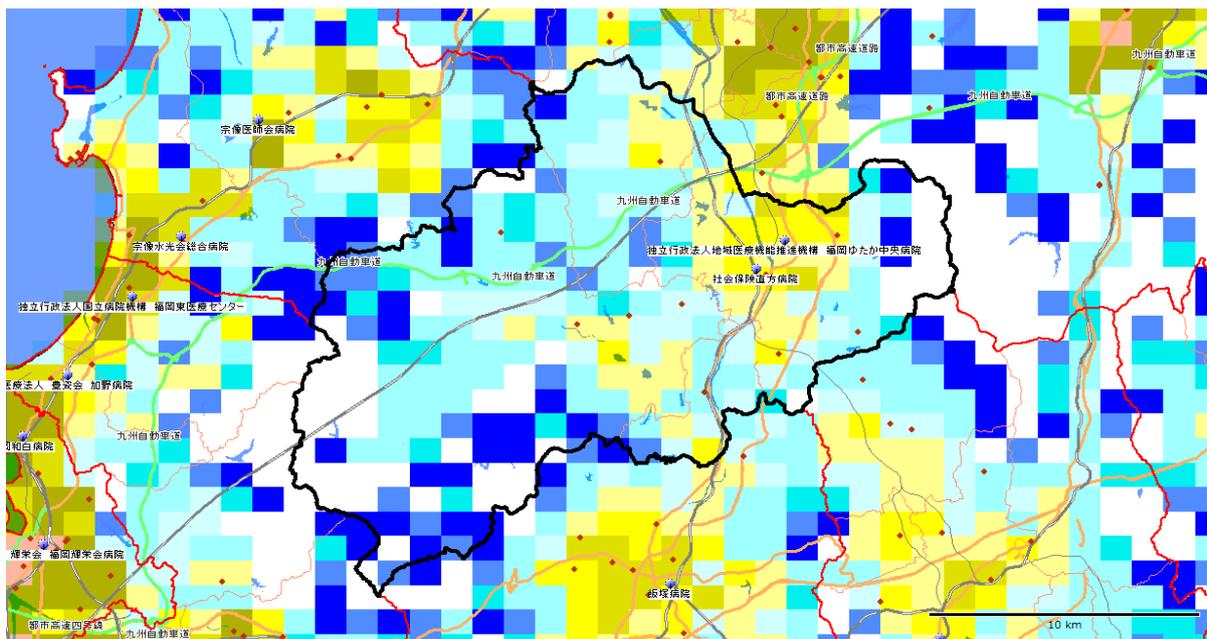
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



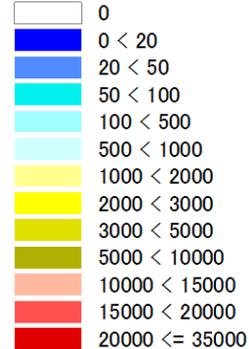
# 40-10. のおがた くらて 直方・鞍手医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [直方市](#) [宮若市](#) [小竹町](#) [鞍手町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (直方・鞍手医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など：直方・鞍手(直方市)は、総人口約109千人(2015年)、面積252km<sup>2</sup>、人口密度は434人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測：直方・鞍手の総人口は2025年に98千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に81千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の18千人が、2025年にかけて22千人へと増加し(2015年比+22%)、2040年には20千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費：直方・鞍手の一人当たり医療費(国保)は386千円(偏差値60)、介護給付費は275千円(偏差値56)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度：直方・鞍手の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.84、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.58で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状：総医師数<sup>3</sup>の偏差値が47(病院医師数44、診療所医師数54)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は61と多い。

\*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。直方・鞍手には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状：総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値59と多い。

\*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は69で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は58で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状：直方・鞍手の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2904人(75歳以上1000人当たりの偏差値82)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1380床(偏差値61)、高齢者住宅等が1524床(偏差値76)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1725人(75歳以上1000人当たりの偏差値65)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設69、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設60、有料老人ホーム65、軽費ホーム69、グループホーム69、サ高住64である。

\*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値59と多く、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、285人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

\*介護の2025年の需要予測：2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+30%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数では過剰である。

## (直方・鞍手医療圏) 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

直方・鞍手医療圏の総人口は、2005年115584人が、2015年に109075人と6%減少し、2025年の人口が98057人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

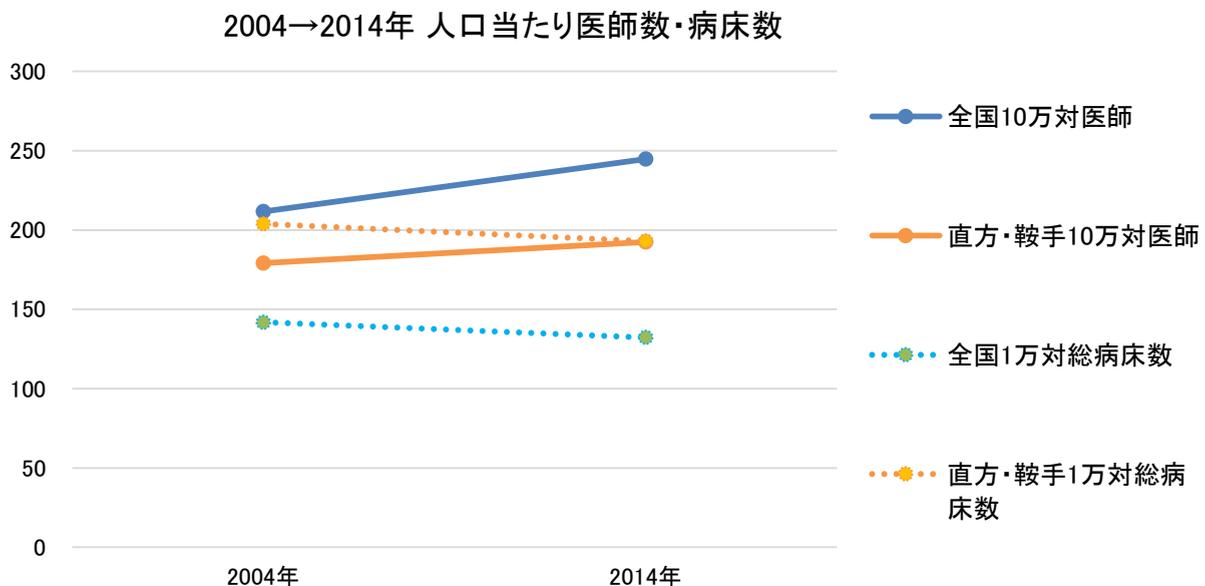
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が13(人口10万人当たり11.2病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2014年に12(人口10万人当たり11病院(全国平均6.7)偏差値60)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が100(人口10万人当たり87診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2014年に102(人口10万人当たり94診療所(全国平均79)偏差値58)と、2診療所が増加した。

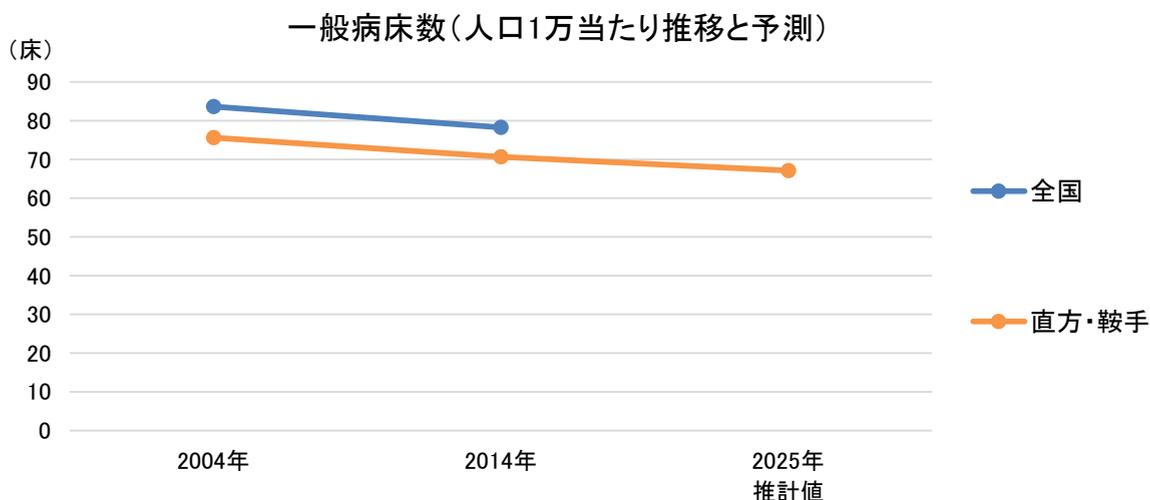
2004年の総病床数が2357床(人口1万人当たり204(全国平均142)偏差値61)であったが、2014年に2105床(人口1万人当たり193(全国平均132)偏差値61)と、252床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が207人(人口10万人当たり179人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に210人(人口10万人当たり193人(全国平均245人)偏差値44)と、3人の増加、率にして1%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



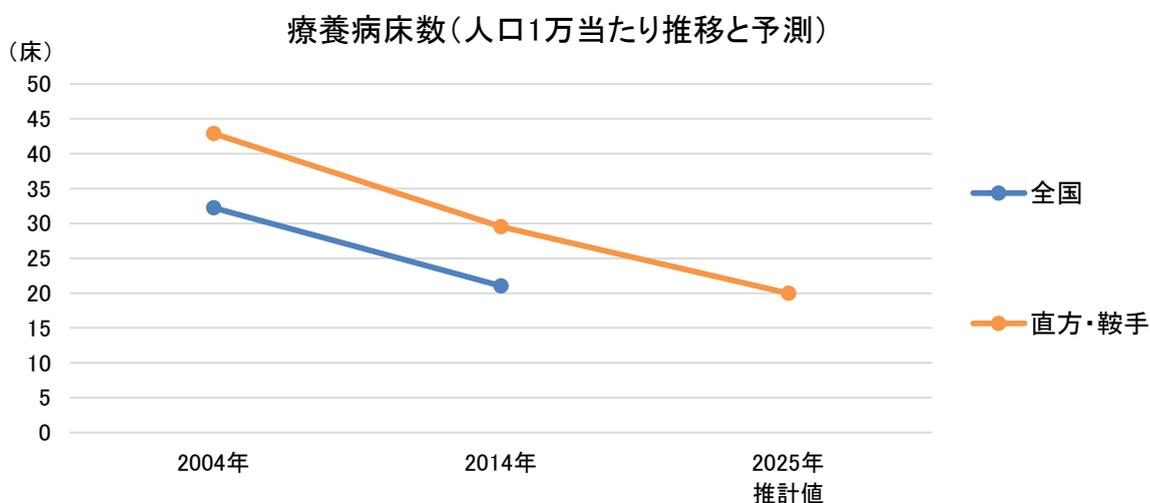
## 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が874床(人口1万人当たり76(全国平均84)偏差値47)であったが、2014年に771床(人口1万人当たり71(全国平均78)偏差値47)と、103床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には658床(2025年の推計人口1万人当たり67)になることが予想される。



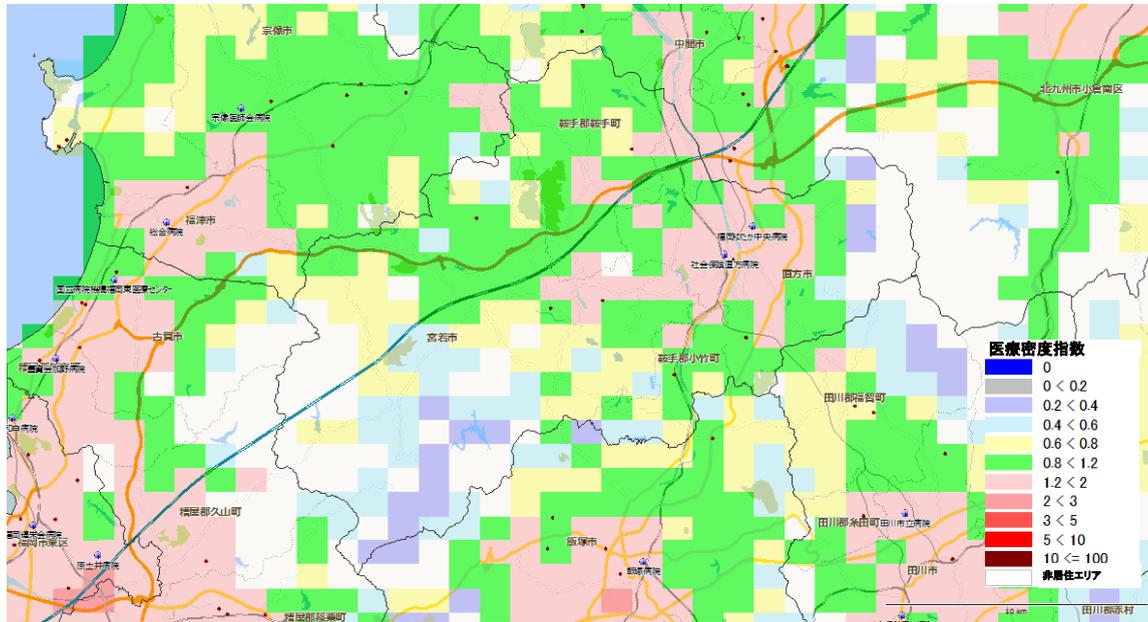
## 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が640床(75歳以上1000人当たり43(全国平均32)偏差値56)であったが、2014年に541床(75歳以上1000人当たり30(全国平均21)偏差値57)と、99床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には432床(2025年の推計75歳以上1000人当たり20)になることが予想される。



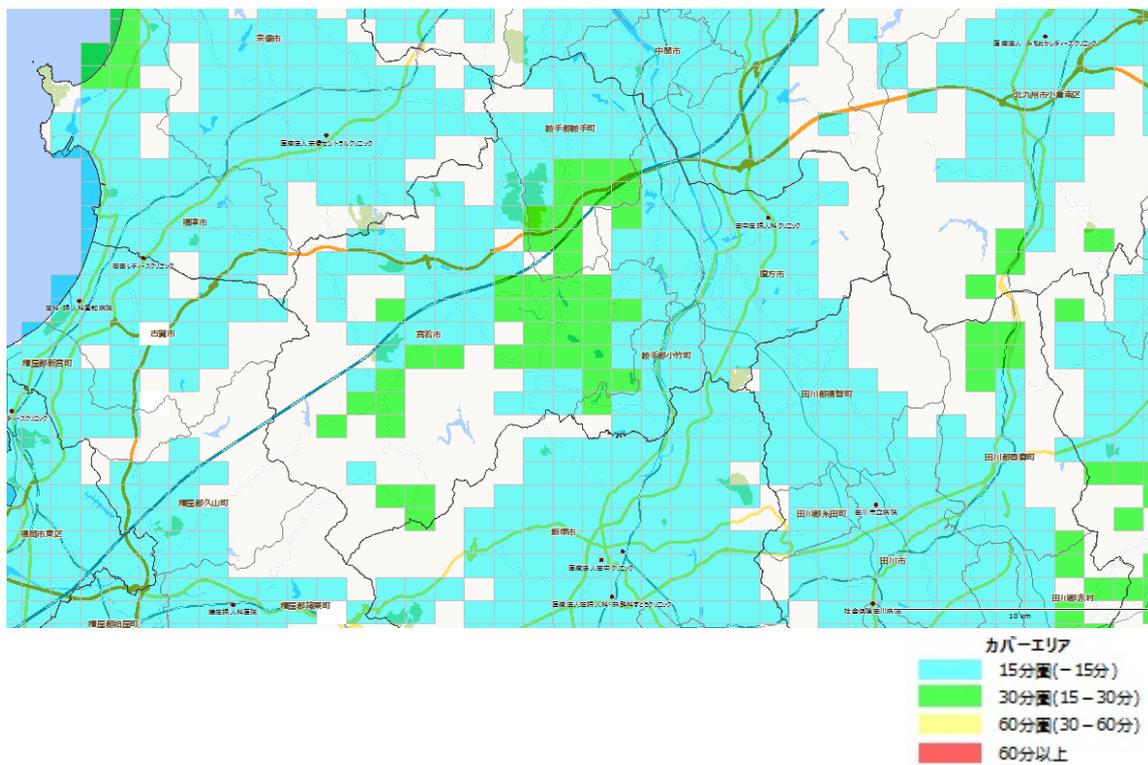
(直方・鞍手医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表40-10-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-10-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

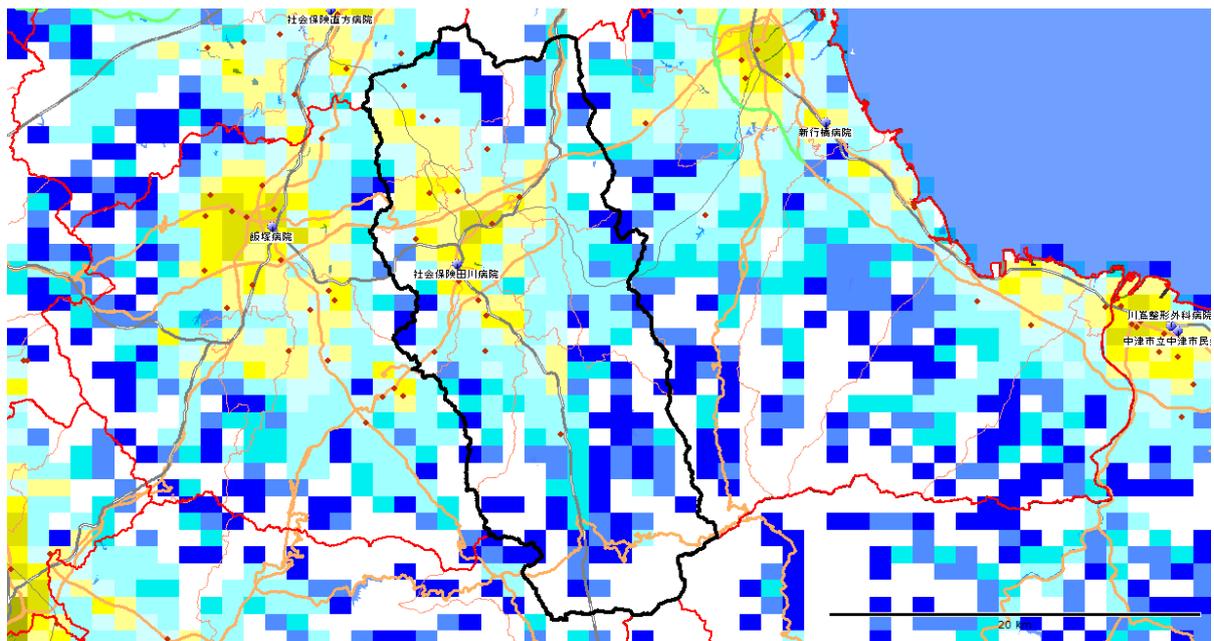
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



# たがわ 40-11. 田川医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [田川市](#)                      [香春町](#)                      [添田町](#)                      [糸田町](#)  
                                  [川崎町](#)                      [大任町](#)                      [赤村](#)                      [福智町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



## (田川医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 田川(田川市)は、総人口約126千人(2015年)、面積364km<sup>2</sup>、人口密度は347人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 田川の総人口は2025年に114千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に94千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の22千人が、2025年にかけて25千人へと増加し(2015年比+14%)、2040年には21千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 田川の一人当たり医療費(国保)は382千円(偏差値59)、介護給付費は269千円(偏差値55)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 田川の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.93、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.89で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が50(病院医師数49、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は69と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。田川には、年間全身麻酔件数が500例以上の田川市立病院(Ⅲ群)、社会保険田川病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値55とやや多く、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は105で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は54で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 田川の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3656人(75歳以上1000人当たりの偏差値87)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2229床(偏差値82)、高齢者住宅等が1427床(偏差値64)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2411人(75歳以上1000人当たりの偏差値79)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設72、特別養護老人ホーム79、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム50、軽費ホーム60、グループホーム91、サ高住45である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値48と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値74と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、694人(75歳以上1000人当たりの偏差値81)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+41%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数では過剰である。

## (田川医療圏) 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

田川医療圏の総人口は、2005年140736人が、2015年に126104人と10%減少し、2025年の人口が114342人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

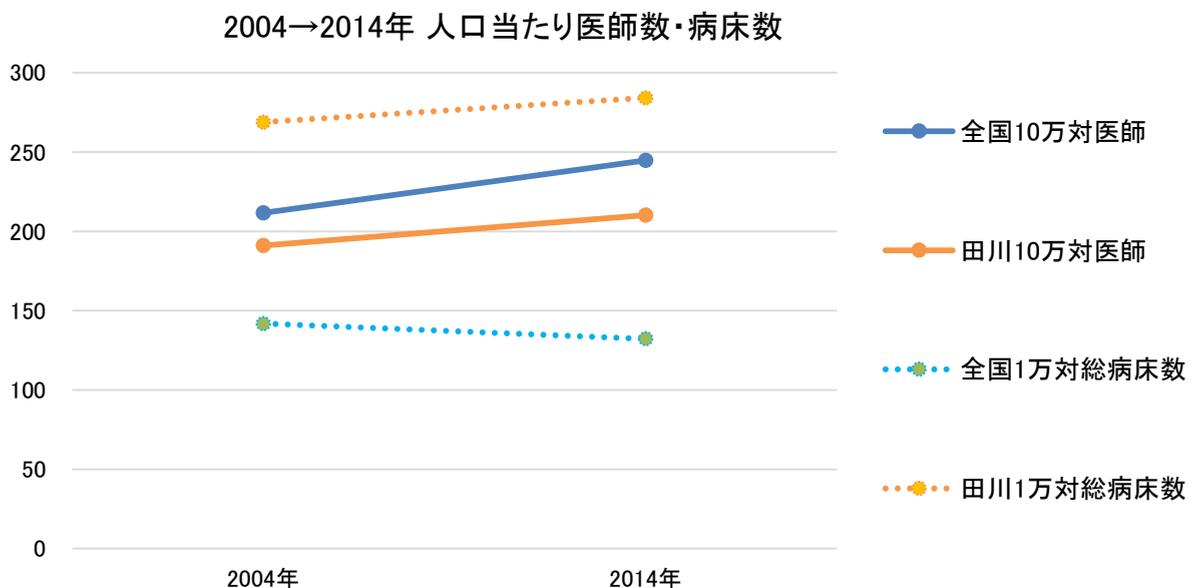
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が17(人口10万人当たり12.1病院(全国平均7.1)偏差値63)であったが、2014年に16(人口10万人当たり12.7病院(全国平均6.7)偏差値65)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が112(人口10万人当たり80診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2014年に110(人口10万人当たり87診療所(全国平均79)偏差値54)と、2診療所が減少した。

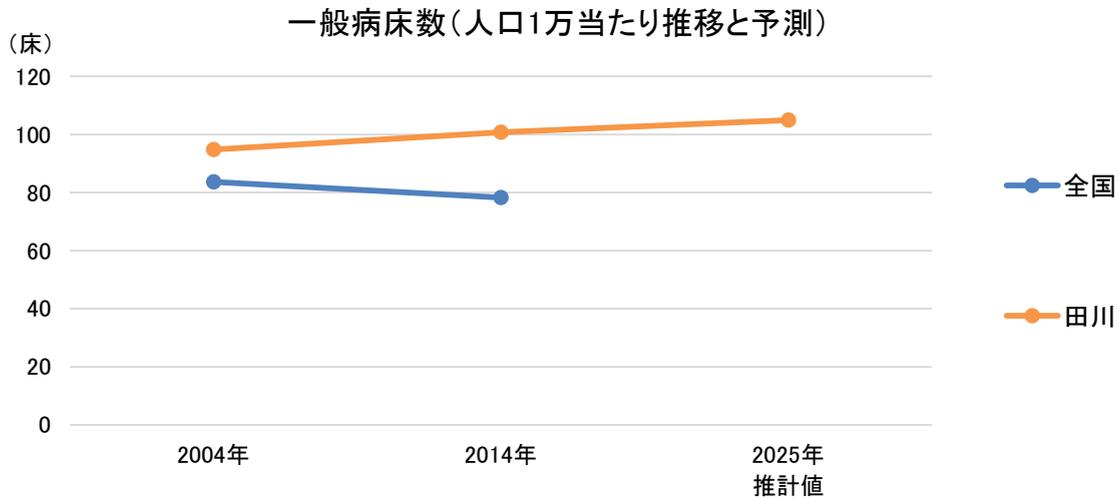
2004年の総病床数が3783床(人口1万人当たり269(全国平均142)偏差値73)であったが、2014年に3584床(人口1万人当たり284(全国平均132)偏差値77)と、199床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が269人(人口10万人当たり191人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2014年に265人(人口10万人当たり210人(全国平均245人)偏差値46)と、4人の減少、率にして1%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



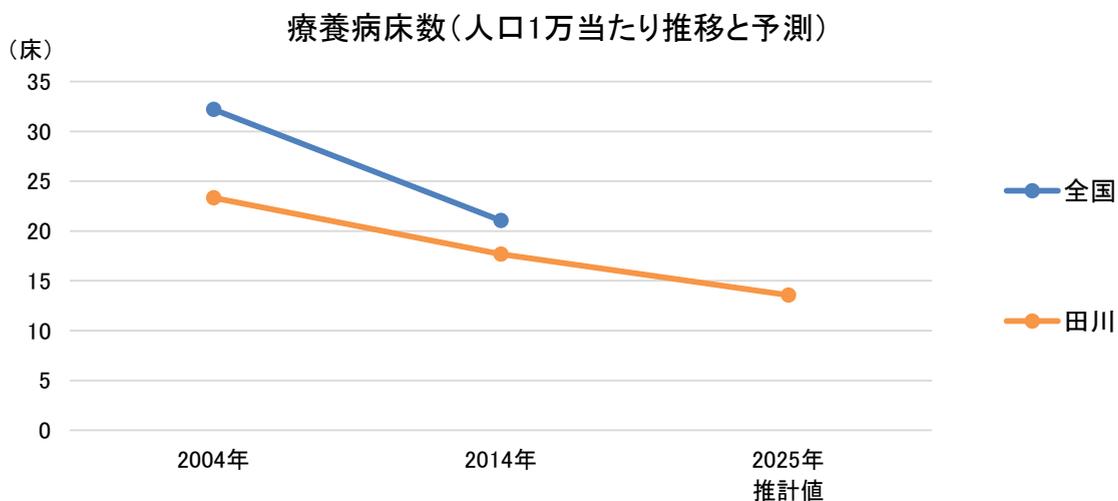
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1334床(人口1万人当たり95(全国平均84)偏差値54)であったが、2014年に1270床(人口1万人当たり101(全国平均78)偏差値58)と、64床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1200床(2025年の推計人口1万人当たり105)になることが予想される。



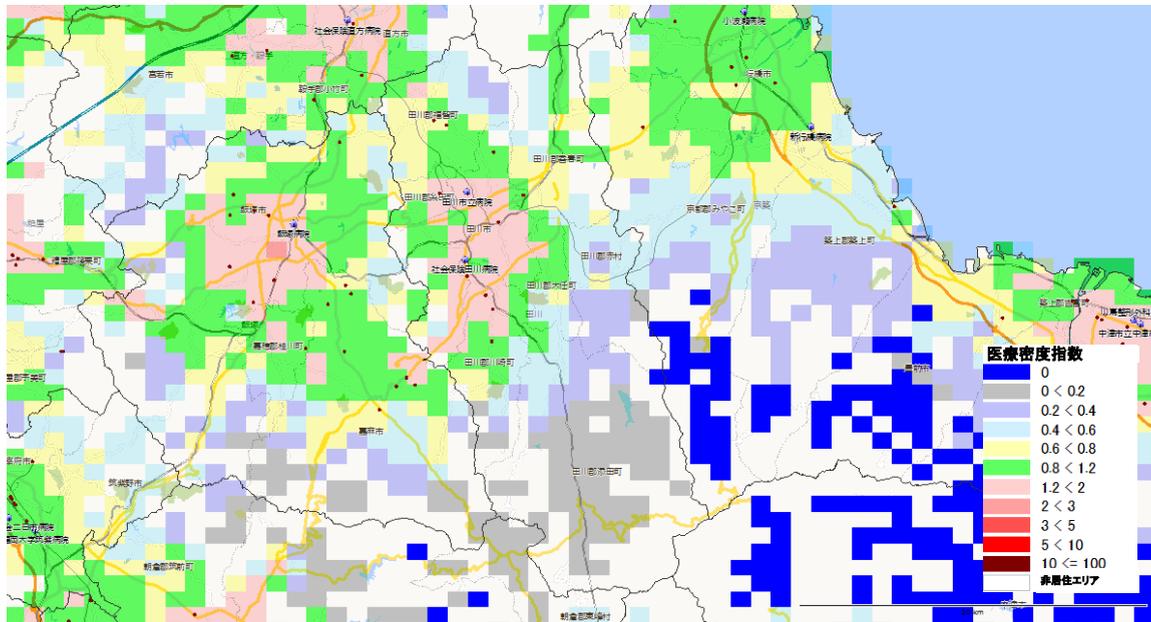
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が440床(75歳以上1000人当たり23(全国平均32)偏差値45)であったが、2014年に390床(75歳以上1000人当たり18(全国平均21)偏差値47)と、50床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には335床(2025年の推計75歳以上1000人当たり14)になることが予想される。



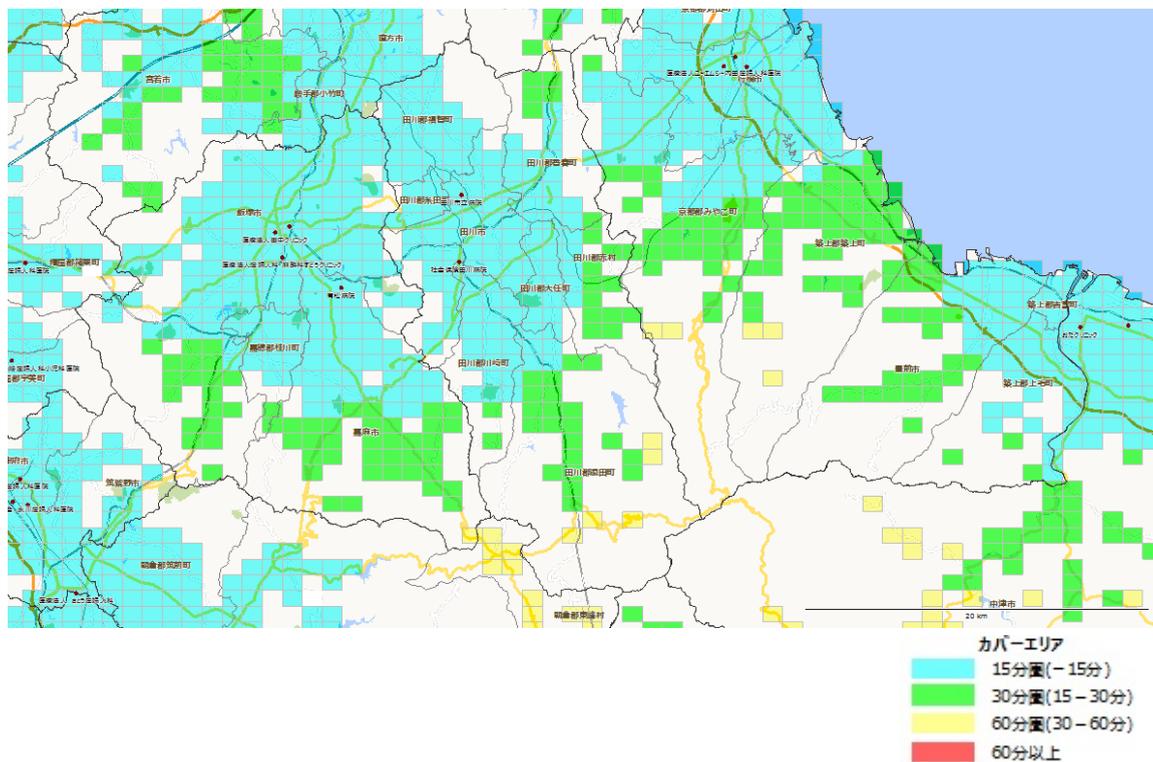
(田川医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表40-11-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-11-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)

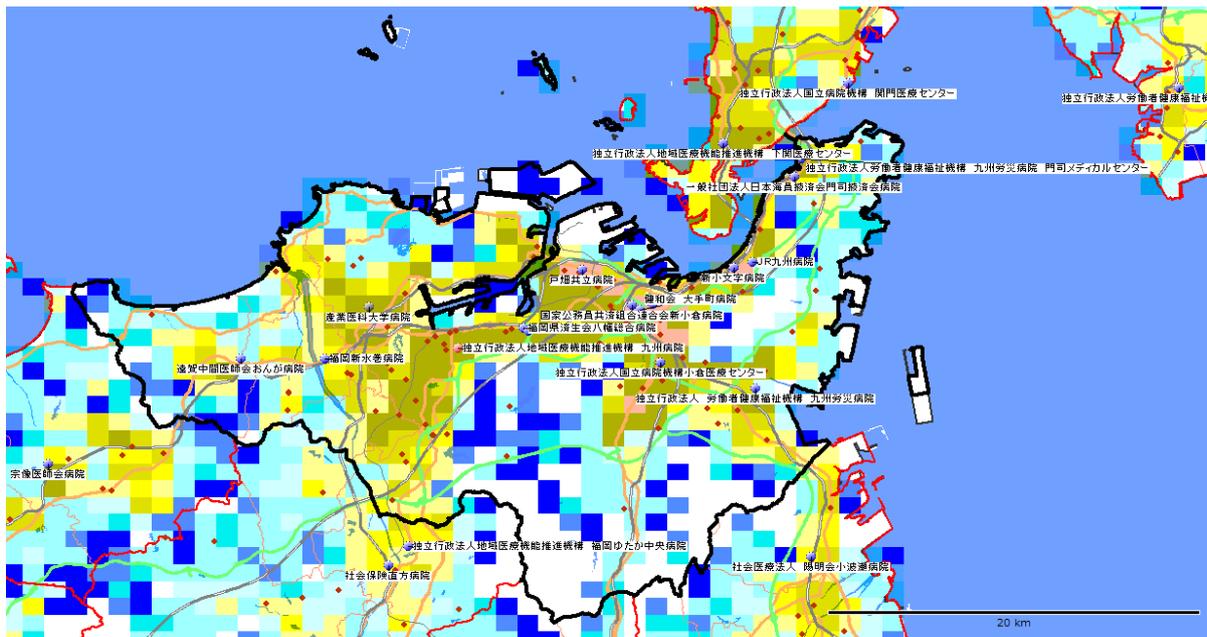


きたきゅうしゅう  
**40-12. 北九州医療圏**

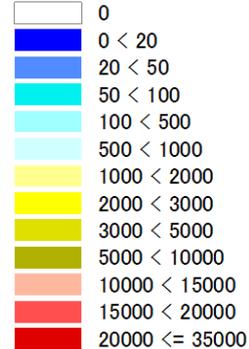
構成市区町村<sup>9</sup>

<a href="#">門司区</a>	<a href="#">若松区</a>	<a href="#">戸畑区</a>	<a href="#">小倉北区</a>
<a href="#">小倉南区</a>	<a href="#">八幡東区</a>	<a href="#">八幡西区</a>	<a href="#">中間市</a>
<a href="#">芦屋町</a>	<a href="#">水巻町</a>	<a href="#">岡垣町</a>	<a href="#">遠賀町</a>

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (北九州医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 北九州(北九州市門司区)は、総人口約1097千人(2015年)、面積601km<sup>2</sup>、人口密度は1824人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 北九州の総人口は2025年に1028千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に888千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の157千人が、2025年にかけて213千人へと増加し(2015年比+36%)、2040年には204千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 北九州の一人当たり医療費(国保)は393千円(偏差値61)、介護給付費は272千円(偏差値55)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 北九州の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.39、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.9で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が59(病院医師数59、診療所医師数55)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は68と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は63で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は62と多い。北九州には、年間全身麻酔件数が2000例以上の小倉記念病院(Ⅲ群)、北九州市立医療センター(Ⅲ群)、JCHO九州病院(Ⅱ群)、産業医科大学病院(Ⅰ群)、1000例以上の国立病院機構小倉医療センター(Ⅲ群)、北九州総合病院(Ⅲ群・救命)、九州労災病院(Ⅲ群)、新小文字病院(Ⅲ群)、済生会八幡総合病院(Ⅲ群)、製鉄記念八幡病院(Ⅲ群)、500例以上の北九州市立八幡病院(Ⅲ群・救命)、大手町病院(Ⅲ群)、新小倉病院(Ⅲ群)、戸畑共立病院(Ⅲ群)、福岡新水巻病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値65と多く、回復期病床数は偏差値58と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は59で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 北九州の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、17149人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が10077床(偏差値52)、高齢者住宅等が7072床(偏差値52)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、12316人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設52、有料老人ホーム54、軽費ホーム53、グループホーム55、サ高住43である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値62と多く、在宅療養支援病院は偏差値57と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値55とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、2310人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-10%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## (北九州医療圏) 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

北九州医療圏の総人口は、2005年1137622人が、2015年に1096744人と4%減少し、2025年の人口が1027674人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に9%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

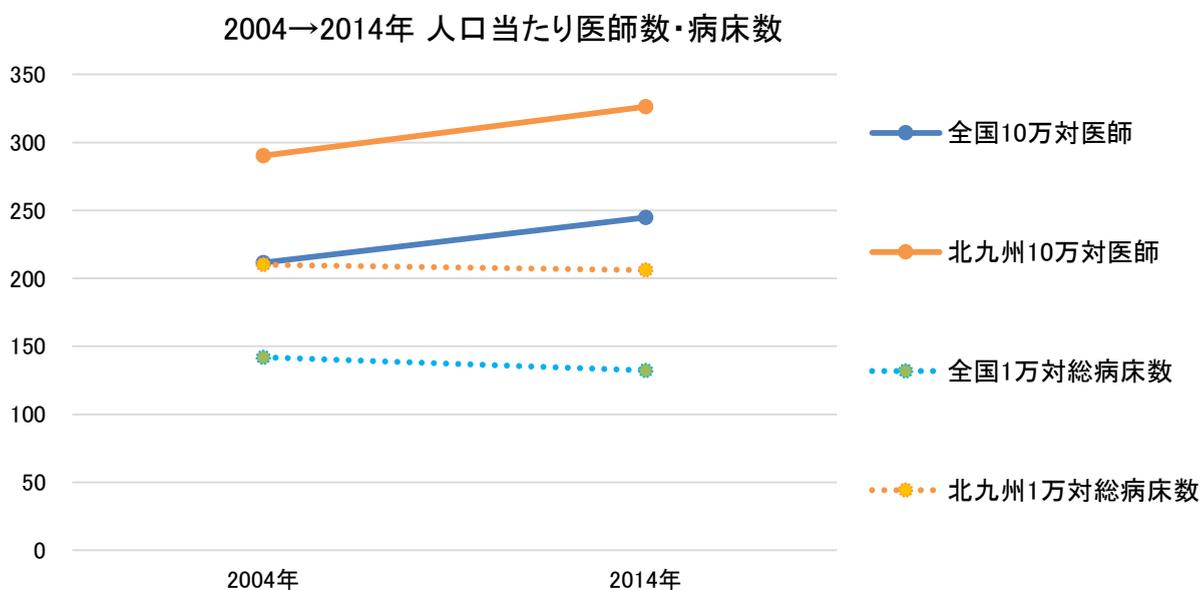
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が105(人口10万人当たり9.2病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2014年に102(人口10万人当たり9.3病院(全国平均6.7)偏差値56)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が1109(人口10万人当たり97診療所(全国平均76)偏差値61)であったが、2014年に1059(人口10万人当たり97診療所(全国平均79)偏差値59)と、50診療所が減少した。

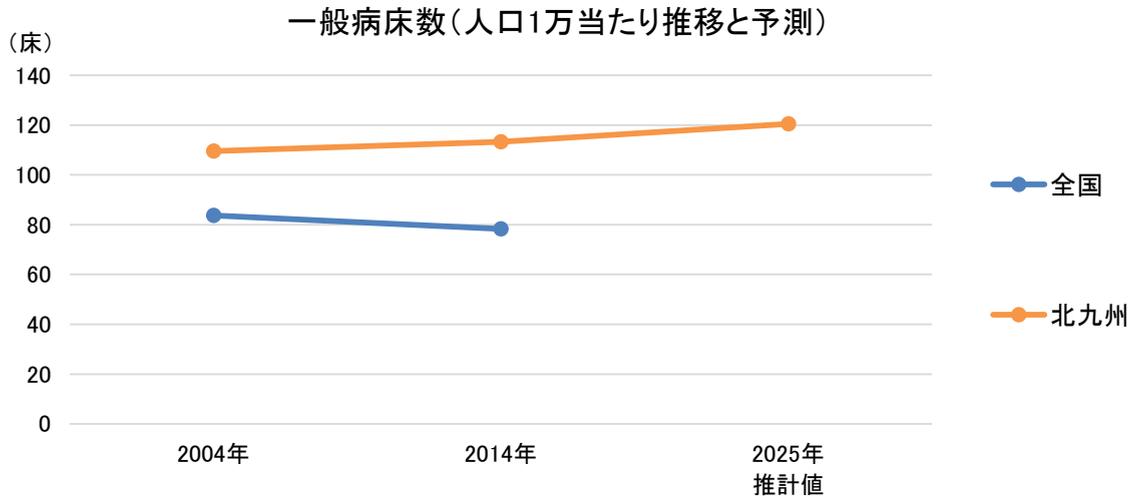
2004年の総病床数が23901床(人口1万人当たり210(全国平均142)偏差値62)であったが、2014年に22602床(人口1万人当たり206(全国平均132)偏差値63)と、1299床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が3302人(人口10万人当たり290人(全国平均212人)偏差値59)であったが、2014年に3579人(人口10万人当たり326人(全国平均245人)偏差値59)と、277人の増加、率にして8%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



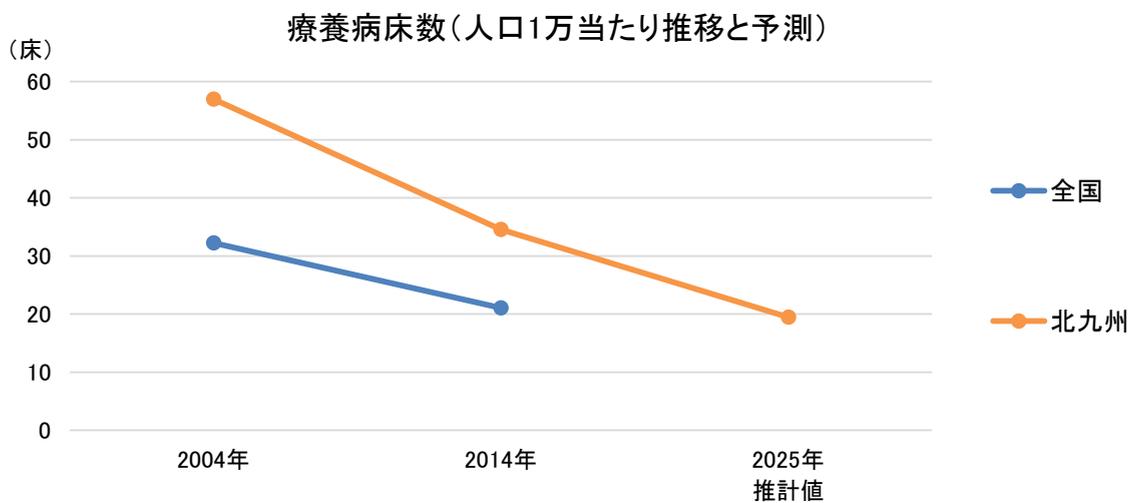
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が12465床(人口1万人当たり110(全国平均84)偏差値59)であったが、2014年に12427床(人口1万人当たり113(全国平均78)偏差値63)と、38床の減少、率にして1%未満の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には12385床(2025年の推計人口1万人当たり121)になることが予想される。



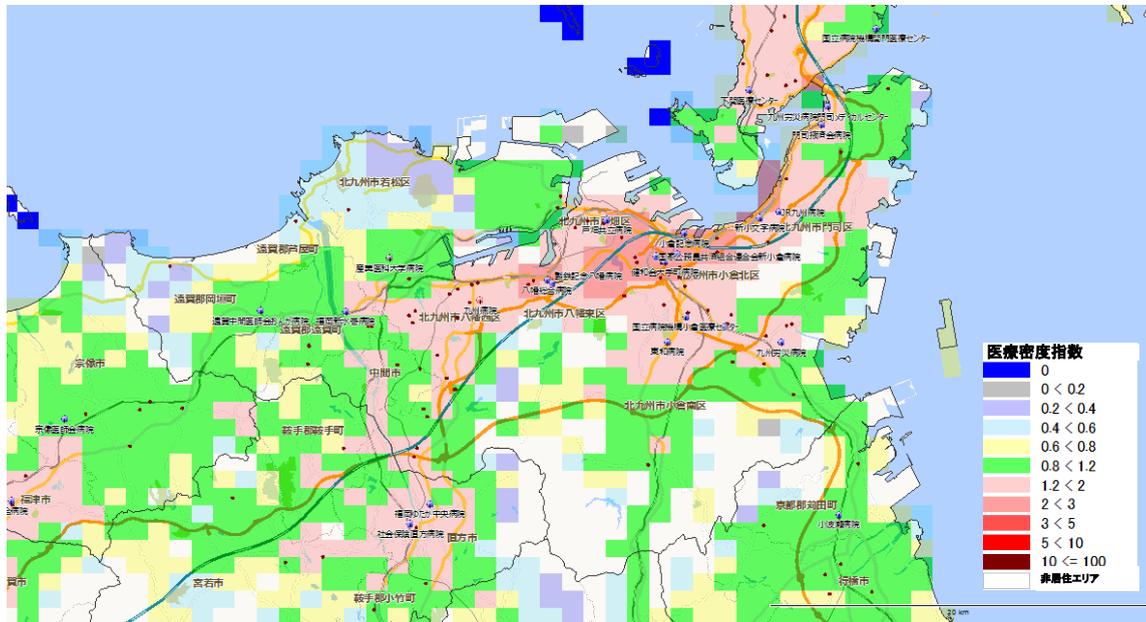
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が6581床(75歳以上1000人当たり57(全国平均32)偏差値64)であったが、2014年に5423床(75歳以上1000人当たり35(全国平均21)偏差値61)と、1158床の減少、率にして18%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4149床(2025年の推計75歳以上1000人当たり19)になることが予想される。



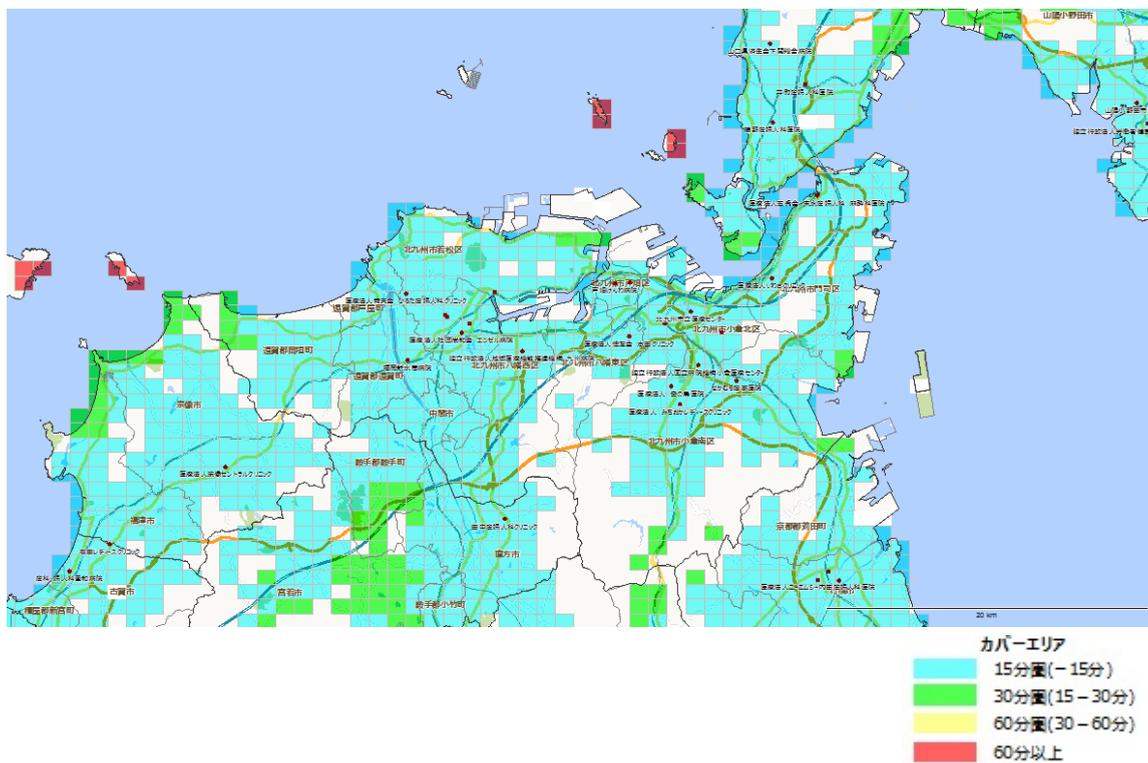
(北九州医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表40-12-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-12-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

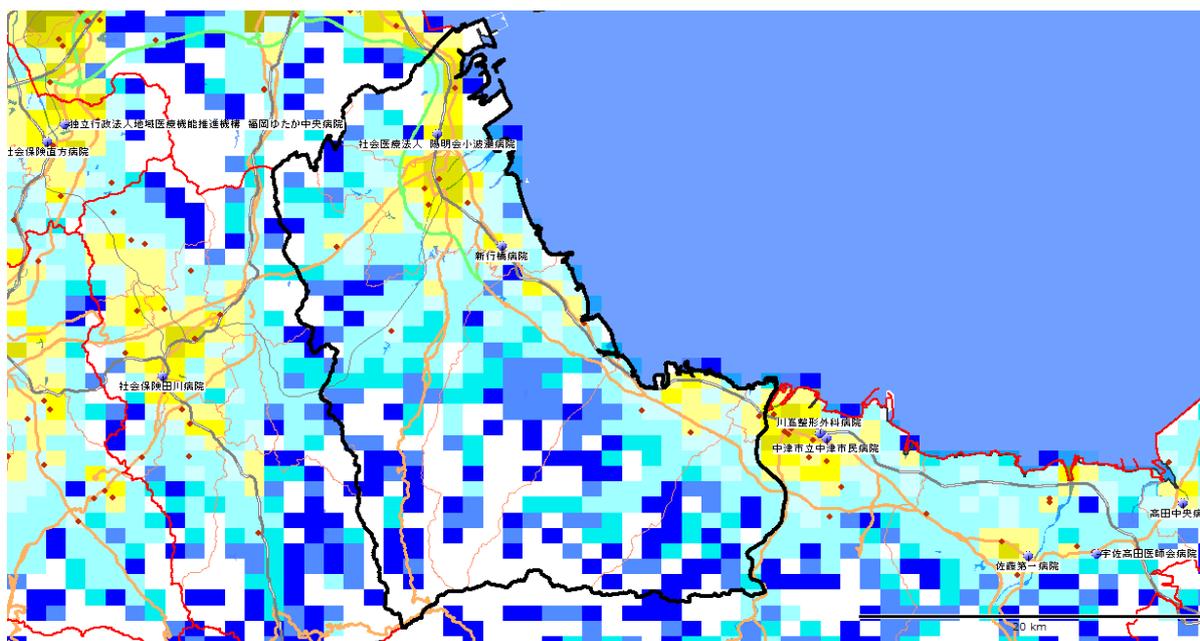
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



# 40-13. けいちく京築医療圏

構成市区町村<sup>9</sup> [行橋市](#) [吉富町](#) [豊前市](#) [上毛町](#) [荻田町](#) [築上町](#) [みやこ町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



## (京築医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など：京築(行橋市)は、総人口約184千人(2015年)、面積569km<sup>2</sup>、人口密度は324人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測：京築の総人口は2025年に170千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に144千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて34千人へと増加し(2015年比+26%)、2040年には32千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費：京築の一人当たり医療費(国保)は407千円(偏差値64)、介護給付費は242千円(偏差値47)であり、医療費は高いが、介護給付費はやや低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度：京築の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.74、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.6で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状：総医師数<sup>3</sup>の偏差値が41(病院医師数38、診療所医師数49)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は54とやや多い。

\*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は36で、一般病床数は少ない。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。京築には、年間全身麻酔件数が500例以上の新行橋病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は63と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状：総療法士数は偏差値55とやや多く、回復期病床数は偏差値57と多い。

\*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

\*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状：京築の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3406人(75歳以上1000人当たりの偏差値62)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1989床(偏差値59)、高齢者住宅等が1417床(偏差値56)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2185人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設66、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム60、軽費ホーム60、グループホーム53、サ高住42である。

\*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値55とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値61と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員(在宅)の合計は、359人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2025年の需要予測：2025年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+12%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰さみである。

## (京築医療圏) 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

京築医療圏の総人口は、2005年191521人が、2015年に184404人と4%減少し、2025年の人口が170292人と予測され、2005年→2025年の間に11%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

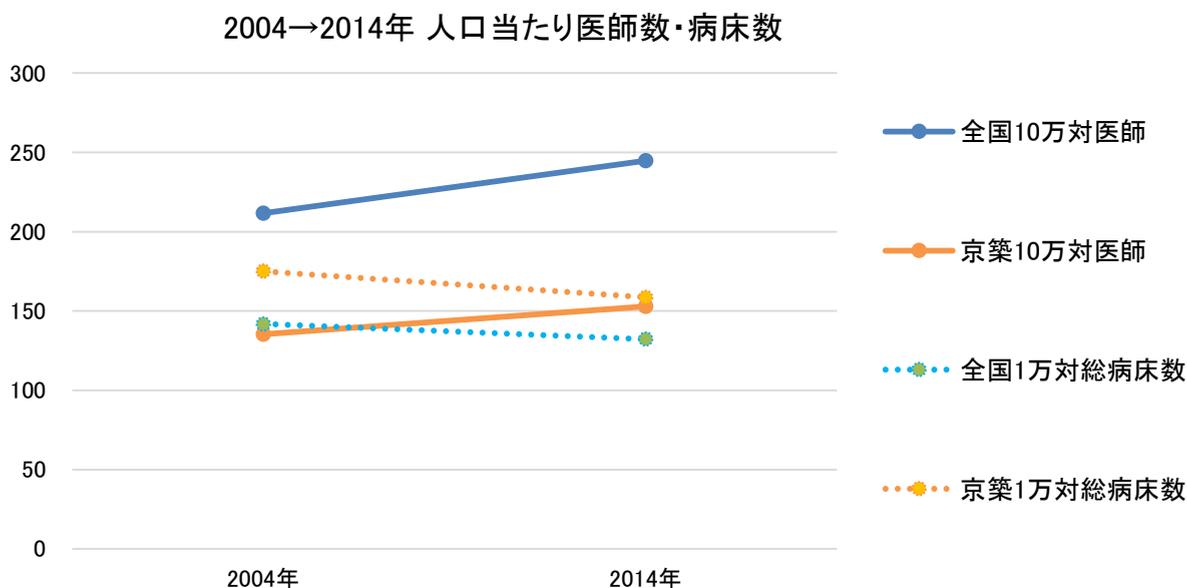
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が17(人口10万人当たり8.9病院(全国平均7.1)偏差値55)であったが、2014年に15(人口10万人当たり8.1病院(全国平均6.7)偏差値54)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が148(人口10万人当たり77診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2014年に163(人口10万人当たり88診療所(全国平均79)偏差値55)と、15診療所が増加した。

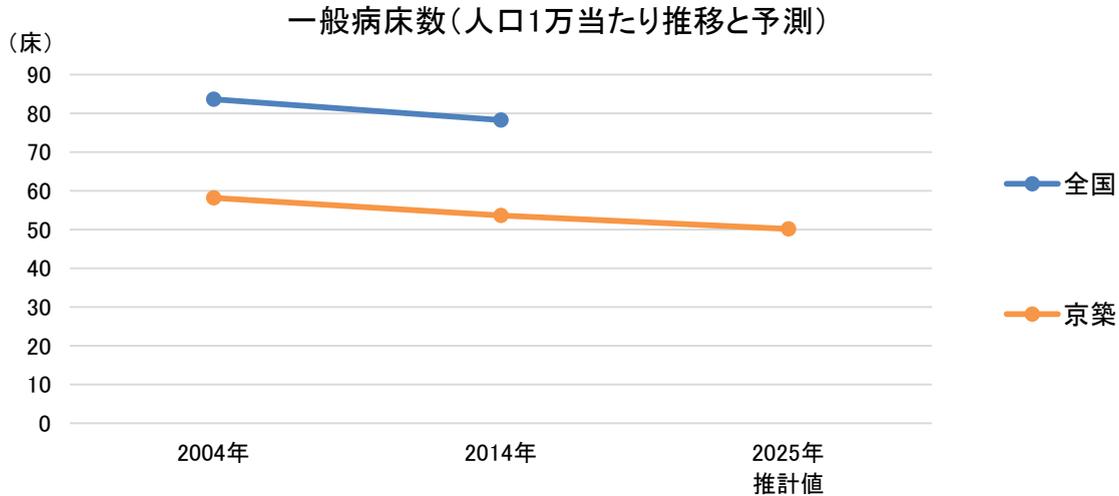
2004年の総病床数が3353床(人口1万人当たり175(全国平均142)偏差値56)であったが、2014年に2925床(人口1万人当たり159(全国平均132)偏差値55)と、428床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数<sup>3</sup>が259人(人口10万人当たり135人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2014年に282人(人口10万人当たり153人(全国平均245人)偏差値40)と、23人の増加、率にして9%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



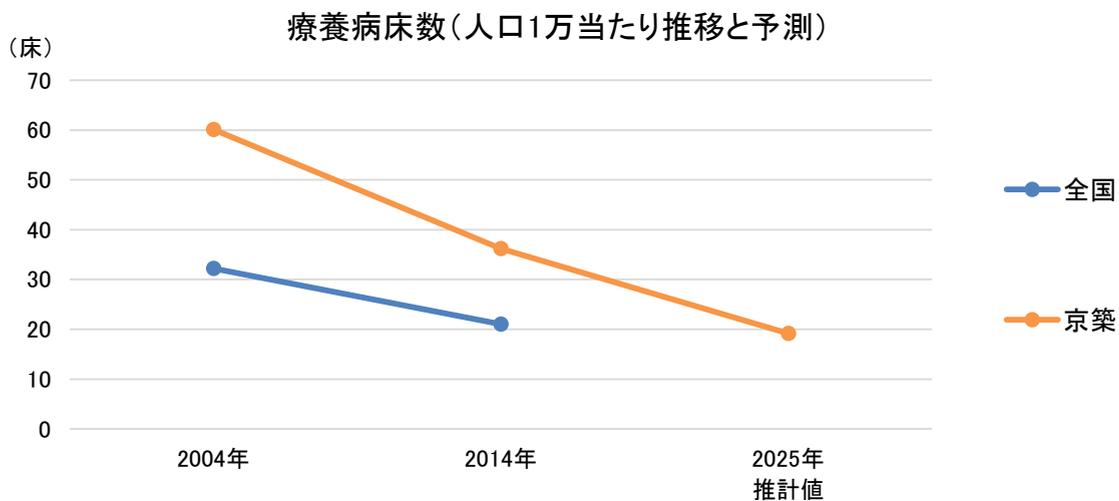
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1114床(人口1万人当たり58(全国平均84)偏差値41)であったが、2014年に990床(人口1万人当たり54(全国平均78)偏差値41)と、124床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には854床(2025年の推計人口1万人当たり50)になることが予想される。



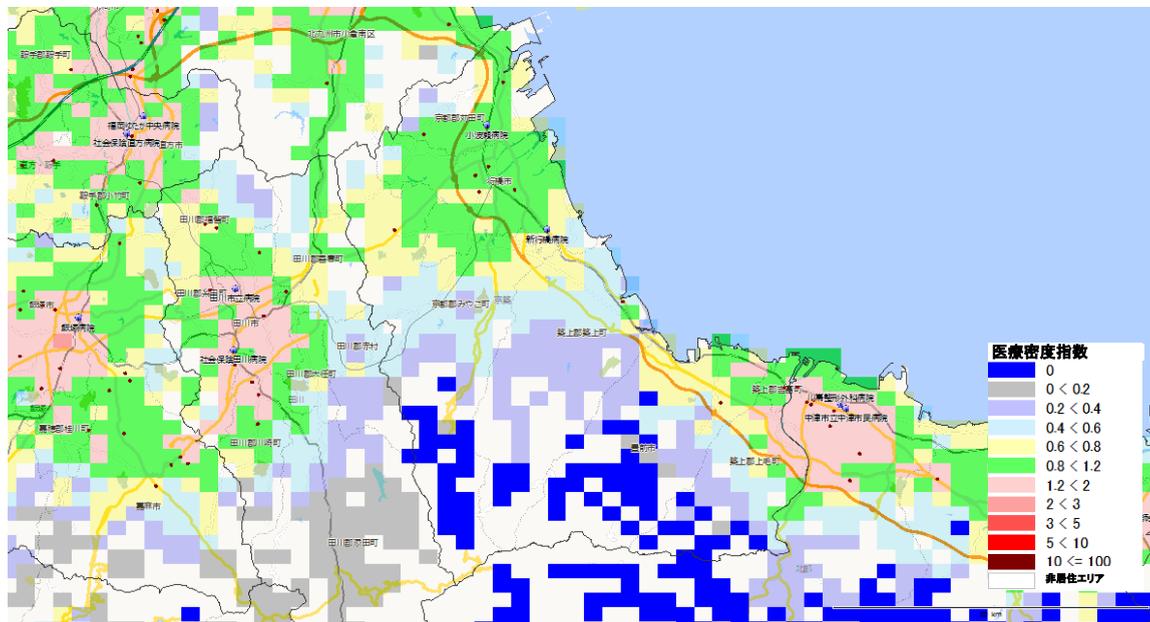
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1297床(75歳以上1000人当たり60(全国平均32)偏差値66)であったが、2014年に993床(75歳以上1000人当たり36(全国平均21)偏差値63)と、304床の減少、率にして23%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には659床(2025年の推計75歳以上1000人当たり19)になることが予想される。



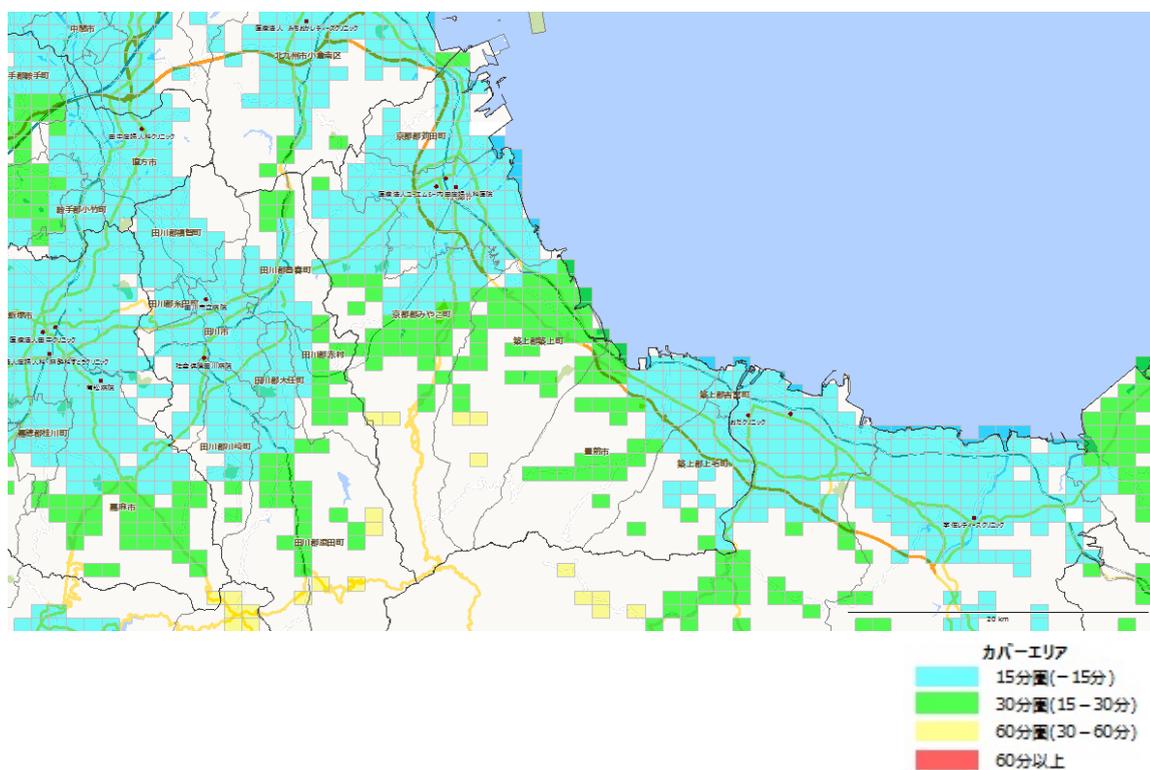
(京築医療圏) 3. 医療密度<sup>5</sup>・周産期カバーエリア

図表40-13-1 急性期医療密度指数マップ



図表40-13-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



## 注

<sup>1</sup>1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

<sup>2</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

<sup>3</sup>【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

<sup>5</sup>急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

<sup>6</sup>日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

<sup>7</sup>医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

<sup>8</sup>医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.1+(75歳以上人口)×5.0で算出。

<sup>9</sup>日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能  
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。